XPERIA acro IS11S

by Sony Ericsson

取扱説明書　詳細版

ごあいさつ

このたびは、IS11Sをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に、IS11Sに付属する『スタートガイド』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。

memo

IS11Sに付属する『スタートガイド』では、主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本書またはIS11S内で利用できる『取扱説明書』アプリケーションをご参照ください。

取扱説明書アプリケーション

IS11Sでは、au電話本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリケーションを利用できます。

取扱説明書ダウンロード

『スタートガイド』と『設定ガイド』、『au one メール設定ガイド』、『取扱説明書詳細版』(本書)のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

オンラインマニュアル

auホームページでは、本書を抜粋のうえ、再構成した検索エンジン形式のマニュアルもご用意しております。
http://www.au.kddi.com/manual/index.html

■ For Those Requiring an English Instruction Manual
英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページからダウンロードできます(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

IS11Sをご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

au電話をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- au電話はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- au電話は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんのでご留意ください。(ただし、CDMA方式は通話上の高い秘話機能を備えております。)
- au電話は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が本書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- IS11Sは国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。詳しくは、「海外利用」をご参照ください。

目次

Wi-Fi／データ通信 151

auのネットワークサービス 161

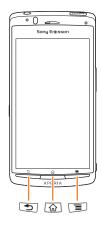
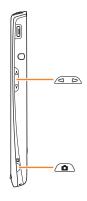
海外利用 175

付録･索引 185

安全上のご注意

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化していますので、あらかじめご了承ください。

■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどをタップ(▶P.34)する操作を、[(項目などの名称)]と省略して表記しています。

また、本書では縦画面表示からの操作を基準に説明しています。横画面表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。

本書でのその他の操作と表記については、「基本的な操作を覚える」(▶P.44)をご参照ください。

例:連絡先を新規作成する場合

1 ホーム画面で[]→[電話帳]→→[新規連絡先]

memo

◎本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

■ 掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

実際の画面

免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。

◎ 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ Androidマーケットアプリケーションについて

◎ アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

◎ 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

◎ お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

◎ IS11Sに搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

パケット通信料についてのご注意

◎ IS11Sは常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスへのご加入をおすすめします。

◎ IS11Sでのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。
※ Wi-Fi接続の場合はパケット通信料はかかりません。

安全上のご注意

安全上のご注意

■ 安全にお使いいただくために必ずお読みください。

●この「安全上のご注意」にはIS11Sを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
●各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

	行ってはいけない（禁止）内容を示しています。		水に濡らしてはいけない（禁止）内容を示しています。
	分解してはいけない（禁止）内容を示しています。		必ず実行していただく（強制）内容を示しています。
	濡れた手で扱ってはいけない（禁止）内容を示しています。		電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■ IS11S本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

⚠危険　必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
IS11S専用および共通周辺機器：
- 電池パック（BA750）
- ACアダプタ（EP800）

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にIS11Sの電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（おサイフケータイ ロック設定を利用されている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。）

電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子をショートさせないでください。また、microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

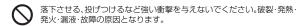
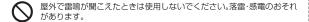
金属製のストラップやアクセサリーをご使用になる場合は、充電の際に電池パックの端子、特にACアダプタの電源プラグなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直接日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりIS11S・車両などに不具合が生じてもKDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

警告 必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

IS11Sが落下などによって破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

IS11S本体が濡れている状態で充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は、保証外となり、修理ができません。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

注意 必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光のあたる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息するなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

外部から電源が供給されている状態のIS11S本体・電池パック・ACアダプタに長時間、触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電池フタを外したまま使用しないでください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

microSDメモリカードスロットに液体・金属体・燃えやすいものなど異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

microSDメモリカードを爪ではじかないでください。microSDメモリカードが勢いよく飛び出して、事故や傷害の原因となる場合があります。

au ICカード挿入口に液体・金属体・燃えやすいものなど異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。通常は、電池パックおよび電池フタをはめた状態で使用・保管をしてください。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたら使用しないでください。異常が起きた場合、充電中であればACアダプタをコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■IS11S本体について

⚠警告　**必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内での携帯電話の使用は法律で禁止されています。電源をお切りください(機内モードを含む)。電源が自動的に入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源をお切りください。
IS11SのmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSBケーブル接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSBケーブル接続を行わないようご注意ください。

高精度な電子機器の近くではIS11Sの電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

IS11Sは強い光が出ますので、フラッシュ/フォトライトをご使用になる場合は人の目の前で発光させないでください。また、フラッシュ/フォトライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信をしないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてフラッシュ/フォトライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで携帯電話を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話を心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には携帯電話を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、携帯電話の電源をお切りください。自動的に電源が入る機能を設定してある場合は、あらかじめ設定を解除してから電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、携帯電話の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に携帯電話の使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師と相談してください。

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネット・テレビ(ワンセグ)や音楽を視聴するときは周囲の安全をご確認ください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

Bluetooth®機能、無線LAN（Wi-Fi）機能、FeliCa™リーダー／ライター機能は日本国内およびFCC/IC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域では、Bluetooth®機能、無線LAN機能、FeliCa™リーダー／ライター機能の使用が制限されることがあります。
海外でご使用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたり、挟んだりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

テレビ（ワンセグ）視聴時以外ではホイップアンテナを正しく収納してください。ホイップアンテナを引き出したまま通話などをすると、顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子、microSDメモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。HDMI接続端子は、HDMI接続端子カバーをはめた状態でご使用ください。

マイク付ステレオヘッドセットやハンドストラップなどを持ってIS11S本体を振り回さないでください。傷害・事故や故障・破損の原因となります。また、傷んだハンドストラップは使用しないでください。

電池フタは所定の開けかた以外で開けないでください。指や爪を傷付けたり、破損の原因になります。

ホイップアンテナを折り曲げたり、ホイップアンテナを伸ばした状態でIS11Sを振り回さないでください。傷害やホイップアンテナの変形、破損の原因となります。

皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
IS11Sで使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース（ケースフロント、カバーHDMI）	PC樹脂（ガラス入り）	UV塗装処理
外装ケース（ケース リア）	PC樹脂（ガラス入り）	不連続蒸着（錫）＋UV塗装処理
外装ケース（カバーUSB、カバーJACK）	PC樹脂	－
外装ケース…ピンク（電池フタ）	PC樹脂	不連続蒸着（錫）＋UV塗装処理
外装ケース…ホワイト（電池フタ）	PC樹脂	UV塗装処理
外装ケース…ブラック（電池フタ）	PC樹脂	ウレタン塗装
透明板（カメラ）	PMMA樹脂	AR処理
透明板（赤外線）	PMMA+PC樹脂	ハードコート
透明板（ディスプレイ）	ガラス＋PET樹脂	ハードコート処理
ボタンキー（バックキー、ホームキー、メニューキー）	PC樹脂	不連続蒸着（錫）＋UV塗装処理
ボタンキー（カメラキー）	PC樹脂	不連続蒸着（錫）＋UV塗装処理
ボタンキー（音量キー）	PC樹脂	UV塗装処理
ボタンキー（電源キー）	PC樹脂	不連続蒸着（錫）＋UV塗装処理
ホイップアンテナ キャップ	PC樹脂	－
【microUSBケーブル】プラグ部	PBT樹脂	－
【microUSBケーブル】ケーブル	エラストマー樹脂	－
【microUSBケーブル】ノイズ・フィルタ・カバー	PP樹脂	－
【ACアダプタ】外装	PC樹脂	－
【ACアダプタ】プラグ（金属部）	銅合金	ニッケルメッキ

心臓の弱い方は着信バイブレータ（振動）や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

マイク付ステレオヘッドセットをIS11S本体に接続し、ゲームや音楽再生、テレビ（ワンセグ）視聴などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと事故の原因となります。

受話口やスピーカー、ディスプレイの吸着物にご注意ください。これらの箇所には磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口などに異物がないかを必ず確かめてください。

テレビ（ワンセグ）視聴中は、IS11S本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となります。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、IS11S本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。

爪先でタッチパネル操作を行わないでください。爪が割れるなど、けがの原因となります。

■電池パックについて

Li-ion00

（IS11Sの電池パックは、リチウムイオン電池です。）
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。
なお、リチウムイオン電池の取り扱いについては、本書または電池パック（BA750）（別売）の取扱説明書をご参照ください。

⚠危険　誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックの（＋）（－）をショートさせないでください。

電池パックをIS11S本体に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分確認してから接続してください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶときや保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピン）などとmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

落としたり、踏み付けたり、破損や漏液した電池パックを使用しないでください。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。また、外装シールをはがさないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして、失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は傷害を起こすおそれがあるのですぐに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗った後すぐに医師の診断を受けてください。

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

漏液したり、異臭がするときはすぐに火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

電池パックは防水性能を有しておりません。電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、すぐに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。濡れた電池パックは使用や充電をしないでください。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠警告 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
ACアダプタ:AC100～240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

ACアダプタの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。傷んだACアダプタやゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACアダプタのmicroUSBケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだmicroUSBケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

microUSB接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。

IS11S本体から電池パックを外した状態でACアダプタを差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

お手入れをするときには、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れすると、感電やショートの原因となります。また、ACアダプタの電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

ACアダプタは防水性能を有しておりません。水やペットの尿など液体がかからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合にはすぐに電源プラグを抜いてください。

⚠注意 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。また、濡れた電池パックを充電しないでください。

充電は安定した場所で行ってください。傾いた所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。IS11Sが外れたり、火災や故障の原因となります。

ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。microUSBケーブルを引っ張るとmicroUSBケーブルが損傷するおそれがあります。

■ au ICカードについて

⚠警告 **必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau ICカードを入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au ICカードの取り付け･取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au ICカードを分解、改造しないでください。
データの消失･故障の原因となります。

au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損･発熱･発煙･データの消失･故障の原因となります。

au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損･発熱･発煙･データの消失･故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失･故障の原因となります。

au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを濡らさないでください。
故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分を傷付けないでください。
故障の原因となります。

au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au ICカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んで窒息するなどして、傷害などの原因となります。

■マイク付ステレオヘッドセットについて

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自転車や自動車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生、テレビ（ワンセグ）視聴に使用しないでください。安全性を損ない事故の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

ゲームや音楽再生、テレビ（ワンセグ）視聴などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり長時間連続して使用したりすると難聴の原因となります。適度な音量であっても長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

コードをIS11S本体に巻き付けて使用しないでください。感度が落ちて音声が途切れたり、雑音が入る場合があります。コード部を引っ張って抜かないようにしてください。また、コード部を持って本体を吊り上げないでください。端子が破損するおそれがあります。

接続端子にゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

接続端子のコネクタはIS11S本体の接続端子に対して平行に抜き差ししてください。

マイク付ステレオヘッドセットなどをIS11S本体に装着し音量を調節する場合は、少しずつ上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

取り扱いについて詳しくは、マイク付ステレオヘッドセットの取扱説明書をご参照ください。

皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
マイク付ステレオヘッドセットで使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
【マイク付ステレオヘッドセット】イヤホン外装、スイッチ付きマイク外装	PC＋ABS樹脂	−
【マイク付ステレオヘッドセット】イヤーピース（S／M／L）	シリコンゴム	−
【マイク付ステレオヘッドセット】ケーブル	エラストマー樹脂	−
【マイク付ステレオヘッドセット】3.5mmプラグ（ボディ）	ポリウレタン樹脂	−
【マイク付ステレオヘッドセット】3.5mmプラグ（金属部）	銅合金	金メッキ

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ IS11S本体、電池パック、充電用機器、au ICカード共通

- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。（周囲温度5℃～35℃、周囲湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えてmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
また、ほこりなどが付着した場合には、軽く拭き取ってからご使用ください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 音声通話中やテレビ（ワンセグ）視聴中または充電中など、ご使用状況によってはIS11S本体が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

■ IS11S本体について

- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
au電話は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」がau電話本体の銘板シールに表示されております。
au電話本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁石やスピーカー、テレビなど磁力を有する機器に近付けると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- IS11Sに登録された電話帳のデータやギャラリーなどの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- IS11Sに保存されたメールやダウンロードしたデータ（有料・無料は問わない）などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- IS11Sはディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- IS11Sで使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- ポケットおよびかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- ご使用中は、無理な力が加わらないようにしてください。振り回したりそらしたりしてIS11S本体に無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に外部機器を接続するときは、microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に対して外部機器のコネクタが平行になるように抜き差ししてください。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- HDMI接続端子カバーを強く引っ張ると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、IS11S内部に水滴がつくことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- テレビ(ワンセグ)利用中は、IS11Sが熱くなりますので、手や顔などで触れる場合はご注意ください。
- ディスプレイやキーの表面に爪や固いものなどを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。ガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 電池フタの裏に貼ってあるシールは、はがさないでください。シールをはがすと、FeliCa™の読み書きができなくなる場合があります。
- フォト撮影でモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、ムービー撮影、テレビ(ワンセグ)を繰り返し長時間連続作動させた場合、IS11S本体の一部が温かくなり長時間皮膚に接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 撮影などしたフォトやムービーデータ、着信メロディなどの音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- IS11Sは不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットを使用した通話以外の機能(メール、カメラなど)の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央に当たるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となることがあります。
- ライトセンサーを指でふさいだり、ライトセンサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗にライトセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- タッチパネル操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイの損傷や破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護シートや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチパネル操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- タッチパネルを強く押す操作は、破損・故障の原因となりますので、ご注意ください。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 長期間使用しない場合には、IS11S本体から外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。(充電中、電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありません。)
- 電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 不要な電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。また、電源プラグ部分はACアダプタに収納してください。
- ACアダプタの電源コードを電源プラグに巻きつけないでください。感電・発火・火災の原因となります。

■ au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。また、解約などを行って不要になったau ICカードはauショップもしくはPiPitまでお持ちください。
- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れには乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- au ICカードにラベルなどを貼り付けないでください。
- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- au ICカード以外のカードをIS11Sに挿入しないでください。au ICカード以外のカードをIS11Sに挿入して使用することはできません。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- IS11Sの故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ(以下「データ」といいます。)が変化または消失することがあり、この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、聞き取りやすく音声が録音されているかをご確認ください。
- 他の人の容貌などをみだりに撮影、公表することは、その人の肖像権の侵害となるおそれがありますのでご注意ください。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合など著作権法での別段の定めがある場合を除き、著作権者などの許諾を得ることなく使用することはできません。なお、実演・興行および展示物などは、個人として楽しむための撮影自体が制限されている場合がありますのでご注意ください。
- IS11Sのカメラ機能を利用して、撮影が許されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはおやめください。
- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 著作権/肖像権について

- お客様がIS11Sで撮影・録音したものを複製・改変・編集などをする場合、個人で楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断でデータを使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像データや音楽データなどを転送することはできません。

- 本製品は、MPEG LA, LLC社とのMPEG-4およびAVC特許ライセンス契約に基づき、お客様個人による非営利目的を条件に下記使用が許可されています。
  - MPEG-4およびAVC規格に準拠して映像(以下、MPEG-4映像およびAVC映像)を録画すること
  - 個人による非営利目的で録画されたMPEG-4映像およびAVC映像を再生すること
  - MPEG LA, LLC社よりライセンスを許諾されている提供者から得たMPEG-4映像およびAVC映像を再生すること

  上記以外で使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLC社にお問い合わせください。(**http://www.mpegla.com**参照)
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ microSDメモリカードについて

- 指定品以外のmicroSDメモリカードを使用した場合、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- microSDメモリカードをIS11Sに挿入していないときは、microSDメモリカードに関する操作はできません。
- IS11SのmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとmicroSDメモリカードを利用することができません。
- microSDメモリカードの取り付け･取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける可能性があります。
- microSDメモリカードの端子面に手や金属で触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSDメモリカードを曲げたり、折ったり、重いものを載せたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- microSDメモリカードによっては初期化しないと使えないものがあります。IS11Sで初期化してからご使用ください。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- データの読み込み中、書き込み中には振動や衝撃を与えたり、microSDメモリカードを引き抜いたり、電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。データの消失や故障の原因となります。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- microSDメモリカードにラベルなどを貼り付けないでください。
- microSDメモリカードに保存したデータは、別のmicroSDメモリカードやパソコンなどにもコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
- microSDメモリカードを破棄する場合、保存内容が流出するおそれがありますので、保存内容を削除するだけでなく、物理的に破壊したうえで処分することをおすすめします。microSDメモリカードの保存内容についてはお客様の責任において管理してください。
- IS11Sの電池残量が少ない場合は、microSDメモリカードに保存中に電源が切れ、正常に保存などができなくなる場合があります。データが破損･消失することがありますので、電池残量が十分なときにご利用になることをおすすめします。

■ 音楽／テレビ(ワンセグ)／ラジオ機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽やラジオ、テレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。自動車･原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、マイク付ステレオヘッドセットからの音漏れにご注意ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

IS11Sをご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロックの設定

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	なし

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、IS11Sには次のような機能が用意されています。

機能	設定方法
「画面ロック」	設定方法は、「画面ロックを設定する」(▶P.141)をご参照ください。

PINコードについて

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。(▶P.142「SIMカードロックを設定する」)

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「SIMカードロック設定」で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、SIMカードロック設定を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「SIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

◎ PINコードはデータの初期化(▶P.146)を行ってもリセットされません。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「SIM PINの変更」で新しくPINコードを設定してください。(▶P.142「PINコードを変更する」)
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

〈IS11Sの記録内容の控え作成のお願い〉

- ご自分でIS11Sに登録された内容や、外部からIS11Sに受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え※1をお取りください。
  IS11Sのメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。
  ※1 控え作成の手段
  - 電話帳のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。または、メールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

■ **お知らせ**

- 本書およびスタートガイドの内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書およびスタートガイドの内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書およびスタートガイドの内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどでお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi）機能をご使用する場合のお願い

周波数帯について

au電話のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の2,400MHzから2,483.5MHzまでの周波数を使用します。

2.4：2,400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。

1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■：2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®についてのお願い

- IS11SのBluetooth®機能は日本国内およびFCC/IC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。
  海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

● **Bluetooth®ご使用上の注意**

IS11SのBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS11Sを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS11Sと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS11Sの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

無線LAN（Wi-Fi）についてのお願い

- IS11Sの無線LAN機能は日本国内およびFCC/IC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域では無線LAN機能の使用が制限されることがあります。
  海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品、AV・OA機器などの電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 近所に複数のアクセスポイントがあったり、電気雑音の影響を受けると、通信などが阻害されることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- Wi-Fi対応の航空機内であってもIS11Sは使用できません。機内モードに設定してから、電源をお切りください。

● **無線LANご使用上の注意**

IS11Sの無線LAN機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS11Sを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS11Sと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS11Sの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。

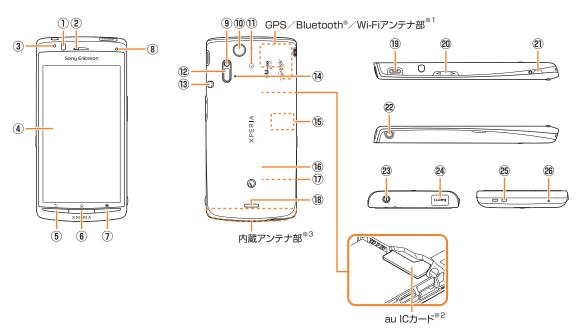
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ Bluetooth®・無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LANのいずれかの使用を中止してください。

ご利用の準備

各部の名称と機能

※1 Wi-Fi利用時、Bluetooth®機能利用時、GPS情報を取得する場合は、アンテナ部を手でおおわないでください。

※2 au ICカードの取り扱いについては、「au ICカードについて」(▶P.31)をご参照ください。

※3 通話時、ブラウザ利用時は、アンテナ部を手でおおわないでください。

① **近接センサー**
タッチパネルのオンとオフを切り替えて、通話中の誤動作を防止します。
② **受話口**
通話中の相手の方の声などが聞こえます。
③ **ライトセンサー**
画面の明るさを自動制御します。指などでふさがないようご注意ください。
④ **ディスプレイ(タッチパネル)**
⑤ **バックキー**
1つ前の画面に戻ります。
⑥ **ホームキー**
ホーム画面を表示します。
⑦ **メニューキー**
操作状況に応じたメニューを表示します。
⑧ **通知LED**
充電状態や不在着信、メールの受信をお知らせします。
⑨ **フラッシュ/フォトライト**
撮影時にフラッシュ/フォトライトを点灯させ撮影対象を明るくします。
⑩ **カメラレンズ**
⑪ **FeliCa™マーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー/ライターにかざしてください。
⑫ **赤外線ポート**
赤外線通信中、データの送受信を行います。
⑬ **ホイップアンテナ**
テレビ(ワンセグ)視聴時に伸ばします。通話時やブラウザ利用時などに伸ばしても、通話やデータ通信に影響はありません。
⑭ **セカンドマイク**
相手の方が聞き取りやすいようにノイズを抑制します。
⑮ **microSDメモリカードスロット**
⑯ **電池フタ**
⑰ **電池パック**
⑱ **スピーカー**
⑲ **microUSB接続端子**
⑳ **音量キー/ズームキー**
㉑ **カメラキー**
1秒以上長押しすると、カメラを起動します。フォト･ムービーの撮影時にシャッターとして使用します。
㉒ **ヘッドセット接続端子**
㉓ **電源キー/画面ロックキー**
電源オン/オフに使用します。また、バックライトを消灯して、キーロックをかけます。
㉔ **HDMI接続端子(type D)**
㉕ **ストラップホール**
㉖ **送話口(マイク)**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。

電池パックを充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったら充電してご使用ください。

■ ご利用可能時間

連続待受時間	約290時間
連続通話時間	約480分

※日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」(▶P.194)をご参照ください。

memo

◎充電には付属のACアダプタケーブルをお使いください。

◎付属のACアダプタはAC100VからAC240Vまで対応しています。海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。

◎充電を開始すると、通知LEDが充電状態に応じて赤色／橙色／緑色に点灯し、緑色に点灯すると電池残量が90%以上になったことを示します。充電状態は、ホーム画面で →[設定]→[端末情報]→[端末の状態]と操作して、「電池残量」で確認できます。充電が完了すると、電池残量が「100%」と表示されます。

◎通知LEDが赤色で点滅している場合は、電源オン時に電池残量が起動するのに十分でないことを示します。電池パックを充電してください。

◎電源オフ時に充電を開始すると、操作はできませんがIS11Sの電源が入った状態になります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。

◎充電中、IS11Sと電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。

◎電池パックは、「安全上のご注意」(▶P.10)をよくお読みになってお取り扱いください。

◎パソコンを使って充電したり、カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。

◎アプリケーションや機能などのご利用状況により、電池パックの使用時間が短くなることがあります。

■ ACアダプタを使って電池パックを充電する

付属のACアダプタケーブルが必要です。

充電時間は約160分です

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグの の刻印面を下にして、IS11S本体のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2 microUSBケーブルのUSBプラグの の刻印面を上にして、ACアダプタのUSB接続端子に水平に差し込み、ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

IS11Sの通知LEDが点灯し、ステータスバーに が表示されます。

3 充電が終わったら、microUSBケーブルのmicroUSBプラグをIS11S本体から取り外す

4 ACアダプタをコンセントから取り外す

■ パソコンを使って電池パックを充電する

付属のmicroUSBケーブルが必要です。接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグの の刻印面を下にして、IS11S本体のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

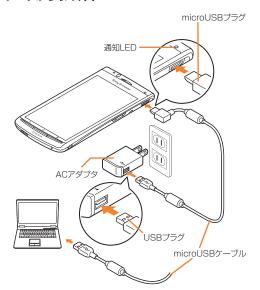
IS11Sの通知LEDが点灯し、ステータスバーに が表示されます。
IS11S本体にPC Companionのインストール確認画面が表示された場合は、「スキップ」をタップしてください。
パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

3 充電が終わったら、microUSBケーブルのmicroUSBプラグをIS11S本体から取り外す

4 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートから取り外す

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ⓞ（1秒以上長押し）

キーロック解除画面が表示されます。キーロックを解除（▶P.30）してください。

memo

◎電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。
◎初めて電源を入れたときは初期設定画面が表示されます。（▶P.30「初期設定を行う」）
◎SIMカードロック／画面ロックをかけている場合は、電源を入れてキーロックを解除すると、PINコード入力画面／画面ロック解除画面が表示されます。PINコードを入力する／設定した解除方法に従って、ロックを解除してください。（▶P.142「電源を入れたときにPINコードを入力する」、▶P.141「画面ロックを解除する」）

電源を切る

1 ⓞ（1秒以上長押し）

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 [電源を切る]→[OK]

キーロックを設定する

キーロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、キーやタッチパネルの誤動作を防止できます。
また、IS11Sでは、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯してキーロックがかかります。

1 画面表示中にⓞ

memo

◎「画面消灯」(▶P.140)でバックライトが消灯するまでの時間を変更できます。
◎キーロックを無効にする設定はありません。

キーロックを解除する

キーロック解除画面は、電源を入れたときや、Ⓘ／[⌂]を押してバックライトを点灯させたときに表示されます。

1 「 」(左)を「 」(右)までドラッグ

memo

◎キーロック解除画面の右側のアイコンを左側までドラッグ(▶P.35)すると、キーロック中でも着信音のオン／オフを切り替えることができます。
◎SIMカードロック／画面ロックをかけている場合は、キーロック解除後にPINコード入力画面／画面ロック解除画面が表示されます。PINコードを入力する／設定した解除方法に従って、ロックを解除してください。(▶P.142「電源を入れたときにPINコードを入力する」、▶P.141「画面ロックを解除する」)

初期設定を行う

お買い上げ後、初めてIS11Sの電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。初期設定画面で言語を設定すると、「セットアップガイド」が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

1 [日本語(日本)]→[次へ]

主な機能の使いかたの確認と初期設定が行えます。

2 [次へ]

「変更」をタップすると、日付や時刻の表示形式を変更できます。(▶P.148「日付と時刻の設定をする」)

3 [次へ]

「表示」をタップすると、キーボードの使いかたを確認できます。

4 [次へ]

「表示」をタップすると、アプリケーションのTimescape™の使いかたを確認できます。

5 [次へ]

ワイヤレスネットワーク	▶P.152「Wi-Fiを利用する」
Googleアカウント	▶P.31「Googleアカウントをセットアップする」
Eメール	▶P.71「PCメールのアカウントを設定する」
Facebook	▶P.145「Facebookアカウントを設定する」
Timescape™	▶P.124「Timescapeの初期設定をする」

6 [次へ]→[完了]

ホーム画面が表示されます。

memo

◎初回の「セットアップガイド」をスキップしても、必要に応じて後から設定／変更することができます。後から設定する場合は、ホーム画面で[▦]→[セットアップガイド]と操作するか、設定メニューから各項目を設定してください。
◎オンラインサービスを設定する前に、データ接続可能な状態であることを確認してください。データ接続状態を知るには、「主なステータスアイコンの例」(▶P.37)をご参照ください。

Googleアカウントをセットアップする

IS11SにGoogleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。また、「セットアップガイド」(▶P.41)からも表示できます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面→[次へ]

IS11Sのセットアップ画面が表示されます。

2 [作成]/[ログイン]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「ログイン」をタップし、ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」をタップします。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「作成」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

◎ Googleアカウントを設定しない場合でもIS11Sをお使いになれますが、Googleトーク、Gmail、AndroidマーケットなどのGoogleサービスがご利用になれません。
◎ サインインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。
◎ Googleアカウントを削除するには、IS11Sの「データの初期化」を行います。詳しくは、「IS11Sを初期化する」(▶P.146)をご参照ください。
◎ Googleアカウントでログインする前に、データ接続可能な状態であることを確認してください。データ接続状態を知るには、「主なステータスアイコンの例」(▶P.37)をご参照ください。

■ Googleパスワードを再取得する場合

1 ホーム画面で[ブラウザ]→URL表示欄をタップ→「http://www.google.co.jp」を入力→[→]

2 [ログイン]

Googleアカウント画面が表示されます。

3 [アカウントにアクセスできない場合]

パスワードアシスタンス画面が表示されます。

4 パスワードアシスタンス画面の指示に従って操作

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

au ICカード

IC(金属)部分

memo

◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分や、IS11S本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎ au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。

■ au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、3G/1Xが表示されません。

- 電話をかける/受ける※1
- Cメールの送受信
- PINコード設定
- IS11Sの電話番号の確認

※1 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。

■PINコードによる制限設定

au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードロック設定により他人の使用を制限できます。（▶P.142「SIMカードロックを設定する」）

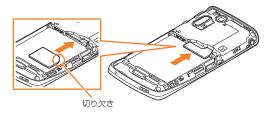
au ICカードを取り外す

au ICカードは、電源を切り電池パックを取り外してから取り外し・取り付けを行います。電池パックの取り外しかたについては、「電池パックを交換する」（▶P.186）をご参照ください。

1 au ICカードを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

au ICカードを取り付ける

1 au ICカードのIC（金属）面を下にし、図の向きで奥までまっすぐ押し込む

切り欠きの向きを奥側にして、差し込んでください。

基本操作

タッチパネルとキー操作

IS11Sでは、ハードウェアキーとタッチパネルを使って操作します。

ハードウェアキーの使いかた

ディスプレイ下の、、の各ハードウェアキーの主な操作は次の通りです。

キー		説明
	バック	1つ前の画面に戻ります。また、ダイアログボックス、メニュー、通知パネル、ソフトウェアキーボードなどを閉じます。
	ホーム	ホーム画面を表示します。 1秒以上長押しすると、最近使用したアプリケーションのウィンドウを開きます。
	メニュー	現在の画面またはアプリケーションで実行できるメニューを表示します。 文字入力時に1秒以上長押しすると、ソフトウェアキーボードを表示／非表示できます。 ホーム画面で1秒以上長押ししてソフトウェアキーボードを表示させ、いずれかのキーをタップすると、Google検索が起動します。

タッチパネルの使いかた

IS11Sのディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・手袋をしたままでの操作
  - ・爪の先での操作
  - ・異物を操作面に載せたままでの操作
  - ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ・濡れた手での操作
  - ・タッチパネルに水滴が付着している状態での操作

■タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

■スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

- 最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。

■ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

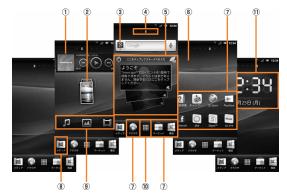
■ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

ホーム画面とアプリケーション画面

ホーム画面とアプリケーション画面から、IS11Sのさまざまな操作ができます。

ホーム画面の見かた

ホーム画面は、中央の画面と左右に2つずつの補助画面の5つの画面で構成されています。中央の画面は本体操作上の初期画面となり、[ホーム]を押すと、いつでもホーム画面を表示することができます。

① **ウィジェット**：ミュージックプレーヤー
② **ウィジェット**：写真とムービー
③ **ウィジェット**：検索
④ **ホーム画面位置**
5つのホーム画面のうちの現在表示位置を示します。
⑤ **ウィジェット**：Timescape™
⑥ **壁紙**

基本操作

⑦ **ショートカット(アプリケーション)**
⑧ **メディアフォルダ(ミュージック、ギャラリー、FMラジオ、ワンセグ)**
⑨ **ウィジェット**：メディアショートカット
⑩ **アプリケーションキー**
⑪ **ウィジェット**：デジタルクロック

◎ホーム画面を左右にスライド／フリック(▶P.35)して、ホーム画面を切り替えられます。(▶P.38「ホーム画面を切り替える」)

ステータスバーを利用する

ステータスバーは、IS11Sの画面上部にあります。ステータスバーの左側には不在着信や新着メール、実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側にはIS11Sの状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■主な通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	通話中
	セットアップガイド未確認
	新着PCメールあり
	新着Gmailあり
	新着Cメールあり／お留守番サービスの伝言お知らせ・着信お知らせあり
	Cメールの配信に問題あり
	新着インスタントメッセージあり
	新着Facebookメッセージあり
	Facebookへデータアップロード中
	Facebookへデータアップロード完了
	データを受信／ダウンロード
	データを送信／アップロード
	Bluetooth®機能の接続要求通知あり
	カレンダーの予定あり
	楽曲を再生中
	FMラジオ視聴中
	ワンセグ視聴中
	赤外線通信中
	おサイフケータイ ロック設定中
	メディアサーバー実行中
	インストール完了(Androidマーケットなどでアプリケーションをインストールする際)
	アップデート通知(インストール済みマーケットアプリのアップデートが通知される際)
	同期に問題あり
	USB接続中
	Wi-Fiオープンネットワーク利用可能
	VPN接続中
	VPN未接続
	データ通信無効
	ソフトウェア更新通知あり、または更新中
	microSDメモリカードを取り外すためにマウント解除(読み書き不可)／microSDメモリカードが取り外されている状態
	エラーメッセージ(赤色)、注意メッセージ(黄色)
	その他の(表示されていない)通知あり

■主なステータスアイコンの例

アイコン	概要	ページ
12:34	時刻	P.149
	アラーム設定あり	P.132
	電池レベル状態 100%／充電中	−
	電波の強さ レベル4／圏外	−
	3Gデータ通信状態 3G使用可能／3Gデータの送信およびダウンロード中	−
	1xデータ通信状態 CDMA 1x使用可能／CDMA 1xデータの送信およびダウンロード中	−
	GSMローミング中／ CDMAローミング中	P.179
	マナーモード（バイブレータ）設定中	P.139
	着信音量「0」に設定中	P.139
	マイクオフに設定中（ミュート）	P.56
	ハンズフリーで通話中（スピーカーオン）	P.56
	Wi-Fi接続中／ AutoIP機能でWi-Fi接続中	P.152
	Bluetooth®利用中 Bluetooth®機能オン／ Bluetooth®対応機器と接続中	P.157
	GPS測位中	−
	データ同期中	P.144
	機内モード設定中	P.137
	au ICカードロック中、またはau ICカードが未挿入	−

memo

◎ 通知LEDの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

LEDの色と点滅	通知内容
赤の点灯	充電中、電池残量が10%以下であることを示します。
橙色の点灯	充電中、電池残量が10%～90%であることを示します。
緑の点灯	充電中、電池残量が90%以上であることを示します。
赤の点滅	電源ON時に電池残量が起動するのに十分でないことを示します。
緑の点滅	バックライト消灯中に不在着信、新着メールがあることを示します。
白の点滅	着信中であることを示します。

通知パネルを利用する

通知アイコンは通知パネルに表示されます。通知アイコンの詳細を確認したり、対応するアプリケーションを起動できます。

1 ステータスバーを下にスライド

「通知を消去」をタップすると、通知内容を消去できます。

◎通知内容によっては消去できない場合があります。

ホーム画面でできること

ホーム画面では、壁紙を変更したり、アプリケーションのショートカットやウィジェット、フォルダを追加／削除／移動できます。

1 ホーム画面で［≡］

2

追加	ショートカット	▶P.38「ショートカットを追加する」
	ウィジェット	▶P.40「ウィジェットを追加する」
	フォルダ	▶P.40「フォルダを追加する」
	壁紙	IS11Sの壁紙を変更します。
壁紙	Sony Ericssonの壁紙	お買い上げ時に用意されている画像から選択して、壁紙に設定します。
	ギャラリー	ギャラリーから画像を選択して、壁紙に設定します。
	ライブ壁紙	お買い上げ時に用意されているライブ壁紙から選択して、壁紙に設定します。 • ライブ壁紙は、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。
設定		▶P.136「設定メニューを表示する」

memo

◎ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチしても、ショートカットやウィジェットなどを追加できます。
◎お買い上げ時に登録されているショートカットは変更できます。本書では、お買い上げ時の状態の操作方法で説明しているため、変更する場合はご注意ください。

ホーム画面を切り替える

ホーム画面を左右にスライド／フリック（▶P.35）すると、隣り合ったホーム画面に移動できます。ホーム画面上部に表示される［■■■■■］で、現在表示しているホーム画面の位置を確認できます。

ホーム画面のアイコンを移動する

ホーム画面に登録されているショートカットやウィジェット、フォルダのアイコンをロングタッチすることで、アイコンの移動や並び替えができます。

1 ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 移動する場所までドラッグして指を離す

◎アイコンに触れたままホーム画面の左または右までドラッグすると、別のホーム画面へ移動できます。

ショートカットを利用する

ホーム画面にアプリケーションやブックマークなどのショートカットを追加できます。

■ショートカットを追加する

■メニューからショートカットを追加する場合

1 ホーム画面で［≡］→［追加］→［ショートカット］

2 項目を選択

データ選択画面や設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■アプリケーション画面からショートカットを追加する場合

1 ホーム画面で[▦]

2 追加するアイコンをロングタッチ

ホーム画面が表示されます。

3 ショートカットを置く場所までドラッグして指を離す

■ショートカットを削除する

1 ホーム画面で削除するショートカットをロングタッチ

画面下部に🗑が表示されます。

2 「🗑」までショートカットをドラッグして指を離す

ウィジェットを利用する

ウィジェットとは、ホーム画面に登録できるアプリケーションです。ホーム画面でピンチインすると、ホーム画面に追加しているウィジェットの一覧が表示されます。「戻る」をタップするか、ピンチアウトすると、ホーム画面に戻ります。

■主なウィジェット一覧

ウィジェット	概要	ページ
Facebook	友達のコメントを表示します。	−
検索	クイック検索ボックスを表示します。	P.43
jibe	複数のソーシャルネットワークサービス(SNS)のメッセージをまとめて参照したり、コメントや画像を投稿できます。	P.122
Latitude	友達の現在地を表示します。	P.121
Timescape™ウィジェット	最新のTimescapeタイルを表示します。	P.124
TrackID™	TrackIDを表示します。	P.98
YouTube	再生回数の多い動画やおすすめの動画などを表示します。	P.122
アナログ時計	アナログ時計を表示します。	−
おみせメモツール	近くのお店の情報の表示やクチコミの投稿をします。	−
カレンダー	カレンダーを表示します。	P.130
ステータススイッチ	機内モードのオン、Bluetooth®機能のオン、GPS機能のオン、Wi-Fiのオン、スピーカーオン／バイブレータ／ミュートの切り替え、モバイルネットワーク設定の各設定ボタンの表示や、電池残量を%表示します。	−
データ送受信	データ通信のオン／オフを切り替えます。	P.138
デジタルクロック	デジタルクロックを表示します。タップするとアラームを起動できます。	−
デジタル時計	デジタル時計を表示します。	−
ニュースと天気	ニュースや天気を表示します。	P.126
ホーム画面のヒント	ホーム画面の操作のヒントを表示します。	−
マーケット	Androidマーケットのおすすめのアプリケーションを表示します。	P.123
ミュージックプレーヤー	ミュージックプレーヤーを表示します。	P.96
メディアショートカット	ミュージックプレーヤー、ギャラリー(フォト、ムービー)を表示します。	−
メディア探索	Facebookで、お客様または「友達」が共有した音楽・動画情報を表示します。	P.126
写真とムービー	IS11Sで撮影したフォト／ムービーやmicroSDメモリカード内に保存された画像／動画を表示します。	P.92
写真フレーム	撮影したフォトをトリミングしてホーム画面に表示します。	−
赤外線通信	赤外線通信を起動します。	P.115
電源管理	Wi-Fiのオン、Bluetooth®機能のオン、GPS機能のオン、自動同期のオン、明るさ調整(切替)の各設定ボタンを表示します。	−

■ウィジェットを追加する

1 ホーム画面で［≡］→［追加］→［ウィジェット］

ウィジェット一覧画面が表示されます。

2 ウィジェットを選択

◎Androidマーケットからウィジェットのあるアプリケーションをインストールした場合、インストールしたウィジェットもウィジェット一覧画面に表示されます。

■ウィジェットを削除する

1 ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ

画面下部に🗑が表示されます。

2 「🗑」までウィジェットをドラッグして指を離す

フォルダを利用する

■フォルダを追加する

1 ホーム画面で［≡］→［追加］→［フォルダ］

2 フォルダアイコンを選択

「新規フォルダの作成」で入力欄をタップすると、フォルダ名を変更できます。

3 ［完了］

■フォルダにアイコンを移動する

1 ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 アイコンをフォルダの上までドラッグして指を離す

■フォルダ名を変更する

1 ホーム画面でフォルダをタップ

2 フォルダ上部のタイトルバーをロングタッチ

3 フォルダ名を入力→［完了］

■フォルダを削除する

1 ホーム画面で削除するフォルダをロングタッチ

画面下部に🗑が表示されます。

2 「🗑」までフォルダをドラッグして指を離す

フォルダにデータがある場合は「OK」をタップしてください。

アプリケーション画面を利用する

アプリケーション画面からさまざまな機能を呼び出すことができます。IS11Sにインストールしたアプリケーションのアイコンも表示されます。

- アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
  また、IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。

アプリケーション画面を表示する

1 ホーム画面で[▦]

アプリケーション画面が表示されます。

左右にスライド／フリック(▶P.35)すると、アプリケーション画面を切り替えられます。

「⌂」をタップするか、[↩]／[⌂]を押すと、アプリケーション画面を閉じます。

■主なアプリケーションの種類

アイコン	アプリケーション	概要	ページ
	電話帳	友人や同僚の連絡先を管理します。	P.60
	電話	電話の発信／着信、通話履歴などを表示します。	P.58
	Cメール	Cメールを送受信します。	P.68
	ブラウザ	インターネットに接続します。	P.81
	Timescape™	ソーシャルネットワークサービス(SNS)、不在着信、メッセージ(SMS)の履歴を閲覧できます。履歴からは電話の発信やメッセージの送信などを行うことができます。	P.124
	設定	IS11Sの各種設定を行います。	P.136
	セットアップガイド	セットアップガイドを表示します。	－
	ミュージック	音楽を再生します。	P.96
	ギャラリー	フォト／ムービーを再生します。	P.92
	アラーム	アラームを設定します。	P.132
	カメラ	フォトを撮影、ムービーを録画します。	P.86
	Eメール	PCメール(複数のアカウントを使用可)を利用できます。	P.71
	マーケット	新しいアプリケーションをダウンロード／購入します。	P.123
	Facebook	「Facebook」アプリケーションを起動します。	－
	カレンダー	予定を管理します。	P.130
	マップ	現在地の確認／他の場所の検索／経路の計算などが行えます。	P.119
	Gmail	Gmailを利用します。	P.76
	トーク	Googleトークを使用してチャットができます。	P.121
	ナビ	Googleマップナビを表示します。	P.119
	プレイス	Googleマップ上に登録された各種情報を利用できます。	－
	Latitude	特定の友人と位置情報を共有して利用するコミュニケーションツールです。	P.121
	電卓	基本的な計算ができます。	P.133
	TrackID™	音楽認識サービスを利用できます。	P.98
	YouTube	YouTubeで動画を再生します。	P.122
	赤外線通信	赤外線通信でデータを送受信します。	P.115
	定型文	文字入力時に引用できる定型文を管理します。	P.53
	SE Store	SE Storeのサイトに接続します。	－

アイコン	アプリケーション	概要	ページ
	メディア探索	Facebookで、お客様または「友達」が共有した音楽・動画情報を表示します。	P.126
	ダウンロード	ダウンロードの一覧を表示します。	－
	取扱説明書 IS11S	IS11Sの取扱説明書を表示します。	－
	ニュースと天気	ニュースと天気を表示します。	P.126
	PlayNow	ニュース速報や辞書サービスなどを利用できるPlayNowの専用サイトに接続します。	－
	au one	au oneのサイトに接続します。	－
	おサイフケータイ	おサイフケータイ®を利用します。	P.128
	jibe	TwitterやmixiなどのソーシャルネットワークサービスSNS)をまとめて楽しめるアプリケーションです。	P.122
	OfficeSuite	Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。	P.115
	検索	IS11S本体内やウェブ上の検索を行います。	P.43
	Skype™	音声通話やインスタントメッセージ(チャット)が利用できます。	－
	音声検索	音声による検索を行います。	P.43
	メディアサーバー	メディアサーバーの設定／管理をします。	P.114
	ワンセグ	ワンセグを視聴します。	P.102
	FMラジオ	FMラジオを視聴します。	P.99
	キャンペーンナビ	Xperiaのキャンペーン情報を閲覧できます。	－
	時計	アラームの設定や時計などを表示します。	P.132
	life.episode™	ニュースや音楽などの最新情報を閲覧できます。	－

memo

◎IS11S本体内の「取扱説明書」アプリケーションでは、さまざまな機能の操作方法や設定方法を確認できます。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてインストールしてください。
◎アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。

アプリケーションを並べ替える

アプリケーション画面に表示されるアプリケーションアイコンを並べ替えます。

1 ホーム画面で[▦]→[⬇]

2

カスタム並べ替え	アプリケーションアイコンを個別に指定して並べ替えます。 ▶P.42「アプリケーションを指定して並べ替える」
アルファベット順	アルファベット順に並べ替えます。
よく使うアプリ	使用頻度順に並べ替えます。
最近インストールしたアプリ	インストール順に並べ替えます。

■アプリケーションを指定して並べ替える

1 ホーム画面で[▦]→[▦]

アプリケーションアイコンが移動できるようになります。

2 並べ替えるアイコンをドラッグして移動

アプリケーション画面の左または右までドラッグすると、別のアプリケーション画面に移動できます。

3 アイコンから指を離す→[ ]

memo

◎アイコンの移動中に一番右の画面までドラッグすると、アプリケーション画面を追加できます。

最近使用したアプリケーションを表示する

最近使用したアプリケーションを表示してアクセスできます。

1 [ ](1秒以上長押し)

最近使用したアプリケーションが一覧で表示されます。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

クイック検索ボックスを利用する

IS11S内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 ホーム画面でクイック検索ボックスをタップ

[ ]:「すべて」「ウェブ」「アプリ」など検索する範囲を設定
[ ]:音声で検索語句を入力し、ウェブ上を検索

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字から始まるアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択/クイック検索ボックスの[ ]

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

memo

◎「現在地を使用」確認画面が表示された場合は、「同意する」/「同意しない」をタップします。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 ホーム画面で[ ]→[音声検索]

Google音声検索画面が表示されます。

2 送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

検索時のメニューを利用する

クイック検索ボックスで使用するウェブ検索エンジンや、IS11S本体内での検索対象を設定できます。

1 ホーム画面で[ ]→[検索]→[ ]→[検索設定]

2

項目	説明
Google検索の設定	検索する文字を入力する際、検索候補を表示するかどうか、検索候補に以前の検索結果を反映させるかどうかなどを設定します。また、ブラウザでウェブ検索履歴設定のページを開くことができます。 • Googleアカウントの登録が必要です。
検索対象	IS11S本体内で検索対象とするデータの種類を選択します。 「ウェブ」「アプリ」「ミュージック」「連絡先選択リスト」「音声検索」
ショートカットを消去	最近選択した検索候補の表示をしないように消去できます。

基本的な操作を覚える

ここでは、IS11Sのよく使う操作を説明します。

縦横表示を切り替える

IS11Sの向きに合わせて、自動的に画面の縦／横画面表示を切り替えることができます。

memo

◎ ホーム画面で［≡］→［設定］→［画面設定］と操作して、「画面の自動回転」のチェックを外すと、縦画面表示で固定されます。
◎ ホーム画面や設定画面など、表示中の画面によっては、IS11Sの向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

項目を選択する

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップします。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法は、メニューキー（［≡］）を押して表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

例：連絡先一覧画面で［≡］を押す場合

《連絡先一覧画面》

メニュー

例：連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチする場合

《連絡先一覧画面》

連絡先をロングタッチ

メニュー

設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックス／ラジオボタンが表示されているときは、チェックボックス／ラジオボタンをタップすることで設定のオン／オフを切り替えることができます。

アイコン	説明
／	設定がオンの状態です。
／	設定がオフの状態です。

データを複数選択する

データを移動／保存／削除などする際に、複数のデータを選択できます。
選択するデータをタップすると、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。
チェックボックスにチェックが入った項目をもう一度タップすると、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

データを削除する

機能によって、表示される項目名や削除方法が異なる場合があります。

■ 1件削除

例：Cメールを1件削除する場合

1 **ホーム画面で[ ]→[Cメール]**

2 **削除するCメールがあるスレッドをタップ**

3 **削除するCメールをロングタッチ**

4 **[メッセージを削除]→[はい]**

■ 選択削除

例：Cメールのスレッドを選択削除する場合

1 **ホーム画面で[ ]→[Cメール]→ →[複数のメッセージを削除]**

2 **削除するスレッドにチェックを入れる**
「全て選択」／「全クリア」をタップすると、すべてのCメールを選択／選択解除できます。

3 **[削除]**

■ 全件削除

例：通話履歴を全件削除する場合

1 **ホーム画面で[電話]→[通話履歴]→ →[通話履歴を全件削除]**

文字入力

文字入力の方法

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などに表示される文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

入力方法を選択する

IS11Sでは、入力方法(キーボード種別変更)を選択できます。

1 文字入力画面→入力欄をロングタッチ→[入力方法]

2

Chinese keyboard	中国語を入力する場合に選択します。
POBox Touch	日本語を入力する場合に選択します。
スタンダードキーボード	入力する言語を選択できます。日本語以外の言語を入力する場合に選択します。

memo

◎入力方法(キーボード種別変更)は、文字入力中に変更できます。

ソフトウェアキーボードについて

POBox Touch(日本語入力)では、QWERTY、12キー、50音の3種類のソフトウェアキーボードを切り替えて使用できます。

キーボードを切り替える

1 文字入力画面→「文字Aa12」をロングタッチ

2 [ ]/[ ]/[ ]

：12キーソフトウェアキーボードを表示
：QWERTYソフトウェアキーボードを表示
：50音ソフトウェアキーボードを表示

◎お買い上げ時は、QWERTYソフトウェアキーボードに設定されています。また、「予測変換」「入力ミス補正」はオンに設定されています。
◎ソフトウェアキーボードのキー表示は、入力画面や文字種、設定によって異なります。
◎文字入力を中断して元の画面に戻るときは、[戻る]を押します。

QWERTYソフトウェアキーボードでの文字入力

日本語を「ローマ字入力」で行う場合に使用します。

《QWERTYソフトウェアキーボード》

■各タッチキーの主な役割

アイコン	機能
文字Aa12/文字A1	タップするたびに「英字」→「数字」→「ひらがな漢字」の順に文字種が切り替わります。 **あ**：ひらがな漢字 **Aa**：半角英字/**A**：全角英字 **12**：半角数字/**1**：全角数字
文字Aa12/文字A1(ロングタッチ)	文字種切替ウィンドウを表示します。 **キーボード切り替え**： / **文字種切り替え**：全(全角)、半(半角)
☺	タップするたびに「絵文字(Cメールのみ)」→「半角記号」→「全角記号」→「顔文字」の順に一覧が切り替わります。
☺(ロングタッチ)	プラグインアプリの一覧が表示され、プラグインアプリを起動できます。

アイコン	機能
	記号アシストエリア:「、。?!」を入力します。左右にフリックして、「(スペース)･～…「」()」を入力できます。
	カーソル移動[※1]: 左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル移動[※1]: 右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
[※2]	入力文字、変換文字を確定します。入力･変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
	日本語(ローマ字)入力時に表示され、「各種設定」「キーボード種別変更」の設定を変更できます。
変換	変換確定前に表示され、タップすると文字の変換方法を「直変換」に切り替えます。
	英数入力時にタップすると、大文字／小文字を切り替えます。 数字入力時にタップすると、キー入力できる記号に切り替えます。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※2 検索ボックスやメールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

■アシストキーボードを選択する

QWERTYソフトウェアキーボードでひらがな漢字入力する場合に、よく使用するキーの表示幅を大きく、タップしやすくするようにアシストキーボードを変更することができます。

1 QWERTYソフトウェアキーボードで文字入力時に[ ]→[各種設定]→[アシストキーボード選択]

2

ワイド	入力時によく使うキーの幅を広くタップしやすく表示します。
ハイライト	入力時によく使うキーの幅を広くして、次に入力が予測されるキーをハイライト表示します。
ダイナミック	次に入力が予測されるキーの幅をさらに広くタップしやすくして、ハイライト表示します。
ノーマル	キーの幅を均等に表示します。

■キーボードに表示するキーを変更する

日本語入力でQWERTYソフトウェアキーボードに使用頻度の低いキー(Q、X、Cなど)を表示しないようにできます。

1 QWERTYソフトウェアキーボードで文字入力時に[ ]→[各種設定]→[表示キー選択]

2 表示しないキーのチェックを外す→[OK]

■アシスト記号を変更する

記号アシストエリアに表示される記号(12個)をよく使うものに入れ替えることができます。

1 QWERTYソフトウェアキーボードで文字入力時に[ ]→[各種設定]→[アシスト記号変更]

アシスト記号変更画面が表示され、QWERTYソフトウェアキーボードに表示される12個の記号を変更できます。

2 変更する記号をタップ→現在設定されている文字を削除してから表示する文字を入力→[OK]

memo

◎アシスト記号変更画面→→[リセット]→[OK]と操作すると、変更した内容をリセットします。

文字入力

12キーソフトウェアキーボードでの文字入力

日本語を「かな入力」で行う場合に使用します。

《12キーソフトウェアキーボード》

■各タッチキーの主な役割

アイコン	機能
／	タップするたびに「英字」→「数字」→「ひらがな漢字」の順に文字種が切り替わります。 **あ**：ひらがな漢字 **Aa**：半角英字／**A**：全角英字 **12**：半角数字／**1**：全角数字
／ （ロングタッチ）	文字種切替ウィンドウを表示します。 **キーボード切り替え**：／ **文字種切り替え**：（全角）、（半角）
	タップするたびに「絵文字（Cメールのみ）」→「半角記号」→「全角記号」→「顔文字」の順に一覧が切り替わります。
（ロングタッチ）	プラグインアプリの一覧が表示され、プラグインアプリを起動できます。
	変換確定前に表示され、文字の変換方法（「予測変換」「直変換」）を切り替えます。
	1つ前の文字を表示（逆順）します。
Undo	変換確定後に表示され、変換前の表示に戻ります。
	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
※2	入力文字、変換文字を確定します。入力･変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除できます。
	直変換候補の1つ目に表示されている候補を表示します。文字未入力時にスペースを入力します。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。

※2 検索ボックスやメールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

■フリック入力について

上下左右にフリックして各行の文字を入力できます。キーを繰り返してタップすることなく、文字を入力できます。

例:「な」行を入力する場合

「な」はタップするだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。

memo

◎大文字／小文字の切り替えや濁点の付加は、「 」をタップして行います。
◎お買い上げ時には、「フリック入力」はオンに設定されています。

■トグル入力について

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。同じキーに配列された文字を続けて入力するには、次のように操作します。

例:「あお」と入力する場合

① 「あ」を1回タップする
② 「 」をタップして「あ」を5回タップする

例:「ca」と入力する場合

① 「ABC」を3回タップする
② 「 」をタップして「ABC」を1回タップする

memo

◎キーをタップして一定時間が経過すると、「 」をタップしなくても同じキーに配列された文字を続けて入力できます。
◎大文字／小文字の切り替えや濁点の付加は、「 」をタップして行います。

50音ソフトウェアキーボードでの文字入力

日本語入力を「かな入力」で行う場合に、50音順に並んだキーボードを使用して入力できます。

《50音ソフトウェアキーボード》

■各タッチキーの主な役割

アイコン	機能
／	タップして文字種を「ひらがな漢字」と「英数字」に切り替えます。

アイコン	機能
文字 / 文字 (ロングタッチ)	文字種切替ウィンドウを表示します。 **キーボード切り替え**: ⌨ / ▦ **文字種切り替え**: 全(全角)、半(半角)
大⇔小	タップして大文字/小文字の切り替えや濁点を付加します。
☻	タップするたびに「絵文字(Cメールのみ)」→「半角記号」→「全角記号」→「顔文字」の順に一覧が切り替わります。
☻(ロングタッチ)	プラグインアプリの一覧が表示され、プラグインアプリを起動できます。
◀	カーソル移動※1: 左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
▶	カーソル移動※1: 右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
␣	直変換候補の1つ目に表示されている候補を表示します。文字未入力時にスペースを入力します。
↵確定※2	入力文字、変換文字を確定します。入力·変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
⌫	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除できます。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※2 検索ボックスやメールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

文字入力中のメニューを利用する

文字入力中に入力欄をロングタッチすると、メニュー項目が表示され、入力した文字の選択、コピー、切り取り、貼り付け、辞書に追加などの操作が行えます。

例: 入力した文字を切り取り/コピーする場合

1 文字を入力後、入力欄をロングタッチ →[語句を選択]/[すべて選択]

カーソルを移動して、選択範囲を調整します。

2 語句を選択後、入力欄をロングタッチ →[切り取り]/[コピー]

切り取り/コピーした文字を貼り付けるには、貼り付ける位置にカーソルを移動し、入力欄をロングタッチ→[貼り付け]と操作します。

辞書を利用する

あらかじめ辞書の設定をしておくと、文字入力時に優先的に変換候補として表示されます。

ユーザー辞書に登録する

POBox Touchのユーザー辞書には「日本語ユーザー辞書」(かな漢字)と「英語ユーザー辞書」(半角英字)の2種類があります。

1 ホーム画面で ☰ →[設定]→[言語とキーボード] →[POBox Touch]

2 [日本語ユーザー辞書]/[英語ユーザー辞書]

3 ☰ →[追加]

4 「読み」の入力欄をタップ→読みを入力→[次へ]

5 「表記」の入力欄に単語を入力

6 [完了]→[保存]

学習辞書を設定する

POBox Touchの学習辞書機能をオンにしておくと、使えば使うほどよりスムーズに文字を入力できるようになります。

1 ホーム画面で ≡ →[設定]→[言語とキーボード]→[POBox Touch]→[学習辞書]

2 「入力した語句を自動学習」にチェックを入れる

memo

◎ [学習辞書リセット]→[OK]と操作すると、学習辞書に保存した内容をリセットします。

プラグインアプリの「定型文」を利用する

文字入力時に「☻」をロングタッチしてプラグインアプリの「定型文」を呼び出し、引用することができます。引用できる定型文は、あらかじめ「インターネット」「あいさつ」「ビジネス」「返事」「プライベート」の5つのカテゴリーに分けて保存されています。

カテゴリーを追加して定型文を登録する

新しいカテゴリーを作成し、定型文を登録します。

1 ホーム画面で[▦]→[定型文]

カテゴリー一覧画面が表示されます。
各カテゴリーをタップすると、登録されている定型文の一覧が表示されます。定型文をタップすると、編集／削除できます。

2 ≡ →[カテゴリー追加]→カテゴリー名称を入力→[OK]

3 [新規追加]→定型文を入力→[OK]

memo

◎ カテゴリー一覧画面→ ≡ →[初期化]→[OK]と操作すると、定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

プラグインアプリを追加する

文字入力時に利用するプラグインアプリをインストールして追加できます。

1 ホーム画面で ≡ →[設定]→[言語とキーボード]→[POBox Touch]→[アプリケーションを管理]

2 [OK]

プラグイン設定画面が表示されます。
プラグインアプリにチェックが入っていると、文字入力画面から起動できます。

3 [新規アプリケーションのダウンロード]

4 アプリを選択→画面の指示に従って操作

文字入力の設定をする

キーボード種別ごとに、文字入力の各種設定を行うことができます。

1 ホーム画面で ≡ →[設定]→[言語とキーボード]

2

スタンダードキーボード	スタンダードキーボードの各種設定を行います。

POBox Touch	▶P.54「POBox Touchを設定する」
Chinese keyboard	Chinese keyboardの各種設定を行います。

memo

◎設定できる項目は、キーボードの種類により異なります。

POBox Touchを設定する

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]→[言語とキーボード]→[POBox Touch]**

2

アシストキーボード選択	▶P.49「アシストキーボードを選択する」
表示キー選択	▶P.49「キーボードに表示するキーを変更する」
アシスト記号変更	▶P.49「アシスト記号を変更する」
フリック入力	フリック入力を利用するかどうかを設定します。
フリック感度選択	フリック入力時のスライド感度を設定します。 •「フリック入力」をオンにしていない場合は、選択できません。
トグル入力	フリック入力時にトグル入力を利用するかどうかを設定します。 •「フリック入力」をオンにしていない場合は、選択できません。
キセカエキーボード選択	キーボードの外観を変更します。 • ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。
アプリケーションを管理	▶P.53「プラグインアプリを追加する」
キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
キーポップアップ	キーをタップしたときに、タップしたキーをポップアップ表示するかどうかを設定します。
自動大文字変換	英字入力時に文頭の文字を自動的に大文字にして入力するように設定します。
モード別キーボード保持	画面の向きと、かな／英字／数字ごとに最後に使用したキーボードの状態を保つように設定します。
日本語ユーザー辞書	▶P.52「ユーザー辞書に登録する」
英語ユーザー辞書	
学習辞書	▶P.53「学習辞書を設定する」
バックアップと復元	ユーザー辞書と学習辞書に保存された内容は、microSDメモリカードにバックアップしたり、必要なときに復元したりできます。
予測変換	予測変換機能を使って、日本語·英語ともに入力した文字列に対して予測される変換候補を表示するかどうかを設定します。
入力ミス補正	QWERTYソフトウェアキーボードで半角英字を入力し、変換前の文字列に入力ミスがあった場合に、入力ミスを補正して変換候補を表示するかどうかを設定します。 •「予測変換」をオンにしていない場合は、選択できません。
自動スペース入力	英語予測候補選択時に入力文字の後ろに自動でスペースを入力するかどうかを設定します。 •「予測変換」をオンにしていない場合は、選択できません。 • メールアドレスやウェブアドレスしか入力できない入力欄では、自動スペースは入力されません。

電話

電話をかける

1 ホーム画面で[電話]

電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力

[×]：入力した数字を1桁削除
[×](ロングタッチ)：すべての数字を削除
一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力します。

3 [発信]→通話→[通話終了]

通話中に[◁ ▷]を押すと、受話音量(相手の声の大きさ)を調節できます。

通話が終了すると、通話時間の目安が表示されます。

memo

◎送話口をおおっても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。

マイクをオフにするには

◎通話中に「ミュート」をタップすると、相手の方にこちらの声が聞こえないようになります。もう一度「ミュート」をタップするとこちらの声が聞こえるようになります。

ハンズフリーで通話するには

◎通話中に「スピーカー」をタップすると、スピーカーから相手の方の声が聞こえるようになり、ハンズフリーで通話できます。もう一度「スピーカー」をタップすると元に戻ります。

■au電話からご利用いただけるダイヤルサービス

- 全国の一般電話との通話
- 全国の携帯電話・PHS・自動車電話との通話
- 001(001国際電話サービス：お申し込みは不要です)
- 171(災害対策用ボイスメール)
- 177(天気予報：市外局番が必要です)
- 117(時報)
- 104(電話番号案内)
- 115(電報の発信)
- 110(警察への緊急通報)★
- 119(消防機関への緊急通報)★
- 118(海上保安本部への緊急通報)★
- 船舶電話

※★は緊急通報番号です。
※次のNTTサービスはご利用になれません。
　コレクトコール、伝言ダイヤル、ダイヤルQ2、116(NTT営業案内)

■電話番号入力画面のメニューを利用する

電話番号入力画面で[≡]を押すと、入力した電話番号を連絡先に追加できます。

■通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

操作	説明
連絡先	通話中に連絡先リストを表示します。
スピーカー	通話中に「スピーカー」をタップすると、ハンズフリーで通話できます。
ミュート	通話中に「ミュート」をタップすると、マイクをオフにします。
ダイヤルキー	追加する電話番号を入力して連絡先に登録したり、三者通話サービス(▶P.171)に加入している場合は電話をかけることができます。
通話終了	通話を終了します。

ポーズ(,)を入力する

ご自宅の留守番電話、チケットの予約、銀行の残高照会など、各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

1 電話番号入力画面→電話番号を入力→カンマ(,)が表示されるまでアスタリスク(＊)をロングタッチ

ポーズ(,)を入力できます。

電話を受ける

1 着信中に「」（左）を「」（右）までドラッグ

通話を開始します。

2 通話→[通話終了]

通話が終了すると、通話時間の目安が表示されます。

memo

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信のあった時間や電話番号または連絡先に登録されている名前などが表示されます。

着信時に着信音を消音にするには

◎着信時にまたはを押すと、着信音を消音にすることができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎連絡先やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度ご利用が可能となります。

■電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。
- 電話番号と名前が連絡先に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。画像を設定しているときは、画像がディスプレイに表示されます。

着信を拒否する

1 着信中に「」（右）を「」（左）までドラッグ

着信音が止まって電話が切れます。相手の方には「こちらはauです。おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

memo

◎お留守番サービス（▶P.162）を開始しているか、着信転送サービスの「無応答転送」（▶P.168）を設定している場合は、着信拒否をしても、お留守番サービスまたは着信転送サービスが優先されます。

国際電話を利用する

memo

◎国際アクセス番号は国によって異なります。

au電話から海外へかける（001国際電話サービス）

IS11Sからは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：au電話からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面→アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]

アクセスコード※1	➡	国番号（アメリカ）	➡	市外局番※2	➡	相手の方の電話番号
001010		1		212		123XXXX

※1 「0」をロングタッチすると、「＋」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

memo

◎通話設定（▶P.138）で「国番号表示（日本在圏時）」にチェックを入れると、電話発信時に国番号一覧が表示されます。地域番号（市外局番）＋相手の電話番号を入力→［発信］と操作し、国番号一覧から相手の国を選択するとアクセスコードと国番号が自動的に付加され、国際電話をかけることができます。
◎001国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、001国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより001国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
001国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）**157**番（通話料無料）
一般電話から **0077-7-111**（通話料無料）
受付時間 毎日9:00～20:00
◎海外へ電話を転送できます。（▶P.169「海外の電話へ転送する」）

通話履歴を利用して電話をかける

通話履歴を呼び出して利用できます。

1 ホーム画面で［電話］→［通話履歴］

通話履歴一覧画面が表示されます。
：発信
：着信
：不在着信

2 電話をかける履歴を選択

通話履歴詳細画面が表示されます。

3 発信操作

通話履歴の種類などによって表示が異なります。

memo

◎通話履歴一覧画面→［ ］と操作すると、選択した相手の方へ電話をかけることができます。
◎通話履歴詳細画面から、連絡先に追加したり、Cメールの作成をすることができます。

通話履歴のメニューを利用する

通話履歴一覧画面で を押す、または履歴をロングタッチするとメニュー項目が表示され、番号を編集したり、履歴を削除するなどの操作が行えます。

電話帳

連絡先に登録する

電話帳の連絡先一覧画面では、連絡先の各種情報が表示されます。連絡先に写真を追加したり、ソーシャルネットワークサービス（SNS）の更新情報を表示したりすることもできます。

memo

◎電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で電話帳が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎「アカウントと同期」（▶P.144）を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などとIS11Sの電話帳を同期できます。（Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。）

1 ホーム画面で[▦]→[電話帳]

連絡先一覧画面が表示されます。

初めて電話帳を開いたときは、セットアップウィザードが表示されます。セットアップウィザードでは、microSDメモリカードから連絡先を読み込んだり、GoogleアカウントとIS11Sの連絡先の同期を行うことができます。

「電話帳を開く」をタップすると、電話帳をご利用になれます。

《連絡先一覧画面》

① **条件キー**
表示する連絡先の条件を設定します。

② **連絡先検索フィールド**

③ **新しい連絡先の追加キー**

④ **自分の連絡先**

⑤ **連絡先に登録された名前**

⑥ **ソーシャルネットワークサービス（SNS）のステータスの更新情報**

⑦ **Googleトークオンライン状況**※1

⑧ **検索バー**
名前を五十音順、アルファベット順などで検索します。

⑨ **画面切替タブ**
電話／通話履歴／連絡先／お気に入りタブを切り替えます。

※1 使用状況によりGoogleトークのオンライン表示と異なる場合があります。

2 [≡]→[新規連絡先]

連絡先一覧画面→[👤]と操作しても、新規登録できます。

3 [本体連絡先]／[（Googleアカウント）]

Googleアカウントを設定していない場合は、保存先として「本体連絡先」が表示されます。

4 **名前を入力**

5 **必要に応じて他の項目を入力**

電話番号やメールアドレス、着信音などが入力できます。
「フィールドを追加」をタップして項目を増やすことができます。

6 **[完了]**

memo

◎「ふりがな(姓/名)」を登録した場合、連絡先一覧画面には「ふりがな」の五十音順、アルファベット順に従って表示されます。

連絡先の着信音を設定する

1 **連絡先一覧画面→着信音を設定する連絡先をタップ**

2 **[編集]**

3 **[着信音]→着信音を選択→[完了]**

着信音を選択すると、選択した曲が再生されます。

4 **[完了]**

連絡先の画像を設定する

1 **連絡先一覧画面→画像を設定する連絡先をタップ**

2 **[編集]**

3 **[ ]**

■ 画像をギャラリーから選択して設定する場合

4 **[ギャラリー]**

5 **登録する画像をタップ→連絡先として登録する画像部分にオレンジ色の枠をドラッグ→[保存]**

6 **[完了]**

■ 写真を撮影して設定する場合

4 **[新しい写真を撮影する]**

カメラが起動します。撮影→連絡先として登録する画像部分にオレンジ色の枠をドラッグ→「保存」をタップします。

5 **[完了]**

memo

◎ホーム画面で[ ]→[ギャラリー]→登録する画像をタップ→ →[その他]→[登録]→[連絡先の画像]→登録する連絡先をタップ→連絡先として登録する画像部分にオレンジ色の枠をドラッグ→[保存]と操作しても、画像を登録できます。

ソーシャルネットワークサービス(SNS)の連絡先情報を表示する

ソーシャルネットワークサービス(SNS)のアカウント設定を行っている場合、連絡先を同期させて、連絡先一覧画面に「友達」などの連絡先情報を表示することができます。また、各サービスのステータス更新情報を表示させることもできます。

1 **連絡先一覧画面→ →[設定]**

2 [アカウントと同期]

アカウントを設定していない場合は、「アカウントを追加」をタップして設定できます。

3 サービス名をタップ

4 同期する項目をタップ

同期が終わると、連絡先一覧画面に「友達」などの連絡先情報が表示されるようになります。

■ステータス更新情報の表示/非表示を設定する

ソーシャルネットワークサービス(SNS)のアカウントを設定して同期すると、ステータス更新情報の表示/非表示を設定できるようになります。

1 連絡先一覧画面→[≡]→[設定]→[ステータス表示設定]

2 ステータス更新情報を表示する項目をタップ

「すべて」をタップすると、すべてのサービスのステータス更新情報を表示できますが、1つの連絡先に複数のサービスアカウントがある場合は、ステータス更新の新しい方の更新情報が表示されます。

「OFF」をタップすると、ステータス更新情報を表示しないように設定されます。

連絡先を編集する

一度登録した連絡先を修正します。

1 ホーム画面で[▦]→[電話帳]

2 編集する連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

3 [編集]

連絡先編集画面が表示されます。

4 項目を選択して編集

編集できる項目については、「連絡先に登録する」(▶P.60)をご参照ください。

5 [完了]

連絡先をお気に入りに登録する

連絡先にお気に入りのマークを付けることができます。お気に入りリストを使用すると、マークを付けた連絡先にすばやくアクセスできます。

1 ホーム画面で[▦]→[電話帳]

2 マークを付ける連絡先をロングタッチ

3 [お気に入りに追加]

memo

◎ 連絡先詳細画面→[お気に入り]と操作しても、お気に入りに登録できます。

◎ 連絡先一覧画面→[お気に入り]と操作すると、お気に入りに登録した連絡先を表示できます。

連絡先を削除する

1 ホーム画面で[▦]→[電話帳]

2 [≡]→[連絡先を削除]

3 削除する連絡先にチェックを入れる

「すべて選択」をタップすると、すべての連絡先を選択できます。

4 [削除]→[OK]

memo

◎ 1件削除の場合、連絡先一覧画面で削除する連絡先をロングタッチ→[連絡先を削除]→[OK]と操作しても、1件削除できます。

連絡先の登録内容を利用する

連絡先の登録内容を利用して、電話をかけたり、メールを送信したりできます。

登録した電話番号を利用する

1 ホーム画面で[▦]→[電話帳]

2 電話をかける連絡先をタップ

3 電話番号をタップ

登録したメールアドレスにメールを送る

1 ホーム画面で[▦]→[電話帳]

2 メールを送る連絡先をタップ

3 「Cメール」またはメールアドレスをタップ

「Cメール」をタップするとCメールを、メールアドレスをタップするとメールアプリを選択してPCメールを作成できます。

連絡先をリンクする

複数の連絡先として登録された連絡先を1つにリンクさせて、まとめることができます。

1 ホーム画面で[▦]→[電話帳]

2 リンクさせる連絡先をロングタッチ→[連絡先のリンク]

3 リンクさせる連絡先をタップ

4 [OK]

memo

◎ 連絡先編集画面→[☰]→[リンク]と操作しても、連絡先のリンクができます。

◎ リンクを解除するには、連絡先編集画面→[☰]→[リンク解除]→[OK]と操作します。

オートリンク機能について

保存先が異なり、同じ名前などで別々に登録された連絡先が、自動でリンクされて1つの連絡先にまとめられます。

■オートリンクされる場合

姓名が一致する連絡先は、保存先(本体連絡先／Googleアカウントなど)の異なる連絡先が登録されている場合、自動でリンクされます。
また、保存先(アカウント種別)が異なっていて、次のいずれかの内容で連絡先が登録されている場合も自動でリンクされます。

- 姓／名を入れ替えて連絡先が登録されている
- 姓／名に分けずに、姓または名にだけ連絡先が登録されている
- 姓／名は異なるが、ふりがなの姓／名が一致している
- 姓／名と、ふりがなの姓／名が一致している
- 姓／名がなく、電話番号またはメールアドレスが一致している
(類似した姓／名で登録された連絡先もオートリンクされる場合があります。)
- 次の内容で姓／名が連絡先に登録されている
  - ・全角ひらがな／全角カタカナ／半角カタカナ
  - ・アルファベットの大文字／小文字
  - ・アクセント記号や発音記号の有無

■ オートリンクされない場合

姓／名が同じで、かつ保存先（アカウント種別）が同じ場合は、自動でリンクされません。

連絡先を送信する

登録した連絡先や自分の連絡先の情報を、Bluetooth®機能やPCメール添付機能、赤外線機能などを利用して送信できます。

1 ホーム画面で［▦］→［電話帳］

2 ［≡］→［連絡先を送信］

3 送信する連絡先にチェックを入れる

すべての連絡先を送信する場合は、「すべて選択」をタップします。

4 ［送信］→［OK］

■ Bluetooth®機能を利用する場合

5 ［Bluetooth］→［ONにする］

Bluetooth®機能がオンになり、送信先の機器を検索します。すでにBluetooth®機能がオンになっている場合は、Bluetooth®端末のスキャン画面が表示されます。

6 リストから送信先の機器をタップ

■ メールに添付する場合

5 ［Eメール］／［Gmail］

「Eメール」は、「Eメール」アプリケーションにPCメールアカウントを登録している場合に表示されます。

6 メールを作成して送信

■ 赤外線機能を利用する場合

5 ［赤外線通信］

送信先の機器に赤外線ポートを向かい合わせると送信を開始します。複数の連絡先を送信する場合は、認証パスコードの入力が必要になります。認証パスコードは、送信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

◎ 連絡先の送信が可能なアプリをダウンロードした場合、手順4で「OK」をタップすると「連絡先の送信方法」にアプリ名が表示されますが、アプリによっては正しく動作しないものもあります。

連絡先のショートカットを利用する

連絡先一覧画面で写真（画像）部分をタップすると、電話番号やメールなどのショートカットが表示され、ショートカットをタップして電話をかけたり、メールを作成して送信したりできます。

（電話アイコン）	登録した電話番号に電話をかけます。
（情報アイコン）	連絡先の情報フィルター画面（▶P.65）が表示されます。
（Cメールアイコン）	Cメールを作成して送信します。
（PCメールアイコン）	PCメールアプリを選択してPCメールを作成し、送信します。

※ その他、登録したGoogle トークアカウントや住所などを利用することができます。

◎ 連絡先一覧画面で写真（画像）部分以外をタップすると、ショートカットは表示されず、「情報」フィルター画面（▶P.65）が表示されます。

◎ PCメールのショートカットは、選択している連絡先にメールアドレスが登録されていて、「Eメール」アプリケーションで自分のPCメールアカウントを設定している場合に表示されます。「Eメール」アプリケーションにPCメールアカウントが設定されていない場合は、（アイコン）が表示されます。

連絡先を検索する

1 **ホーム画面で[▦]→[電話帳]**

2 **検索する名前や読みを検索フィールドに入力**

連絡先の表示条件を変更する

連絡先一覧画面で をタップすると、表示条件を設定したり、連絡先の保存先やアカウントごとの連絡先の表示／非表示を設定したりできます。

■ 表示条件

次の項目にチェックを入れて設定します。

電話番号のある連絡先のみ	電話番号を登録している連絡先のみを表示
オンラインの連絡先のみ	Googleトークでオンライン中の方の連絡先のみを表示

■ 表示／非表示の設定

連絡先の保存先やアカウント設定したソーシャルネットワークサービス(SNS)名をタップ→「すべての連絡先」にチェックを入れると、同期している連絡先が表示されます。チェックを外すと表示されなくなります。

連絡先のメニューを利用する

連絡先一覧画面で[≡]を押す、または連絡先をロングタッチするとメニュー項目が表示され、連絡先の編集や削除、インポート、エクスポートなどの操作が行えます。

連絡先情報フィルターを利用する

連絡先詳細画面を表示しているときに、画面下に表示されるフィルターを左右にフリックさせて次の情報を表示することができます。

フィルター	表示
情報	連絡先電話番号、メールアドレス、住所、Facebookプロフィール、最新ステータスの情報など
写真	連絡先の「友達」がFacebookにアップした画像
趣味と関心	連絡先の「友達」がFacebookに登録した「いいね！」情報
Cメール	連絡先とのCメール
Facebook	連絡先のFacebookステータス更新履歴 • TimescapeでFacebookアカウントで接続した場合に表示されます。
通話履歴	連絡先との通話履歴

◎「Facebook」のフィルターを表示するには、TimescapeからFacebookにログインし、Timescapeでの更新が必要となります。

◎Facebook関連フィルターの情報が表示されない場合は、連絡先一覧画面→[≡]→[設定]→[アカウントと同期]→[(Sony Ericsson端末用Facebook)]と操作して、各項目を同期します。

連絡先をエクスポート／インポートする

連絡先をmicroSDメモリカードへエクスポート／インポートできます。

- 連絡先によっては、データの一部がエクスポート／インポートされない場合があります。

エクスポートする

すべての連絡先をmicroSDメモリカードへエクスポートします。

1. **ホーム画面で[▦]→[電話帳]**
2. **[≡]→[連絡先エクスポート]→[OK]**

インポートする

microSDメモリカードに保存されている連絡先をインポートします。

1. **ホーム画面で[▦]→[電話帳]**
2. **[≡]→[連絡先をインポート]**
3. **インポート先を選択**

   Googleアカウントなどを設定している場合は、インポート先として表示されます。

4. **インポートするvCardファイルを選択→[OK]**

   ファイルが1件しかない場合は、vCardファイルの選択画面は表示されずにインポートが開始されます。
   ファイルの中に複数の連絡先がある場合は、すべて一度にインポートされます。
   vCardファイルが2件以上存在する場合は、「vCard1件インポート」／「複数vCardインポート」／「全vCardインポート」のいずれかを選択します。

IS11Sの電話番号を確認する

連絡先一覧画面の最上部に自分の電話番号が表示されます。また、ここから名前やメールアドレスなど、自分の連絡先を編集できます。

1. **ホーム画面で[▦]→[電話帳]**
2. **リスト最上部の[XXX-XXXX-XXXX](自分の連絡先)をタップ**
3. **[編集]**

   自分の連絡先編集画面が表示されます。
   編集できる項目については、「連絡先に登録する」(▶P.60)をご参照ください。

4. **[完了]**

◎「自分の連絡先」には、複数の電話番号、メールアドレスなどを登録できます。登録した電話番号との通話履歴が情報フィルター画面(▶P.65)の「通話履歴」に表示されます。

◎「Eメール」アプリケーションでPCメールアドレスを設定すると、「自分の連絡先」に表示されます。編集画面には表示されません。

メール

メールについて

IS11Sでは、次のメールが利用できます。

■Cメール

Cメール対応のau電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。(▶P.68)

■PCメール

「Eメール」アプリケーションを利用して、au one メールのメールアカウントやExchange ActiveSyncアカウント、一般のISP(プロバイダ)が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じようにIS11Sからメールを送受信できます。(▶P.71、P.76)

また、au one メールサービスに加入すると、「Eメール」アプリケーションを利用してXXX@ezweb.ne.jp宛のメールを受信できます。

■Gmail

Googleが提供するメールサービスです。IS11SからGmailの確認・送受信などができます。(▶P.76)

Cメールを利用する

Cメールは、Cメール対応のau電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

Cメールを送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。送信完了時には、相手の方にCメールが届いたかどうかが分かります。

1 ホーム画面で[▦]→[Cメール]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

- スレッドには、相手の方と送受信したCメールが保存されます。

2 [新規作成]

3 [宛先を追加]→連絡先の一覧から送信する相手を選択／電話番号を入力

4 [メッセージを作成]→本文を入力

入力した文字数が制限文字数に近づくと、テキストボックスの左上にカウンタが表示され、あと何文字入力できるかが表示されます。

5 [送信]

memo

◎ 3G／1Xがステータスバーに表示されていない場合は、Cメールを送信できません。

◎ 連絡先に登録している名前または電話番号を「宛先を追加」に入力すると、連絡先に登録されている電話番号を検索できます。入力した内容と一致するデータがあると、「宛先を追加」の下に一覧表示されます。

◎ Shift JIS範囲外の文字を入力してCメールを作成、送信すると、文字によっては受信側で「?」と表示されます。

◎ 相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由でCメールを送信できなかった場合は、「送信できませんでした」と表示され、Cメールが保存されます。保存されたCメールをロングタッチ→[メッセージを再送信]と操作すると、再送信できます。
ただし、「自動蓄積」(▶P.71)にチェックを入れている場合は、自動的にCメールセンターへ蓄積されます。

◎ Cメールセンターは、以下の通りCメールをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※ 蓄積されてから72時間経過したCメールは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、Cメールセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたCメールが配信されるタイミングは、以下の通りです。

Cメール蓄積後すぐに配信	新しいCメールがCメールセンターに蓄積されるたびに、Cメールセンターでお預かりしていたCメールがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へCメールを繰り返し送信するリトライ機能によりCメールを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様がIS11Sで通話を終了したときに、Cメールセンターにお預かりしていたCメールをすべて配信します。

◎発信者番号通知をせずにCメールを送信することはできません。

◎契約期間の条件により送信数に制限があります。

ご加入から3ヶ月までのお客様	3,000通/月
ご加入から4ヶ月までのお客様	6,000通/月

※「スマイルハート割引」ご加入のお客様は、加入期間にかかわらず6,000通/月です。

◎異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。

◎Cメールの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに「送信できませんでした」と表示される場合があります。

Cメールを受け取る

1 Cメールを受信

Cメールセンターからのメール受信が完了すると、ステータスバーにが表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 確認するCメール情報をタップ

memo

◎Cメールの受信は、無料です。

◎本文中に電話番号やURLを含むCメールを受信するには、Cメール安心ブロック機能を解除する必要があります。(▶P.70)

Cメールを返信/転送する

1 ホーム画面で[▦]→[Cメール]

2 返信/転送するスレッドをタップ

■返信する場合

3 [メッセージを作成]→本文を入力

4 [送信]

■転送する場合

3 転送するCメールをロングタッチ

4 [メッセージを転送]

5 宛先を選択

新規宛先を入力する場合は、[新規作成]→[宛先を追加]と操作し、連絡先の一覧から転送する相手を選択/電話番号を入力します。

6 [メッセージを作成]→本文を入力

7 [送信]

Cメールを削除する

1 ホーム画面で[▦]→[Cメール]

■1件削除する場合

2 削除するCメールがあるスレッドをタップ

3 削除するCメールをロングタッチ

4 [メッセージを削除]→[はい]

■ スレッドごとCメールを削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 [メッセージを削除]→[はい]

■ 複数のスレッドを削除する場合

2 [≡]→[複数のメッセージを削除]

3 削除するスレッドにチェックを入れる

すべてのスレッドを削除するときは、「全て選択」をタップします。

4 [削除]

Cメールの電話番号を連絡先に登録する

1 ホーム画面で[▦]→[Cメール]

2 登録する電話番号のスレッドをタップ

3 画面上部の電話番号をタップ

4 [保存]

■ 新規登録する場合

5 [連絡先を新規登録]

6 [本体連絡先]/[(Googleアカウント)]

Googleアカウントを設定していない場合は、保存先として「本体連絡先」が表示されます。

編集できる項目については、「連絡先に登録する」(▶P.60)をご参照ください。

7 必要項目を入力

8 [完了]

■ 既存の連絡先に追加登録する場合

5 追加登録する連絡先をタップ

6 必要項目を入力

7 [完了]

Cメール安心ブロック機能を設定する

Cメール安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むCメールを受信拒否する機能です。

メールアドレスを含むCメールはブロック対象外です。

◎ Cメール安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。

◎ 機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。

◎ ブロック対象のCメールは、通常のCメール(ぷりペイド送信含む)です。お留守番サービス(伝言お知らせ、着信お知らせ)は対象外です。

■ Cメール安心ブロック機能の設定方法

Cメール安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にCメールを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にCメールを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にCメールを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にCメールを送信する。

※ 設定時のCメール送信は無料です。

※ 設定完了の案内Cメールは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■Cメール安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したCメールがCメール安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「09044440019」の番号通知でお届けできなかった旨のエラーCメールが返信されます。

- 送信したCメールが受信拒否された場合でも、通信料がかかります。

Cメールの設定を行う

Cメールの各種設定は、設定画面から行います。

1 ホーム画面で[▦]→[Cメール]

2 ▤→[設定]

3

自動蓄積	相手の方にCメールが届かなかったとき、自動的にCメールセンターへ蓄積するかどうかを設定します。
通知	チェックを入れると、ステータスバーでCメールの受信を通知します。
通知音	通知設定を行っている場合、受信時に選択した着信音で通知します。
通知バイブレーション	通知設定を行っている場合に、チェックを入れると、受信時に振動でもお知らせします。

PCメールを利用する

「Eメール」アプリケーションを利用して、au one メールのメールアカウントやExchange ActiveSyncアカウント、一般のISP(プロバイダ)が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じようにIS11Sからメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。(「PCメールのアカウントを設定する」(▶P.71))
- 「Eメール」アプリケーションでau one メールをご利用になるには、事前にau one メールの設定を行う必要があります。(「au one メールを利用する」(▶P.76))

PCメールのアカウントを設定する

初めてPCメールを使用するときには、PCメールのアカウントを設定します。

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。
- PCメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプを設定していると、IS11S内のデータが消去される場合があります。

1 ホーム画面で[▦]→[Eメール]

2 PCメールのメールアドレスとパスワードを入力

3 [次へ]

自動的に受信メールサーバーや送信メールサーバーの設定が行われます。

設定を完了できない場合は、「手動セットアップ」をタップし、アカウント設定を手動で入力します(▶P.72)。

4 [このアカウントに名前を付ける]→アカウント名を入力

5 [あなたの名前]→あなたの名前を入力

6 [完了]

設定したアカウントのメールが読み込まれ、メール一覧画面(受信トレイ)が表示されます。

memo

◎「あなたの名前」はメールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名称です。
◎PCメールは、Timescapeには表示されません。
◎Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合、手順5で「あなたの名前」は表示されません。ただし、登録後にアカウント設定を変更する場合(▶P.73)には設定できます。

■手動で設定する

ご利用になるPCメールアカウントのメールサーバーが自動設定されない場合や「手動セットアップ」を選択して設定する場合は、メールサーバーの設定を行います。

1 ホーム画面で[▦]→[Eメール]

2 PCメールのメールアドレスとパスワードを入力

3 [手動セットアップ]

4 アカウントのタイプを選択

5 必要な項目を設定→[次へ]

画面の指示に従って、受信メールサーバーや送信メールサーバーの設定をします。

6 [このアカウントに名前を付ける]→アカウント名を入力

7 [あなたの名前]→あなたの名前を入力

8 [完了]

設定したアカウントのメールが読み込まれ、メール一覧画面(受信トレイ)が表示されます。

memo

◎メール一覧画面(受信トレイ)で[≡]→[フォルダ]と操作すると、そのアカウントのメールボックス画面が表示されます。

別のPCメールアカウントを設定する

アカウントを追加登録できます。

1 ホーム画面で[▦]→[Eメール]

Eメール画面が表示されます。Eメール画面以外が表示された場合は、[≡]→[アカウント]と操作するとEメール画面が表示されます。

2 [≡]→[アカウントを追加]

3 PCメールのメールアドレスとパスワードを入力

必要に応じて、「いつもこのアカウントでEメールを送信」にチェックを入れます。

4 [次へ]

設定を完了できない場合は、「手動セットアップ」をタップし、アカウント設定を手動で入力します(▶P.72)。

5 [このアカウントに名前を付ける]→アカウント名を入力

6 [あなたの名前]→あなたの名前を入力

7 [完了]

memo

◎Eメール画面の「統合受信トレイ」には、設定したアカウントの受信メールがすべて表示されます。
◎Eメール画面でアカウント名をタップすると、そのアカウントのみのメール一覧画面(受信トレイ)が表示されます。アカウント名の「■」をタップすると、そのアカウントのメールボックス画面が表示されます。

アカウントの設定を変更する

1 Eメール画面→設定を変更するアカウントをタップ

2 [≡]→[アカウント設定]

3

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前(差出人名)を変更します。
署名	署名を変更します。
受信トレイの確認頻度※1	新着メールの自動確認の有無や自動確認の間隔を設定します。
優先アカウントにする	チェックを入れると、メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントに設定します。
Eメール着信通知	PCメールを受信した場合にステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	PCメールを受信した場合の着信音を設定します。
バイブレーション	PCメールを受信した場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。
受信サーバー設定 送信サーバー設定	受信メールサーバーと送信メールサーバーを設定します。

※1「受信トレイの確認頻度」を「自動確認しない」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかる場合があります。

memo

◎Exchange ActiveSyncアカウントでは、「同期の頻度」「連絡先を同期」「カレンダーを同期」も設定できます。また、「送信サーバー設定」は設定できません。

PCメールのアカウントを削除する

1 Eメール画面→削除するアカウントをロングタッチ

2 [アカウント削除]

3 [OK]

PCメールを送る

1 Eメール画面→[新規作成]

優先アカウント以外のメールアカウントからメールを送る場合は、Eメール画面→メールを作成するアカウントをタップ→[新規作成]と操作します。

2 [To]→宛先を入力

CcまたはBccを追加するには、[≡]→[Cc/Bccを追加]と操作します。
アルファベットまたは名前を入力すると、登録されている連絡先に前方一致するメールアドレスの候補表示をします。
複数の宛先にPCメールを送信する場合は、カンマで区切って次のメールアドレスを入力します。

3 [件名]→件名を入力

4 本文を入力

5 必要に応じて[添付ファイルを追加]→追加操作を行う

添付ファイルは、「画像を追加」「写真を撮影」「ムービーを追加」などから選択できます。この操作方法で添付可能なファイル種類は、最大5MBの画像／ムービー／ミュージックファイルとなります。

6 [送信]

memo

◎受信したメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。
◎「下書き保存」をタップすると、メッセージを下書きとして保存します。また、メール作成中に他の画面に遷移すると、自動的に下書き保存します。
◎PCメールの送受信には、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。
◎PCメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末で「PCからの受信拒否」の設定を行っていると、メールを送受信できません。

PCメールを受け取る

1 Eメール画面→受信するPCメールのアカウントをタップ

2 [≡]→[更新]

3 メールをタップ

メール詳細画面が表示されます。

memo

◎PCメールのアカウント設定で「Eメール着信通知」にチェックを入れ、「受信トレイの確認頻度」を「自動確認しない」以外に設定している場合、新しいメールの受信をお知らせする@がステータスバーに表示されます。ステータスバーを下にスライドして受信したPCメールを確認できます。
◎Eメールアカウントの設定（▶P.73）で「受信トレイの確認頻度」を「自動確認しない」以外に設定すると、従量制データ通信を利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかる場合があります。

◎受信したPCメールのアドレスをタップすると、連絡先に登録したり、すでに登録した連絡先の場合は連絡先の内容を表示したりすることができます。
◎メール詳細画面で「★」（グレー）をタップすると「★」（黄色）に変わり、マークを付けたメールがEメール画面の「スター付き」フォルダに追加されます。「スター付き」フォルダを使用すると、マークを付けたメールにすばやくアクセスできます。メール詳細画面に「★」が表示されていないときは、「⌄」をタップすると表示されます。
◎本体内部メモリの残量が少なくなるとメモリが少ない旨が表示され、メールの受信ができなくなります。保存しているメールを削除するなどして本体メモリの容量を空けてください。

■添付ファイルを保存する

1 添付ファイル付きのメールを下までスライド

メール文面の下部に、添付ファイルのリストが表示されます。

2 保存するファイルの「保存」をタップ

添付ファイルがmicroSDメモリカードに保存されます。
「開く」をタップして添付ファイルを表示させることもできます。

■メール一覧画面（受信トレイ）の表示を変更する

メール一覧画面（受信トレイ）を分割して、メール本文を確認できます。

1 Eメール画面→表示方法を変更するアカウントをタップ

2 [≡]→[プレビュー画面]

3

OFF	メール一覧画面（受信トレイ）は分割されません。
横表示のみ利用	横画面時に「◀」をタップするとメール一覧画面（受信トレイ）が分割され、選択中のメールの本文が表示されます。
常時利用	縦画面時に「▼」をタップ、または横画面時に「◀」をタップするとメール一覧画面（受信トレイ）が分割され、選択中のメールの本文が表示されます。

メール

◎複数のアカウントを登録している場合、いずれかのアカウントで変更するとすべてのアカウントが同じ表示方法に変更されます。

PCメールを返信／転送する

1 **Eメール画面→返信／転送するPCメールのアカウントをタップ**

■返信する場合

2 **メールをタップ→ ≡ →[返信]／[全員に返信]**

3 **本文を入力**

4 **[送信]**

■転送する場合

2 **メールをタップ→ ≡ →[転送]**

3 **転送先のメールアドレスを入力**

4 **本文を入力**

5 **[送信]**

◎メールを返信または転送すると、返信または転送元のメールの内容が引用されます。元のメールの内容の引用を削除するには、「×」をタップします。
◎メールを転送すると、元のメールの添付ファイルが引用されます。添付ファイルの引用を削除するには、「×」をタップします。
◎メールをロングタッチ→[返信]／[全員に返信]／[転送]と操作しても、返信／全員に返信／転送できます。

PCメールを削除する

1 **Eメール画面→削除するPCメールのアカウントをタップ**

2 **メールをロングタッチ→[削除]**

memo

◎削除するメールにチェックを入れる→[削除]と操作すると、複数のメールを同時に削除することができます。
◎送信中のメールを削除するには、Eメール画面→ ≡ →[フォルダ]→[送信トレイ]→削除するメールをロングタッチ→[破棄]と操作します。

au one メールを利用する

au one メールは、情報料無料・大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したりできます。
IS11Sでは、次の方法でau one メールを利用できます。

- ブラウザでau oneのポータルサイトに接続する
- 「Eメール」アプリケーションでアカウント設定をする

au one メールサービスに加入すると、「Eメール」アプリケーションを利用してXXX@ezweb.ne.jp宛のメールを受信できます。
設定については、auホームページ(**http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html**)より「au one メール設定ガイド」をご参照ください。

- IS11Sでau one メールをご利用になるには、au one IDが必要です。au one IDの登録については、auホームページをご参照ください。

メール

au one メールをブラウザで確認する

1 ホーム画面で[▦]→[au one]

2 au oneポータルサイト上の[メール]

3 au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

au one メールの受信トレイが表示されます。

au one メールをメールアプリで確認する

au one メールのアカウントでPCメールを設定すると(▶P.71)、「Eメール」アプリケーションを利用してau one メールの送受信などができます。
アカウント設定などについては、auホームページをご参照ください。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。IS11SからGmailの確認・送受信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.31)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Gmail受信トレイ画面→[≡]→[その他]→[ヘルプ]と操作してモバイルヘルプをご確認ください。
- Gmailは、Timescapeには表示されません。

Gmailを起動する

1 ホーム画面で[▦]→[Gmail]

アカウント設定したGmail受信トレイ画面が表示されます。
[≡]→[ラベルを表示]と操作すると、受信トレイや送信トレイなどが一覧できるラベル画面が表示されます。

Gmailを更新する

IS11Sの「Gmail」アプリケーションとGmailアカウントを同期して、受信トレイを更新します。

1 ホーム画面で[▦]→[Gmail]

2 [≡]→[更新]

受信トレイが更新されます。
自動更新したい場合は、Gmail受信トレイ画面→[≡]→[アカウント]→[≡]→[アカウントの設定]と操作して、「自動同期」にチェックを入れてください。

Gmailを送る

1 ホーム画面で[▦]→[Gmail]

2 [≡]→[新規作成]

3 [To]→宛先を入力

4 [件名]→件名を入力

5 [メッセージを作成]→本文を入力

6 [送信]

「保存」をタップすると下書き保存されます。

Gmailを受け取る

1 ホーム画面で[▦]→[Gmail]

2 受信したメールをタップ

Gmailを返信／転送する

1 ホーム画面で[▦]→[Gmail]

2 返信／全員に返信／転送するメールをタップ

■ 返信する場合

3 [↩]→[返信 ▾]→[返信]／[全員に返信]

4 [メッセージを作成]→本文を入力

5 [送信]

■ 転送する場合

3 [↩]→[返信 ▾]→[転送]

4 [To]→宛先を入力

5 [メッセージを作成]→本文を入力

6 [送信]

◎ 返信／全員に返信／転送するメールで「◂」をタップしても、「返信」／「全員に返信」／「転送」を選択できます。

Gmailのメニューを利用する

Gmail受信トレイ画面で[≡]を押すとメニュー項目が表示され、メールの検索や設定、アカウントの追加などの操作が行えます。

インターネット

インターネットに接続する

IS11Sでは、次のいずれかの方法でインターネットに接続できます。

- パケット通信(IS NET、au.NET)(▶P.80「データ通信サービスを利用する」)
- Wi-Fi(▶P. 152「Wi-Fiを利用する」)
- IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料(利用月のみ月額525円)と別途通信料がかかります。

データ通信サービスを利用する

IS11Sは、「IS NET(アイエスネット)」や「au.NET(エーユードットネット)」のご利用により、IS11Sを手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。IS11SにはあらかじめIS NETやau.NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

memo

◎ 最大通信速度受信9.2Mbps/送信5.5Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。
ご使用の通信環境により、最大通信速度が低下する場合があります。

◎ ダブル定額ライトなどのパケット通信料割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。IS NET、au.NET、パケット通信料割引サービスについては、最新のau総合カタログ/auホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- IS NETにお申し込みされていない場合は、au.NETでのご利用となります。
- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うウィジェットやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用すると、パケット通信料が高額となることがあります。定額サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

https://cs.kddi.com/(auお客さまサポート)

※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料(ご利用月のみ発生)
通信料※1	有料

※1 通信料については、最新のau総合カタログ/auホームページをご参照ください。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンからの閲覧と同じようにウェブページの閲覧ができます。

サイトを表示する

1 ホーム画面で[ブラウザ]

ブラウザ画面が表示されます。

memo

◎ブラウザ画面では、IS11Sを横向きにして閲覧することもできます。IS11Sを横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で[≡]→[設定]→[画面設定]と操作して、「画面の自動回転」にチェックを入れます。
◎ブラウザ画面→[≡]→[その他]→[設定]→「常に横向きに表示」にチェックを入れると、横画面表示で固定されます。

■ ブラウザ画面での基本操作

次のタッチパネル操作でウェブページを閲覧できます。

- タップ：リンクやキーを選択･実行できます。
- スライド／フリック：ページをスクロールできます。
- ピンチアウト／ピンチイン：ページを拡大／縮小できます。
- ダブルタップ：タップした位置をズームイン／ズームアウトできます（ウェブページによっては操作できない場合があります）。
- [−]：縮小
- [+]：拡大

ウェブページを移動する

1 ブラウザ画面→検索ボックスをタップ

2 URLまたは検索する文字を入力

入力した文字から始まる候補が入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／検索ボックスの[→]

4 前のページに戻るには[↩]を押す

memo

◎[🎤]をタップすると、音声で検索語句を入力し、ウェブページを検索できます。

ブラウザ画面のメニューを利用する

ブラウザ画面で[≡]を押すとメニュー項目が表示され、再読み込みやブックマークの管理などの操作が行えます。

ウィンドウを利用する

ウェブページを表示中に新しいウィンドウを開き、最大8つの別のウィンドウを表示することができます。

■ 新しいウィンドウを開く

1 ブラウザ画面→[≡]→[新しいウィンドウ]

新しいウィンドウが開かれ、ホームページに設定したウェブページが表示されます。

■ ウィンドウを切り替える

1 ブラウザ画面→[≡]→[ウィンドウ]

2 表示するウィンドウをタップ

■ウィンドウを閉じる

1 ブラウザ画面→ →[ウィンドウ]

2 閉じるウィンドウを[ ]

■ウェブページ内のテキストを検索する

1 ブラウザ画面→ →[その他]→[ページ内検索]

画面上部に検索バーが表示されます。

2 検索バーに検索する文字を入力

文字を入力すると、一致する文字が緑色でハイライト表示されます。

3 前の一致項目に戻るには[ ]／次の一致項目に進むには[ ]

4 検索バーを閉じるには[ ]

■ウェブページ内のテキストをコピーする

1 ブラウザ画面→ →[その他]→[テキストを選択してコピー]

2 コピーするテキストの開始点に指を置き、コピーするテキストの終了点までドラッグ

コピーされたテキストはオレンジ色でハイライト表示されます。

3 画面から指を離し、選択したテキスト部分をタップ

テキストがコピーされると、「テキストをクリップボードにコピーしました。」と表示されます。

memo

◎コピーしたテキストは、他のアプリケーションでも利用できます。貼り付け先のテキストボックスをロングタッチ→[貼り付け]と操作します。
◎文字を選択できないウェブページもあります。

■ウェブページ内の画像をダウンロードする

1 ブラウザ画面→ダウンロードする画像／画像を含むリンクをロングタッチ

リンクがオレンジ色のボックスで囲まれます。

2 [画像を保存]

memo

◎ダウンロードした画像は、ホーム画面で[ ]→[ギャラリー]→[download]と操作するか、ブラウザ画面→ →[その他]→[ダウンロード履歴]と操作すると確認できます。また、「ダウンロード」アプリケーションからも確認できます。

■ウェブページの表示を自動調整する

画面に合わせてウェブページの表示やサイズを自動調整します。

- お買い上げ時は、「ページの自動調整」にチェックが入った状態になっています。

1 ブラウザ画面→ →[その他]→[設定]→「ページの自動調整」にチェックを入れる

リンクを操作する

1 リンクを操作するウェブページを開く

2 リンクをタップ

リンクがオレンジ色のボックスで囲まれます。

■リンクのメニューを利用する

リンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、ブックマーク登録や保存、URLのコピーなどの操作が行えます。
また、画像や画像を含むリンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、画像の保存や壁紙の設定などの操作が行えます。

memo

◎ブラウザでは一部の電話番号が認識されるため、電話番号に発信できます。電話番号への発信を行うには、電話番号をタップします。
◎Basic認証またはSSL通信を必要とするウェブサイトから「リンクを保存」でファイルをダウンロードする際、ダウンロードできない場合があります。

ブックマーク／履歴を利用する

履歴の確認やブックマークの保存ができます。

1 ブラウザ画面→[≡]→[ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

2 開くブックマークをタップ

memo

◎URLの右側に表示される「[アイコン]」をタップしても、ブックマーク画面が表示されます。

ブックマークに登録する

1 ブラウザ画面→[≡]→[ブックマーク]

ブックマーク画面→[≡]と操作すると、サムネイル表示とリスト表示を切り替えることができます。

■サムネイル表示の場合

2 [★追加]→必要に応じてブックマークの名前を編集→[OK]

■リスト表示の場合

2 [現在のページをブックマーク]→必要に応じてブックマークの名前を編集→[OK]

memo

◎ブックマーク画面→[≡]→[最後に表示したページをブックマークする]と操作しても、ブックマークに追加できます。
◎ブックマーク画面→[よく見るサイト]／[履歴]→各履歴の「[アイコン]」をタップすると、[アイコン]に変わり、ブックマークに追加できます。

■ブックマーク画面のメニューを利用する

ブックマーク画面でブックマークをロングタッチするとメニュー項目が表示され、ブックマークの編集や削除などの操作が行えます。

履歴を確認する

1 ブックマーク画面→[履歴]

2 「今日」「昨日」など閲覧した時期をタップ

3 確認するURLをタップ

よく閲覧するウェブページを確認するには、「よく見るサイト」をタップします。

memo

◎ブラウザ画面→[戻る]（1秒以上長押し）と操作しても、履歴画面を表示できます。

履歴を削除する

1 ブックマーク画面→[履歴]

2 [メニュー]→[履歴削除]

すべての履歴が削除されます。
履歴を削除すると、「よく見るサイト」のブックマーク一覧もすべて消去されます。

ブラウザを設定する

ブラウザの表示やコンテンツに関する設定、プライバシー設定、セキュリティ設定などを行うことができます。変更した設定をリセットすることもできます。

1 ブラウザ画面→[メニュー]→[その他]→[設定]

ブラウザ設定画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

memo

◎ブラウザ設定画面→[ホームページ設定]→[現在のページを使用]→[OK]と操作すると、表示されているウェブページがホームページに設定されます。また、設定されたURLは新しいウィンドウを開くと表示されます。
◎キャッシュなどの一時インターネットファイルを消去するには、ブラウザ設定画面で「プライバシー設定」の各項目を設定してください。
◎フィルタリング機能を利用して、青少年に不適切なカテゴリーに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを遮断できます。ホーム画面で[メニュー]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[フィルタリング設定]→[はい]と操作すると、フィルタリング機能を設定できます。

インターネット

マルチメディア

カメラを利用する

画面をタップするか、カメラキー（ ）を使用して、フォトの撮影やムービーの録画ができます。フォトは、横向きと縦向きのどちらでも利用できます。ムービーは横向きのみ利用できます。

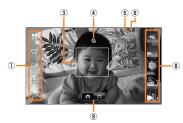
カメラをご利用になる前に

- カメラを使用する前にmicroSDメモリカードをセットしてください。IS11Sで撮影したフォトまたはムービーは、すべてmicroSDメモリカードに保存されます。また、microSDメモリカードでデータを読み書きしている場合、フォトを撮影することはできません。
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前には眼鏡拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッターを押してください。カメラを動かしながらシャッターを押すと、画像がブレる原因となります。
- ムービーを録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - ・強い逆光のもとにある被写体
  - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - ・暗い場所にある被写体
  - ・動きが速い被写体
- IS11Sは強い光が出ますので、フラッシュ／フォトライトを目に近付けて点灯させないでください。フラッシュ／フォトライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモードを設定している場合でも、フォト撮影時にオートフォーカスをロックする音や、シャッター音が鳴ります。ムービー録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- 不安定な場所にIS11Sを置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどしてIS11Sが落下するおそれがあります。
- IS11Sを利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様がIS11Sのカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

IS11Sの持ちかた

本体を両手でしっかりと持って撮影します。

カメラ画面の見かた

《フォトモニター画面》

《ムービーモニター画面》

① **設定アイコン表示エリア**

5つの設定アイコンが表示されます。アイコンをタップすると、設定を変更できます。

表示されるアイコンは設定した内容によって異なります。

▶P.88「モニター画面でできること」

② **シーン認識アイコン(フォトのみ)**

「撮影モード」(▶P.88)を「シーン認識」に設定している場合、ポートレートなどの認識したシーンのアイコンが表示されます。

③ **オートフォーカス枠**

④ **セルフタイマーアイコン**：(ON(10秒)) (ON(2秒))
非表示(OFF)

⑤ **タッチ撮影アイコン**：(ON) 非表示(OFF)

⑥ **手ぶれ補正アイコン**：(ON) 非表示(OFF)

⑦ **ジオタグアイコン(フォトのみ)**：(ON) 非表示(OFF)

⑧ **サムネイル表示エリア**

撮影したフォト/ムービーが5件までサムネイル表示されます。

5件以上のデータがある場合は、サムネイル表示エリアに触れたまま反対側にスライドすると、表示できます。

サムネイル表示をタップすると、撮影したフォト/ムービーが1件表示されます。

1件表示中に表示されるアイコンをタップすると、次の操作ができます。

: データを共有

: 連絡先や壁紙に登録（フォトのみ）

: 録画したムービーを切り出し（ムービーのみ）

▶P.91「録画したムービーを切り出す」

: データを削除

: スライドショーを開始

⑨ **フォト／ムービーの切り替え**

モニター画面でできること

1 フォトモニター画面／ムービーモニター画面→

設定メニューが表示されます。

2

撮影モード※1	標準	標準的な撮影モードです。
	シーン認識	カメラが最適なシーンを判断します。シーンが認識されると、認識したシーンのアイコンが表示されます。
	スマイル検出	▶P.91「スマイル検出で撮影する」
解像度※1		▶P.90「フォトの撮影サイズを設定する」
ムービーサイズ※2		▶P.90「ムービーの録画サイズを設定する」
タッチ撮影		モニター画面をタップするとすぐに撮影できるように設定します。 「ON」「OFF」 ・「OFF」に設定している場合は、を押して撮影します。

シーン	撮影シーンを選択します。選択したシーンに最適な撮影条件が設定されます。 「OFF」「ポートレート」「風景」「夜景」「夜景ポートレート」「ビーチ&スノー」「スポーツ」「パーティー」「ドキュメント」 ・ムービーの場合は、「夜景ポートレート」「ドキュメント」の設定はできません。また、「夜景」の代わりに「夜景モード」を選択します。
フラッシュ※1	暗い場所や逆光での撮影時に、フラッシュを点灯させるかどうかを設定します。 「自動」「常にフラッシュをON」「OFF」「赤目軽減」
照明※2	暗い場所や逆光での録画時に、フォトライトを点灯させるかどうかを設定します。 「ON」「OFF」
セルフタイマー	セルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、撮影を開始します。 「ON（10秒）」「ON（2秒）」「OFF」

フォーカスモード	ピントの合わせかたを設定します。撮影モードが標準のときまたはムービーで利用できます。 **シングルオートフォーカス**：自動的にピントを合わせる **マルチオートフォーカス**：モニター画面の複数箇所にピントを合わせる **マクロ**：近距離撮影用のオートフォーカス **顔検出**：複数の顔（最大5人）を検出し、ピントを合わせる **無限遠**：遠く離れた被写体にピントを合わせる **タッチフォーカス**：モニター画面でタップした箇所にオートフォーカス枠を移動し、ピントを合わせる • ムービーの場合は、「シングルオートフォーカス」「顔検出」「無限遠」から選択します。
明るさ（EV補正）	バーをタップまたはドラッグして明るさ（露出補正）を調整します。
ホワイトバランス	周囲の光源に合わせて色合いを調整します。 「自動」「電球」「蛍光灯」「太陽光」「曇り」
測光	画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。 「中央」「平均」「スポット」
手ぶれ補正	撮影時の手ブレを軽減することができます。 「ON」「OFF」

スマイルレベル※1	撮影モードを「スマイル検出」に設定してフォトを撮影する前に、スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを設定します。 「大笑い」「普通の笑顔」「ほほ笑み」
ジオタグ※1	フォトに詳細な撮影場所を示す位置情報のタグを付けるかどうかを設定します。 「ON」「OFF」 • あらかじめ「現在地情報とセキュリティ」の「無線ネットワークを使用」（▶P.119）または「GPS機能を使用」（▶P.119）にチェックを入れておく必要があります。位置情報の詳細については、「GPS機能を利用する」（▶P.118）をご参照ください。 • ジオタグの付加（位置情報）により、フォトの撮影場所を特定できるようになります。
シャッター音	フォトのシャッター音またはムービーの録画開始／終了音を選択します。 「サウンド1」～「サウンド3」
マイク※2	録画時に周囲の音を録音するかどうかを設定します。 「ON」「OFF」

※1 フォトモニター画面でのみ表示されます。
※2 ムービーモニター画面でのみ表示されます。

memo

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。
◎ 設定アイコン表示エリアに触れたまま反対側にスライドしても、設定メニューを表示できます。

フォトの撮影サイズを設定する

撮影サイズと縦横比を選択します。解像度が高くなるほど、より大きなメモリ容量が必要になります。

1 フォトモニター画面→ ≡ →[解像度]

2

8MP 4:3	撮影サイズは8メガピクセル、縦横比は4:3です。標準サイズの画面に表示したり、高解像度で印刷するのに適しています。
6MP 16:9	撮影サイズは6メガピクセル、縦横比は16:9です。高解像度、ワイドスクリーンフォーマットに対応しています。フルHDより高解像度です。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。
2MP 4:3	撮影サイズは2メガピクセル、縦横比は4:3です。標準サイズの画面に表示するのに適しています。
2MP 16:9	撮影サイズは2メガピクセル、縦横比は16:9です。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。

ムービーの録画サイズを設定する

1 ムービーモニター画面→ ≡ →[ムービーサイズ]

2

HD 720p	縦横比16:9のHD形式です(1,280×720ピクセル)。
フルワイドVGA	縦横比16:9のフルワイドVGA形式です(864×480ピクセル)。
VGA	縦横比4:3のVGA形式です(640×480ピクセル)。
QVGA	縦横比4:3のQVGA形式です(320×240ピクセル)。

フォトを撮影する

1 (1秒以上長押し)

「 」をタップすると、フォトモニター画面とムービーモニター画面を切り替えることができます。

:ズームを調整

2

シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的にmicroSDメモリカードに保存されます。

撮影したデータはフォトモニター画面にサムネイル表示されます。サムネイル表示をタップすると確認できます。

memo

◎フォトモニター画面で約3分間何も操作しないと、カメラが終了します。

オートフォーカスロックについて

◎フォトモニター画面で (半押し)を押すと、あらかじめピントを合わせた状態で固定できます。フォーカスがロックされると、オートフォーカス枠が緑色に変化してロック音が鳴ります。ロックできなかった場合は、オートフォーカス枠が赤色で表示されます。

「タッチ撮影」(▶P.88)を「ON」に設定している場合は、画面をロングタッチするとフォーカスロックができます。画面から指を離すと撮影されます。

※「フォーカスモード」(▶P.89)が「無限遠」に設定されている場合は、フォーカスロックできません。

顔検出オートフォーカスについて

◎「フォーカスモード」(▶P.89)を「顔検出」に設定している場合は、フォトモニター画面で人物の顔を検出すると、オートフォーカス枠が顔の位置に表示されます。複数の顔(最大5人)が検出された場合、優先する顔を黄色の枠で、それ以外の顔を白の枠で表示します。オートフォーカス枠をタップして、ピントを合わせる顔を切り替えることもできます。

オートフォーカス枠の移動操作について

◎「フォーカスモード」(▶P.89)を「タッチフォーカス」に設定している場合は、タップした箇所にオートフォーカス枠を移動できます。

■画面をタップして撮影する

「タッチ撮影」(▶P.88)を「ON」に設定している場合は、画面を直接タップして撮影できます。

1 **フォトモニター画面→画面内をタップ**

スマイル検出で撮影する

人物の笑顔を検出して撮影できます。

1 **フォトモニター画面→[≡]→[撮影モード]→[スマイル検出]**

[≡]→[スマイルレベル]と操作すると、スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを設定できます。

2 **画面に被写体を表示→撮影**

複数の顔(最大5人)を検出し、カメラが選択した顔のオートフォーカス枠が黄色に変わります。選択した顔が笑うと、オートフォーカス枠が緑色に変わり自動的に撮影します。
[📷]を押しても撮影できます。

ムービーを録画する

1 **[📷](1秒以上長押し)**

「[📷 🎞]」をタップすると、ムービーモニター画面とフォトモニター画面を切り替えることができます。

2 **[📷]**

録画開始音が鳴り、録画中画面が表示されます。

3 **[📷]**

録画終了音が鳴り、録画したデータが自動的にmicroSDメモリカードに保存されます。
録画したデータはムービーモニター画面にサムネイル表示されます。サムネイル表示をタップすると確認できます。

memo

◎ムービーモニター画面で約3分間何も操作しないと、カメラが終了します。

■画面をタップして録画する

「タッチ撮影」(▶P.88)を「ON」に設定している場合は、画面を直接タップして録画できます。

1 **ムービーモニター画面→画面内をタップ**

2 **画面内をタップして録画を終了**

録画したムービーを切り出す

録画したムービーを部分的に切り出して保存できます。

1 **ムービーモニター画面→切り出しするムービーをタップ**

2 **[✂]**

画面下にプログレスバーが表示されます。

3 **プログレスバー左側のマーカーを切り出しの開始点までドラッグ**

4 **プログレスバー右側のマーカーを切り出しの終了点までドラッグ**

画面をタップすると、切り出した部分を再生して確認できます。

5 **[保存]**

切り出したムービーは「カメラ」アルバム(▶P.92)に保存されます。
「キャンセル」をタップすると、保存せずにムービーモニター画面に戻ります。

テレビに表示する

IS11Sをテレビに接続して、画像や動画をテレビに表示することができます。接続にはHDMIケーブル（type D）（別売）をご利用ください。

1 HDMIケーブルでIS11Sとテレビを接続

IS11S上でギャラリーが横画面で起動し、テレビにアルバム一覧画面が表示されます。

2 IS11S上で表示する画像／動画をタップ

memo

◎ステータスバーを下にスライドして、実行中の項目から「HDMIが接続されました」をタップすると、テレビのリモートコントローラを使用してIS11S本体を制御する操作を確認できます。テレビのリモートコントローラによっては、操作できない場合があります。

◎HDMIケーブルを取り外すと、接続を終了しますが、テレビがHDMI入力のモードのままになる場合があります。テレビの取扱説明書に従って、地デジテレビのモードに切り替えるなどの操作を行ってください。

ギャラリーを利用する

ギャラリーを使って、画像やカメラで撮影したフォト／ムービーを閲覧・再生できます。再生可能なファイル形式については、「ファイル形式」（▶P.195）をご参照ください。

また、Media Goを使ってIS11SのmicroSDメモリカードにデータを転送したり、外部からデータを取り込んだりできます。詳細については、「microUSBケーブルでパソコンと接続する」（▶P.108）をご参照ください。

画像／動画のアルバムを表示する

撮影したフォト／ムービーやパソコンからmicroSDメモリカードに保存した画像／動画がアルバムで表示されます。

1 ホーム画面で［▦］→［ギャラリー］

アルバム一覧画面が表示されます。

「📷」をタップすると、カメラを起動します。

2 アルバムをタップ

アルバム内の画像／動画データが一覧で表示されます。

右上の「▦◯▣」をタップすると、日時別のアルバムとすべてのデータ一覧を切り替えることができます。

日時別のアルバムを選択するとすべてのデータが表示されますが、選択した日時のデータの枠が他の日時のデータに比べ太く表示されます。

3 データをタップ

memo

◎お買い上げ時は次のアルバムが表示されます。

- カメラ：IS11Sで撮影したフォトとムービーのアルバム（撮影したフォトやムービーがない場合は、表示されません。）
- image：お買い上げ時の見本画像のアルバム
- video：お買い上げ時の見本動画のアルバム

◎FacebookやPicasaなど同期可能なオンラインサービスにサインインしている場合は、同期することによりオンラインサービス上のアルバムが表示されます。

◎動画のみを一覧で表示するには、ホーム画面に設定したウィジェット「メディアショートカット」の「🎞」をタップします。録画したムービーと見本動画が一覧で表示されます。

◎保存されている画像の枚数により、画面にすべての画像を読み込むのに時間がかかる場合があります。

画像を再生する

1 アルバム一覧画面→アルバムをタップ

2 画像をタップ

画像再生画面が表示されます。

■ギャラリーの画像再生画面

《画像再生画面》

① **アルバム情報**

② [カメラアイコン]：カメラを起動

IS11Sで撮影したフォトを再生した場合のみ、表示されます。

③ **ズームイン／ズームアウト**

④ **スライドショーを開始**

⑤ **メニューを表示**

「共有」「削除」「その他」の機能が利用できます。

memo

◎Facebookのアルバムの画像再生画面では、Facebook上にコメントや「いいね！」を投稿することができます。

スライドショーを開始する

1 画像再生画面→[スライドショー]

画像を共有する

画像をオンラインサービスにアップロードしたり、Bluetooth®や赤外線、メール添付で送信することができます。

1 画像再生画面→[メニューキー]→[共有]

2 送信方法を選択

以降の操作は、選択した送信方法（アプリケーション）により異なります。

memo

◎FacebookやPicasaのオンラインウェブアルバムへのアップロードが可能です。オンラインサービスのアカウントを設定していない場合は、転送方法でオンラインサービスを選択すると、設定ウィザードに従って設定できます。

◎Picasaでアップロードする場合、IS11Sに設定したGoogleアカウントで行います。「その他のアカウントを追加する」（▶P.145）で設定したPicasaのアカウントにはアップロードされません。

画像をトリミングする

1 画像再生画面→[メニューキー]→[その他]→[トリミング]

2 トリミング枠を調整

トリミング枠の端を矢印が表示されるまでロングタッチして、トリミング枠の中央または外側に向かってドラッグするとサイズを変更できます。

トリミング枠を画像の別の部分に移動させるには、枠の内側に触れたまま移動先までドラッグします。

3 [保存]

画像を壁紙に使用する

1 画像再生画面→[≡]→[その他]→[登録]→[壁紙]

必要に応じて画像をトリミング(▶P.93)してください。

2 [保存]

memo

◎FacebookやPicasaなどオンラインサービス上のアルバムの画像を壁紙に設定する場合は、画像再生画面→[≡]→[その他]→[壁紙として設定]と操作します。

画像を連絡先に登録する

1 画像再生画面→[≡]→[その他]→[登録]→[連絡先の画像]

2 登録する連絡先または新規の連絡先を選択

必要に応じて画像をトリミング(▶P.93)してください。

3 [保存]

動画を再生する

1 ホーム画面で[▦]→[ギャラリー]

2 [カメラ]／動画を含むアルバムをタップ

アルバム内の画像／動画データが一覧で表示されます。動画データには[▶]が付与されています。

3 動画をタップして再生

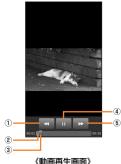
動画再生画面が表示されます。

[◁ ▷]：音量調節

memo

◎IS11Sを横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で[≡]→[設定]→[画面設定]と操作して、「画面の自動回転」にチェックを入れます。動画の再生／一時停止中に[≡]→[画面設定]と操作しても、設定できます。

■ギャラリーの動画再生画面

《動画再生画面》

① 巻き戻し
② プログレスバー
③ マーカー
ドラッグまたはタップすると、再生位置を変更できます。
④ 再生／一時停止
⑤ 先送り

マルチメディア

動画を共有する

動画をYouTubeにアップロードしたり、Bluetooth®や赤外線、メール添付で送信することができます。

1 ホーム画面で[▦]→[ギャラリー]

2 [カメラ]／動画を含むアルバムをタップ

3 送信する動画をチェックが入るまでロングタッチ

すべてのデータにチェックボックスが表示されます。複数のデータを送信する場合は、データをタップするとチェックボックスにチェックが入り、選択状態となります。もう一度タップすると、選択を解除します。

4 [共有]→送信方法を選択

以降の操作は、選択した送信方法（アプリケーション）により異なります。

memo

◎共有可能な容量、ファイル種別には特に制限はありませんが、送信するアプリケーションにより制限される場合があります。またDRM管理コンテンツは共有することができません。

動画の再生位置を変える

1 動画再生画面→プログレスバーのマーカーを右または左にドラッグ

プログレスバーをタップすると、タップした位置までマーカーが移動し、再生位置を変更できます。

ギャラリーのメニューを利用する

ギャラリー内のデータをロングタッチすると、チェックボックスにチェックが入り、データの選択状態になります。選択状態になると、ギャラリーのメニューが利用できます。

1 ギャラリー内でデータをロングタッチ

続けて他のデータをタップすると、複数のデータを選択できます。選択状態のデータをタップすると、選択を解除できます。
「すべて選択」／「選択全解除」をタップすると、すべてのデータを選択／選択解除できます。

2

共有		▶P.93「画像を共有する」 ▶P.95「動画を共有する」
削除		表示している画像／動画を削除します。
その他	詳細情報	タイトル、種類、撮影年月日、アルバム名などを表示します。
	地図に表示	画像に含まれている位置情報を地図上に表示します。
	登録	▶P.94「画像を壁紙に使用する」 ▶P.94「画像を連絡先に登録する」
	トリミング	▶P.93「画像をトリミングする」
	左に回転	画像を左に90度回転します。
	右に回転	画像を右に90度回転します。

◎表示される項目は、画面によって異なります。
◎データによっては、編集できない場合があります。

ミュージックプレーヤーを利用する

ミュージックプレーヤーを使用すると、音楽やプレイリストなどを視聴することができます。再生可能なファイル形式については、「ファイル形式」(▶P.195)をご参照ください。

楽曲データを検索して再生する

microSDメモリカードに保存されたカテゴリー別のコンテンツを表示して再生できます。

- 楽曲再生中に「SDカードのマウント解除」(▶P.146)は行わないでください。

1 ホーム画面で[▦]→[ミュージック]

ミュージックプレーヤー画面が表示されます。

2 [♫]

各カテゴリーの楽曲一覧画面が表示されます。

3 [アーティスト]/[アルバム]/[トラック]/[プレイリスト]

4 再生する楽曲を選択

■ ミュージックプレーヤー画面

① **アーティスト名、曲名**

② **アルバムアート**

③ **前へ**
再生中の楽曲の先頭、もしくは現在のプレイリスト内の前のタイトルに戻ります。

④ **プログレスバー**
ドラッグまたはタップすると、指定位置から再生を再開します。

⑤ **再生時間**

⑥ **カテゴリー別の楽曲一覧画面を表示**

⑦ **Facebook上で「いいね!」を指定/解除**
Facebookにログインしている場合に表示されます。

⑧ **次へ**
現在のプレイリスト内の次のタイトルに進みます。

⑨ **再生/一時停止**

⑩ **インフィニットボタン**
YouTubeに接続して再生中の楽曲に関連する情報を表示します。

⑪ **再生中の楽曲一覧画面を表示**
再生中の楽曲をタップして一時停止/再生したり、他の楽曲をタップして再生する曲を変更できます。

■再生中のキー操作

[音量キー]：音量を調節
[メニューキー]：メニューを表示
[ホームキー]：ホーム画面に戻り、バックグラウンドで再生

memo

◎バックグラウンド再生中は、ステータスバーに[▶]が表示されます。
◎バックグラウンド再生中にミュージックプレーヤー画面に戻るには、ホーム画面で[▦]→[ミュージック]と操作するか、ステータスバーを下にスライドして、実行中の項目から再生中の曲名をタップします。
◎ホーム画面にミュージックプレーヤーのウィジェットを表示している場合は、再生／一時停止などの操作ができます。また、アルバムアート部分をタップすると、ミュージックプレーヤー画面を表示できます。

楽曲を共有する

楽曲データをBluetooth®や赤外線、メール添付で送信することができます。

1 ミュージックプレーヤー画面→[♫]

2 カテゴリーを選択→送信する楽曲をロングタッチ

複数の楽曲を選択する場合は、各カテゴリーの楽曲一覧画面→[メニューキー]→[複数のアイテムを送信]と操作し、送信する項目にチェックを入れます。

3 [送信]→送信方法を選択

以降の操作は、選択した送信方法（アプリケーション）により異なります。

memo

◎共有（送信）可能な容量、ファイル種別には特に制限はありませんが、送信するアプリケーションにより制限される場合があります。またDRM管理コンテンツは共有することができません。

楽曲を着信音として使用する

1 ミュージックプレーヤー画面→[メニューキー]→[着信音に設定]

楽曲の再生／一時停止中でも設定できます。

ミュージックプレーヤーのメニューを利用する

ミュージックプレーヤー画面で[メニューキー]を押す、または楽曲一覧画面で[メニューキー]を押す／楽曲をロングタッチすると、メニュー項目が表示され、イコライザーの設定や楽曲の削除、プレイリストに楽曲を追加するなどの操作が行えます。

プレイリストを利用する

ミュージックプレーヤーでは、自動的に「新しく追加されたトラック」「再生回数の多いトラック」「未再生トラック」のプレイリストが作成されます。また、新しいプレイリストを作成することもできます。
Media Goを使用すると、ミュージックライブラリを管理したり、プレイリストを作成したりして、自分用のプレイリストを作成することもできます。自分用に作成するプレイリストはm3u形式で、IS11S本体内のmicroSDメモリカードに保存されます。microUSBケーブルを使用してIS11Sとパソコンを接続し、microSDメモリカードをリムーバブルディスクとして使用する詳細については、「microUSBケーブルでパソコンと接続する」（▶P.108）をご参照ください。

プレイリストを再生する

1 ミュージックプレーヤー画面→[♫]→[プレイリスト]

プレイリスト一覧画面が表示されます。自分で作成したプレイリストも一覧に表示されます。

2

新規プレイリストの作成	▶P.98「プレイリストを作成する」
新しく追加されたトラック	新しく追加した楽曲のリストを表示します。
再生回数の多いトラック	再生回数の多い楽曲のリストを表示します。
未再生トラック	再生可能で再生し終えていない楽曲の一覧を表示します。

3 再生するプレイリスト→楽曲を選択

タップした楽曲から再生されます。

プレイリストを作成する

1 ミュージックプレーヤー画面→[♫]→[プレイリスト]

2 [新規プレイリストの作成]

3 追加する楽曲にチェックを入れる→[作成]

4 「名前」の入力欄をタップ→名前を入力→[OK]

TrackID™を利用する

TrackIDは、楽曲認識サービスです。スピーカーを通して聞こえている曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名を検索することができます。TrackIDで良好な結果を得るために、静かな場所で使用してください。他の人に楽曲をすすめたりすることもできます。さらに、YouTubeで関連するコンテンツを検索し、表示することができます。TrackIDを使用できない場合は、「無線とネットワーク」(▶P.137)でインターネット接続をご確認ください。

TrackIDを起動する

1 ホーム画面で[▦]→[TrackID™]

楽曲情報を検索する

1 TrackIDを起動中にIS11Sを音源に向ける

2 [録音]

結果画面に楽曲情報が表示されます。

TrackIDの結果を利用する

TrackIDによって楽曲が認識されたら、他の人にすすめたり、YouTubeでその楽曲に関連したコンテンツを検索したりすることができます。楽曲情報は、検索後に表示されますが、履歴リストにも記録されます。

■TrackIDの結果を利用するために

- 録音した曲が認識されると楽曲情報が表示されます。楽曲情報画面の各キーをタップして、他の人にすすめたり、YouTubeで表示したりします。
- 履歴リストで目的の楽曲をタップしたり、「チャート」をタップして任意のチャートから楽曲情報の画面を表示することができます。

FMラジオを利用する

IS11SでFM放送を聴くことができます。自動または手動で選局でき、お好みの局をお気に入りに登録することもできます。FMラジオをご利用になる場合は、マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などのハンズフリー機器やヘッドフォンをご使用ください。受信アンテナとして機能します。

放送局を検索して登録する

1 マイク付ステレオヘッドセットをIS11Sに接続

マイク付ステレオヘッドセットの接続については、「マイク付ステレオヘッドセットを使用する」（▶P.187）をご参照ください。

2 ホーム画面で[▦]→[FMラジオ]

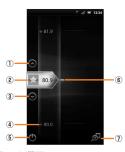
FMラジオ画面が表示され、自動的に選局を開始します。
画面を上下にドラッグしても選局できます。

3 [≡]→[チャンネルの検索]

放送局の電波をキャッチすると、検索が終了します。

4 [★]

検索した放送局の帯域がお気に入りに登録されます。
FMラジオを停止するには、「」をタップします。

■FMラジオ画面

① **上方向にお気に入りを選局**※1
② **選局ボタン**
③ **下方向にお気に入りを選局**※1
④ **お気に入りに登録された放送局**
⑤ **FMラジオのオン／オフを切り替え**
⑥ **帯域ポイント**
受信状態が良い場合に表示されます。
⑦ **TrackIDで楽曲情報を検索**

※1 お気に入りを複数登録している場合に選局できます。

■視聴中のキー操作

[◁ ▷]：音量を調節
[≡]：メニューを表示
[⌂]：ホーム画面に戻り、バックグラウンドで視聴

memo

◎バックグラウンド視聴中は、ステータスバーに[📻]が表示されます。
◎バックグラウンド視聴中にFMラジオ画面に戻るには、ホーム画面で[▦]→[FMラジオ]と操作するか、ステータスバーを下にスライドして、実行中の項目から「FMラジオ」をタップします。

スピーカーとハンズフリー機器を切り替える

1. FMラジオ画面→[≡]

2. ［スピーカーで再生］／［ヘッドホンで再生］

ワンセグ

ワンセグでテレビ(ワンセグ)を見る

ワンセグでは日本国内で放送している地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスを見ることができます。
また、テレビ(ワンセグ)では、放送番組に関連した情報などをお知らせするデータ放送を見ることができます。

- IS11Sはワンセグ録画、キャプチャ、BGM再生には対応しておりません。
- 番組表などの他のアプリケーションとの連動はありません。
- Bluetooth®でワンセグのサウンドを再生することはできません。

ワンセグをご利用になる前に

■テレビ(ワンセグ)利用時のご注意

- テレビ(ワンセグ)の利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、パケット通信を使用してデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- テレビ(ワンセグ)は日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送、地上アナログ放送、BSアナログ放送を見ることはできません。
- ワンセグ画面表示中は、IS11Sが温かくなり、長時間皮膚が接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスについて

「ワンセグ」サービスについては、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/(ブラウザ/パソコン用)

ホイップアンテナについて

テレビ(ワンセグ)を視聴する際は、電波を十分に受信できるようにホイップアンテナを伸ばしてご利用ください。
ホイップアンテナは固定されるまで十分に引き出してください。

また、ホイップアンテナは、360度回転します。受信感度の良い方向に向けてお使いください。

memo

◎ホイップアンテナを操作するときは、以下の点に注意してください。
- ホイップアンテナの向きを変えるときは、ホイップアンテナの根元付近を持ち、方向をよく確認してください。
- ホイップアンテナを収納するときは、ホイップアンテナを縮めて、まっすぐ上に向け、ホイップアンテナの先端の向きに注意して収納してください。

■電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

ワンセグの初期設定をする

ワンセグを初めて起動したときは、チャンネル設定を行います。設定が完了すると、テレビ(ワンセグ)を見ることができます。

1 ホーム画面で[▦]→[ワンセグ]

ワンセグメニュー画面が表示されます。

2 [チャンネル設定]→[地域選択]→現在の地域を選択→[はい]

チャンネル設定画面で「現在地から設定」をタップすると、チャンネルスキャンが開始されます。
スキャン完了後、[はい]→チャンネルリストのタイトルを入力→[完了]と操作します。
[↩]を押してワンセグメニュー画面に戻ります。

◎地上デジタルテレビ放送のサービスが開始されたばかりの地域では、うまく設定されない場合があります。

テレビ(ワンセグ)を見る

1 ホーム画面で[▦]→[ワンセグ]

2 [ワンセグ視聴]

ワンセグ視聴画面が表示されます。
映像をタップすると一時的にチャンネル、放送局名、番組名、マルチチャンネル編成(複数サービス)などの番組情報が表示されます。
ワンセグ視聴画面で[≡]を押すと、操作バーが表示されます。

《ワンセグ視聴画面(全画面)》

《ワンセグ視聴画面(操作バー画面)》

《ワンセグ視聴画面(データ放送あり)》

① 映像
② 字幕
③ 番組情報

④ **画面表示切替**
データ放送全画面、ワンセグ視聴+データ放送の画面を切り替えます。
縦画面でのみ有効です。

⑤ **詳細設定**

⑥ **DOWN選局とUP選局**
視聴中のチャンネルの前／後を選局します。

⑦ **リモコン**
チャンネル切替用の1～12の数字キーとサーチ選局キーが表示されます。

⑧ **ミュート**

⑨ **データ放送**
データ放送コンテンツが表示されます。

⑩ **データ放送用リモコン**
フォーカス移動、フォーカス選択、戻る、テンキー表示など、データ放送中に操作するキーが表示されます。

⑪ **ワンセグステータスバー**
受信レベル、字幕あり表示、ミュート、チャンネル表示、音量表示、オフタイマーなどがアイコンで表示されます。

memo

◎ワンセグを起動したりチャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
◎電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
◎ワンセグを視聴中に音声着信があったときは、ワンセグは中止され、通話終了後再開します。

■ワンセグ視聴中の操作

縦横切替
ワンセグ視聴中は本体の向きを縦横にすることで、自動的に画面表示が縦横に切り替わります。データ放送は縦画面のときに表示されます。

音量調節
音量調節は、[◁ ▷]で行います。

チャンネル切替
ワンセグ視聴画面を左右にフリックするとチャンネルを変えることができます。

ワンセグを終了する
ワンセグ視聴画面で[戻る]を押します。

ワンセグの設定をする

1 **ワンセグ視聴画面→[メニュー]→［詳細設定］**

2

チャンネル情報	視聴可能なチャンネル情報が表示されます。
番組情報表示	取得した番組情報が表示されます。
チャンネルリスト選択	登録した地域（放送エリア）がチャンネルリストとして一覧で表示されます。
チャンネル設定	チャンネルの設定をします。
チャンネル追加登録	ワンセグ視聴画面からチャンネルを追加登録します。
画面表示切替	映像とデータ放送の表示を切り替えます。
字幕表示設定	字幕表示のオン／オフを切り替えます。
オフタイマー	ワンセグ視聴を終了するタイマーの設定をします。
主／副音声設定	主／副音声の設定をします。
音声切替	音声切替の設定をします。
音量設定	音量レベルを調節します。
効果音設定	データ放送の効果音のオン／オフを切り替えます。
確認表示初期化	確認画面の表示を初期化します。
データ放送へ戻る	データ放送が表示されます。
サービス選局	1つのチャンネルを複数のサブチャンネルに分けたマルチ編成番組の放送が行われている場合は、サブチャンネルを選択できます。
テレビリンク	登録したテレビリンクが表示されます。
操作ガイド	ワンセグ視聴に関するガイドが表示されます。

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、いろいろな情報を見ることができます。
データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、パケット通信を使用してデータ放送の付加サービスなどを利用する場合は、パケット通信料がかかります。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報(テレビリンク)が表示される場合があります。テレビリンクをIS11Sに登録すると、後で関連サイトに接続できます。

テレビリンクを登録する

テレビリンクは、最大100件まで登録できます。

1 ワンセグ視聴画面(データ放送)で登録するテレビリンクを選択

◎テレビリンクの登録方法は番組によって異なります。

テレビリンクを表示する

1 ワンセグメニュー画面→[テレビリンク]

テレビリンクのリスト画面が表示されます。

2 テレビリンクを選択

■リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合

3 [はい]/[OK]

リンク先にアクセスします。

◎テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。有効期限が過ぎたテレビリンクは利用できません。

テレビリンクの詳細を見る・削除する

1 テレビリンクのリスト画面→[≡]

2

登録件数確認	テレビリンクの登録件数を表示します。
全件削除	登録したテレビリンクをすべて削除します。
複数件削除	登録したテレビリンクを複数件削除します。 **削除するテレビリンクにチェックを入れる→[≡]→[削除]→[はい]**

◎リスト画面でテレビリンク項目をロングタッチするとメニュー項目が表示され、詳細表示などの操作が行えます。

放送エリアを登録・変更する

お使いの地域(放送エリア)によって視聴できるチャンネルは異なります。

放送エリアを登録する

放送エリアはチャンネルリストとして10件まで登録できます。

1 ワンセグメニュー画面→[チャンネル設定]

2 [地域選択]→登録する地域を選択→[はい]

放送エリアを変更する

1 ワンセグメニュー画面→[チャンネルリスト選択]

2 チャンネルリストを選択

視聴する放送エリアが変更されます。

■チャンネルリスト選択画面のメニューを利用する

チャンネルリスト選択画面で画面をロングタッチするとメニュー項目が表示され、設定、情報の表示、タイトル編集、削除などの操作が行えます。

リモコン番号を変更する

各放送局に割り当てられたリモコン番号を変更します。各放送局はリモコン番号に対応した番号で呼び出すことができます。

1 ワンセグメニュー画面→[チャンネルリスト選択]

2 変更する放送局の地域を選択→チャンネル情報をロングタッチ

3 [リモコン番号設定]

4 変更する放送局を選択→登録するリモコン番号をタップ

5 [戻る]→[はい]

ユーザー設定をする

視聴画面、データ放送の設定や各種初期化やリセットを行うことができます。

設定を初期化する

チャンネル設定やワンセグ設定などを初期化します。

1 ワンセグメニュー画面→[ユーザ設定]

2 [チャンネル設定初期化]／[ワンセグ設定リセット]→[はい]

ファイル管理

パソコンとデータのやりとりをする

IS11S本体とパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、本体のmicroSDメモリカードがパソコンのリムーバブルディスクとして認識され、データをドラッグ＆ドロップできるようになります。

memo

◎次の場合には、パソコン側でmicroSDメモリカードがマウント(読み書き可能状態)されないことがあります。
- microSDメモリカードがセットされていない場合
- ステータスバーが表示されないようなフルスクリーンで画面表示するアプリケーションが起動している場合

◎一部の著作権で保護されたデータのやり取りは許可されていない場合もあります。

◎USB大容量記憶インターフェースをサポートしているほとんどのデバイスと以下のオペレーティングシステム(OS)で、microUSBケーブルを使用してファイルを転送できます。
- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows XP

microUSBケーブルでパソコンと接続する

1 microUSBケーブルでIS11Sとパソコンを接続

初めてmicroUSBケーブルで接続したときは、パソコンにIS11Sのドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。完了後、続いてPC Companionのインストール確認画面が表示されます。

2 [スキップ]

「メディア転送モード(MTP)」でパソコンに接続されます。パソコンの画面に「Portable Device」のウィンドウが表示され、「デバイスを開いてファイルを表示する　エクスプローラ使用」を選択して「OK」をクリックすると、IS11Sの「Memory Card」にアクセスできるようになります。

memo

◎接続時にステータスバーを下にスライドして、[メディア転送モードで接続しました]→[接続設定]と操作すると、接続状態の確認や以下の接続設定を変更できます。

PC Companionのインストール	パソコン接続時にPC Companionのインストールウィザードを起動します。
USB接続モード	パソコン接続時のUSB接続モードを「メディア転送モード(MTP)」／「ファイル転送モード(MSC)」から選択できます。
ワイヤレスのメディア転送用に信頼された機器	Wi-Fiネットワーク経由で接続するようペア設定した機器を表示します。(▶P.110)

USB接続モードを「ファイル転送モード(MSC)」に切り替えて接続操作を行ってもリムーバブルディスクとして本体のmicroSDメモリカードにアクセスできます。ただし、本体側でmicroSDメモリカードにアクセスできなくなるため、カメラ、ギャラリー、ミュージックプレーヤーなどIS11Sの機能やアプリケーションは利用できなくなる場合があります。
PC Companionをインストールすると、本体のソフトウェア更新をパソコンに接続して行うことができます(▶P.189)。また、パソコンと接続して、メディアファイルを管理したり、バックアップファイルを作成するなど、パソコン上から次のアプリケーションを利用できます。詳細については、インストール後のPC Companion画面で確認できます。

Media Go	▶P.111「Media Goを利用する」
Support Zone	IS11Sのソフトウェア更新をパソコンに接続して行います。(▶P.189)
Sync Zone	OutlookとIS11Sの間でカレンダーと連絡先を同期します。
ファイルマネージャ	microSDメモリカード内のファイルの種類、更新時間、場所などを確認できます。

- パソコンに接続すると自動的に充電を開始します。

取扱上のご注意

- データ転送中にmicroUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- データ転送中に電池フタを取り外さないでください。microSDメモリカードのマウントが解除されるため、データが破損するおそれがあります。

microUSBケーブルを安全に取り外す

■ メディア転送モード(MTP)の場合

1 データ転送中でないことを確認

2 microUSBケーブルを取り外す

■ ファイル転送モード(MSC)の場合

1 データ転送中でないことを確認

2 ステータスバーを下にスライド

「ファイル転送モードを選択中」と表示されている場合は、手順5へ進みます。「本体のメモリーカードが接続されました」と表示されている場合は、手順3へ進みます。

3 [本体のメモリーカードが接続されました]

4 [接続解除]

ステータスバーに「ファイル転送モードを選択中」と表示されます。

5 microUSBケーブルを取り外す

本体とパソコンでデータをドラッグ&ドロップする

画像やミュージックなどのデータは、転送および移動できます。一部の著作権で保護されたデータのやり取りは許可されていない場合もあります。

■ メディア転送モード(MTP)の場合

1 microUSBケーブルでIS11Sとパソコンを接続

microSDメモリカードがパソコン上にリムーバブルディスクとして表示されます。

2 IS11Sとパソコンの間で、選択したデータをドラッグ&ドロップ

■ ファイル転送モード(MSC)の場合

1 microUSBケーブルでIS11Sとパソコンを接続

2 ステータスバーを下にスライド →[ファイル転送モードを選択中]

3 [本体のメモリーカードに接続します]

ステータスバーに「本体のメモリーカードが接続されました」と表示されます。

4 IS11Sとパソコンの間で、選択したデータをドラッグ&ドロップ

memo

◎ microSDメモリカードがパソコンにマウントされると、本体からはmicroSDメモリカードにアクセスできなくなるため、カメラなど本体の機能やアプリケーションは利用できなくなる場合があります。

Wi-Fi上でIS11Sとパソコンを接続する

Wi-Fiネットワーク上でIS11Sとパソコン※1をペアになるように接続設定すると、Wi-Fiネットワークエリア内に入るたび、IS11SのmicroSDメモリカードとパソコンが自動的に接続できるようになります。接続したパソコンからmicroSDメモリカード内にあるファイルに簡単にアクセスできるようになります。

※1 パソコンのOSは、Microsoft Windows 7である必要があります。Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、その他のOSではペア接続の設定はできません。

1 **ペア接続するパソコンを、Wi-Fiネットワークに接続**

2 **IS11Sのホーム画面で[≡]→[設定]→[Sony Ericsson]→[接続]→[USB接続モード]→[メディア転送モード(MTP)]→[OK]**

3 **IS11SをWi-Fiネットワークに接続(▶P.152)**

4 **パソコンとIS11SをmicroUSBケーブルで接続**

IS11S上にPC Companionのインストール確認画面が表示された場合は、「スキップ」をタップしてください。

5 **パソコン上のエクスプローラーに、ポータブルデバイスとしてIS11Sが表示されていることを確認**

6 **ポータブルデバイスのアイコンを右クリックし、「ネットワーク構成」をクリックし、「次へ」をクリック**

7 **IS11S上のポップアップ画面で[ペア]**

8 **パソコンのポータブルデバイスのネットワーク構成画面で、「完了」をクリック**

9 **microUSBケーブルを取り外す**

10 **IS11Sのホーム画面で[≡]→[設定]→[Sony Ericsson]→[接続]→「ワイヤレスのメディア転送用に信頼された機器」の欄の「ホスト名」(パソコン名)をタップ→[接続]**

Wi-Fiネットワーク上でパソコンとIS11Sが「メディア転送モード(MTP)」で接続され、ファイルをやり取りできるようになります。

memo

◎初回は、手順10の後でパソコン側にドライバをインストールする必要があります。ドライバをインストールするには、パソコンのスタートメニューから「コンピューター」→「ネットワーク」をクリック→表示されているIS11Sのアイコンを右クリックし、「インストール」をクリックします。

◎接続設定を解除するには、IS11Sのホーム画面で[≡]→[設定]→[Sony Ericsson]→[接続]→「ワイヤレスのメディア転送用に信頼された機器」の欄の「ホスト名」(パソコン名)をタップ→[除外する]と操作します。
「除外する」をタップするまでは、Wi-Fiネットワークのエリア内外で接続／切断を繰り返しても、接続設定自体は継続されます。

Media Goを利用する

Media Goは、IS11Sとパソコンのメディアコンテンツの転送および管理を支援するパソコンのアプリケーションです。
IS11Sに付属のmicroSDメモリカードからパソコンにアプリケーションをインストールできます。
Media Goを利用すると、CDからパソコンに楽曲を取り込み、IS11Sへ転送することができます。
Media Goを使用するには、以下のいずれかのオペレーティングシステムが必要です。

- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows XP、Service Pack 3以降

memo

◎ファイルの転送をできるようにするために、最初にIS11SとパソコンをmicroUSBケーブルで接続する際は、USB接続モードを「メディア転送モード(MTP)」に設定しておく必要があります。
◎Media Goの使用方法の詳細については、Media Goのメインメニューのヘルプをご参照ください。

Media Goをインストールする

1 microUSBケーブルでIS11Sとパソコンを接続

2 IS11Sの画面で[インストール]

パソコン上でPC Companionのインストーラが起動します。

3 パソコンの自動再生画面で「インストール」をクリック

以降は画面の指示に従って操作してください。

4 インストール完了後、パソコンに表示される「Sony Ericsson PC Companion」画面で「Media Go」をインストール

memo

◎Media Goは、http://www.sonyericsson.co.jp/mediago/からダウンロードして入手することもできます。

Media Goを使ってデータを転送する

1 microUSBケーブルでIS11Sとパソコンを接続

2 ステータスバーを下にスライドして接続モードを確認

「メディア転送モードで接続しました」と表示されている場合は、手順4へ進みます。「ファイル転送モードを選択中」と表示されている場合は、手順3へ進みます。

3 [ファイル転送モードを選択中]→[メディア転送モードに変更]

4 パソコンのスタートメニューからMedia Goを選択して、Media Goを起動

Media Goで、IS11Sとパソコンの間でファイルを移動できます。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)をIS11Sにセットすることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。また、連絡先などをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

◎IS11Sにはお買い上げ時に、microSDHCメモリカード(32GB)(試供品)が取り付けられています。
◎microSDメモリカードを取り付けていない場合、カメラ機能、音楽・動画の再生やダウンロード、赤外線通信をご利用になれません。
◎microSDメモリカードの空き容量を確認する方法については、「microSDメモリカードまたは端末内部の空き容量を確認する」(▶P.147)をご参照ください。
◎他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、IS11Sでは正常に使用できない場合があります。IS11Sで初期化してください。初期化の方法については「microSDメモリカードをフォーマットする」(▶P.146)をご参照ください。

保護データについて

◎著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えてもIS11Sで再生できない場合があります。

取扱上のご注意

- 読み込み中、書き込み中、再生中、保存中、データを移動／コピーしているときに、microSDメモリカードを外したり、電池パックを取り外したり、IS11Sの電源を切らないでください。
  IS11S本体やmicroSDメモリカードに記録したデータが破損・消失するおそれがあります。
- IS11SにmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- IS11SのmicroSDメモリカードスロットには、液体・金属体・燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- IS11Sでは市販の2GBまでのmicroSDメモリカード、32GBまでのmicroSDHCメモリカードに対応しています(2011年4月現在)。
- 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次の通りになります。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

＜microSD／microSDHCメモリカード＞

※4GB以上は、microSDHCメモリカードの対応状況です。

発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
東芝	○	○	○	○	○
Panasonic	○	○	○	○	—
SanDisk	○	○	○	○	○
アドテック	○	○	○	○	—
バッファロー	○	○	○	○	—
ソニー	○	○	○	—	—

○:動作確認済み　－:未確認または未発売　2011年4月現在

※IS11Sでは、2011年4月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

microSDメモリカードをセットする

1 IS11Sの電源を切り、電池フタ側面のミゾに親指の指先（爪）をかけ、電池フタを矢印の方向へ持ち上げて取り外す

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくりと差し込む

microSDメモリカードの端子面を上にして挿入します。
挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。
また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。

3 電池フタの向きを確認して、本体に合わせるように装着し、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる

電池フタの閉じかたは「電池パックを取り付ける」(▶P.187)をご参照ください。

memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
◎ 必ず電池フタを取り付けてからご使用ください。電池フタを取り付けていないと、microSDメモリカードを認識できません。
◎ 故障や破損の原因となりますので、電池フタ検出スイッチには触れないでください。

microSDメモリカードを取り外す

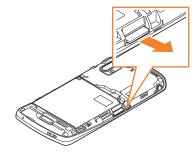
microSDメモリカードを取り外す場合は、必ずマウント（読み書き可能状態）を解除してから行ってください。

1 ホーム画面で →[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]

マウントが解除されるとステータスバーに が表示されます。

2 IS11Sの電源を切り、電池フタ側面のミゾに親指の指先（爪）をかけ、電池フタを矢印の方向(▶P.113)へ持ち上げて取り外す

3 **microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へまっすぐにゆっくりと押し込む**

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

4 **microSDメモリカードをゆっくり引き抜く**

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードが出てこない場合は指で軽く引き出して取り外してください。
microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。

5 **電池フタの向きを確認して、本体に合わせるように装着し、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる**

電池フタの閉じかたは「電池パックを取り付ける」(▶P.187)をご参照ください。

◎アプリケーションにより、microSDメモリカードが必要になる場合がありますので、microSDメモリカードを挿入してご利用ください。
◎ステータスバーに■が表示され、マウントが解除されたことを確認してから、microSDメモリカードを取り外してください。マウント解除完了前に取り外すと、故障・データ消失の原因となります。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
◎マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、microSDメモリカードを挿入したまま、ホーム画面で[≡]→[設定]→[ストレージ]→[SDカードをマウント]と操作してください。
◎microSDメモリカードにデータを保存中は、マウント解除操作できません。

メディアサーバーでファイルを共有する

メディアサーバーを利用すると、Wi-Fi機能を利用して、他のクライアント(DLNA: Digital Living Network Alliance)機器とファイルを共有できます。
操作の前にあらかじめ他のクライアント機器とWi-Fi接続(▶P.152)を設定しておきます。

メディアサーバーを設定する

1 **ホーム画面で[▦]→[メディアサーバー]**

メディアサーバー	クライアント機器からWi-Fi経由でIS11Sに接続できるように設定します。
サーバー名の変更	クライアント機器上で見えるIS11S(サーバー)の名称を変更できます。
クライアント機器のリスト	登録されたクライアント機器を管理します。
Wi-Fi設定	▶P.152「Wi-Fiネットワークに接続する」
詳細	ステータスバーに表示される接続状態アイコンの説明を表示します。

ファイル管理

OfficeSuiteを利用する

OfficeSuiteを利用して、IS11S本体や、microSDメモリカードからWord、Excelなどのファイルを閲覧できます。

OfficeSuiteを起動する

1 ホーム画面で[▦]→[OfficeSuite]

OfficeSuiteが起動します。

赤外線通信でデータを送受信する

IS11Sと赤外線通信機能を持つau電話との間で、連絡先、カメラで撮影したデータ、ギャラリーで表示されるデータなどを送受信できます。

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、IS11Sの赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

memo

◎赤外線通信ができない場合はmicroSDメモリカードがセットされていることを確認してください。また必ず電池フタを取り付けた状態でご利用ください。
◎赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。
◎IS11Sの赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。

◎直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
◎送受信時に認証パスコードの入力が必要になる場合があります。認証パスコードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
◎赤外線通信中に着信した場合は、赤外線通信を終了して着信画面を表示します。
◎赤外線通信中にアラームの設定時刻になった場合は、赤外線通信を終了してアラームが鳴ります。
◎赤外線通信中は、ステータスバーに が表示されます。

■送受信できるデータについて

- 連絡先
- 自分の連絡先
- ギャラリーで表示されるデータ
- オーディオ（オーディオファイル）

memo

◎送受信できるデータ容量は2MBまでです。データ容量や相手の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎相手の機器やデータの種類、容量によっては再生や登録ができない場合があります。
◎受信したデータはmicroSDメモリカード内に保存されます。

赤外線でデータを送信する

各機能のメニューや赤外線通信アプリからデータを送信できます。

■各機能のメニューから送信する場合

1 各機能のメニューで［共有］→［赤外線通信］

連絡先を赤外線通信で送信する場合は、ホーム画面で［ ］→［電話帳］→［ ］→［連絡先を送信］→送信する連絡先を選択／［すべて選択］→［送信］→［OK］→［赤外線通信］と操作します。
連絡先を複数件選択した場合は、認証パスコードを入力します。

■「赤外線通信」アプリケーションから送信する場合

1 ホーム画面で［ ］→［赤外線通信］→［送信］

2 送信するデータの種別を選択

「連絡先全件」を選択した場合は、認証パスコードを入力します。

memo

◎画像、ムービー、オーディオの複数件の送信はできません。
◎赤外線通信ウィジェットをホーム画面に追加した場合、ホーム画面から自分の連絡先を送信できます。

赤外線でデータを受信する

1 ホーム画面で［ ］→［赤外線通信］→［1件受信］／［複数件受信］

「複数件受信」を選択した場合は、認証パスコードを入力します。

2 データを受信したら［はい］→受信データを追加登録

連絡先を受信したときに、同期しているアカウントがある場合は、「本体連絡先」／同期しているアカウントの連絡先から保存先を選択できます。

memo

◎画像、ムービー、オーディオの複数件の受信はできません。
◎本体メモリの容量がいっぱいの場合は、連絡先を保存できないことがあります。
◎データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が127文字（Unicode）以上のデータは正しく保存できない場合があります。
◎赤外線通信ウィジェットをホーム画面に追加した場合、ホーム画面で1件のデータを受信できます。

アプリケーション

GPS機能を利用する

現在地の測位には、モバイルネットワークとWi-Fi(無線ネットワーク)またはGPSを使用する2つの方法があります。無線ネットワークでは、スピーディに現在地が測位されますが、誤差が生じる場合があります。GPSを使用すると、多少時間がかかることはありますが、正確な現在地が測位されます。無線ネットワークとGPSの両方を有効にすると、両方のメリットを生かして測位することができます。

IS11Sには、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。

現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経ってもGPS受信機で現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナをおおわないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

《GPSアンテナ位置》

memo

◎GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

◎本製品の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因(電池切れを含む)によって、測位(通信)結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎本製品は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎車の日よけに金属が使用されていると、GPSを受信しにくくなることがあります。

◎衛星利用測位(GPS)は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。

◎ワイヤレス通信製品(携帯電話やデータ検出機など)は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。

◎各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

◎一部、または全部のGPS機能を使用できない場合は、契約内容にインターネットの利用が含まれていることをご確認のうえ、「無線とネットワークの設定をする」(▶P.137)をご参照ください。

◎当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

■受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- 本製品の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

GPS機能を有効にする

1 ホーム画面で[≡]→[設定]

2 [現在地情報とセキュリティ]

3 「GPS機能を使用」にチェックを入れる

4 注意文を読んで[同意する]

現在地検索を有効にする

モバイルネットワークとWi-Fiを使った現在地検索を有効にします。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]

2 [現在地情報とセキュリティ]

3 「無線ネットワークを使用」にチェックを入れる

4 注意文を読んで[同意する]

5 位置情報についての注意文を読んで、[同意する]

無線ネットワークを利用した位置情報は個人を特定しない形で収集されます。なお、アプリケーションが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

Googleマップを利用する

Googleマップで、現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索を行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

1 ホーム画面で[▦]→[マップ]

マップ画面が表示されます。

memo

◎現在地を取得する前に現在地検索の設定を有効にしてください。
◎IS11Sを横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で[≡]→[設定]→[画面設定]と操作して、「画面の自動回転」にチェックを入れます。
◎Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
◎Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
◎3G/Wi-Fi の接続のみでは、現在位置が検出されない場合があります。
◎Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

地図上で現在地を検出する

1 マップ画面→[◉]

現在地が地図上で青い矢印の点滅で表示されます。

ストリートビューを見る

ストリートビューは対応していない地域もあります。

1 マップ画面→ストリートビューで表示する地点をロングタッチ

2 表示された吹き出しをタップ

3 [ ](ストリートビュー)

ストリートビュー表示中に →[コンパスモード]と操作すると、IS11Sの地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

ストリートビュー非対応地域の場合はグレー表示となります。

興味のある場所を検索する

1 マップ画面→ →[検索]

2 検索ボックスに検索する場所を入力

住所、都市、ビジネスの種類や施設(例えば、ロンドン　美術館)を入力できます。

検索ボックスをタップすると、以前に検索または参照したすべての場所のリストが画面に表示されます。リストで住所などをタップし、地図上でその位置を表示することもできます。

3 [実行]/[ ]

地図上に検索した場所が表示されます。

マップ画面左下に が表示された場合は、「 」をタップして表示する場所を選択することができます。

マップ画面上部に「もしかして･･･」と表示された場合は、「もしかして･･･」をタップして表示する場所を選択することができます。

4 目的の場所をタップ

詳細情報画面が表示されます。

memo

◎詳細情報画面では、 (地図で見る)、 (経路を検索)、 (電話をかける)、 (その他のオプション)などが利用できます。場所によって利用できるオプションは異なります。

◎マップ画面上の「 」(プレイス)をタップすると、現在地を中心にして「レストラン」「カフェ」などのカテゴリーを選択して検索し、地図表示できます。検索カテゴリーは追加することもできます。

地図を拡大/縮小する

1 「 」をタップして拡大/縮小

画面をダブルタップやピンチすることでも拡大/縮小できます。

レイヤを変更する

地図上に重ねる情報を選択できます。

1 マップ画面→[ ]

2 [渋滞状況]/[航空写真]/[地形]/[バズ]/[Latitude]/[その他のレイヤ]

「マイマップ」「Wikipedia」「路線図」を選択するときは「その他のレイヤ」をタップします。

渋滞状況と路線図は提供地域が限定されています。

渋滞状況	渋滞状況を表示します。
航空写真	航空写真を表示します。
地形	地形を表示します。
バズ	その地点からのつぶやき(バズ)を表示します。
Latitude	Latitudeに参加します。
マイマップ	パソコンで作成したマイマップを閲覧できます。マイマップはIS11Sからは閲覧するだけで作成できません。
Wikipedia	W を表示します。「W」をタップするとその場所に関するWikipediaの記事を閲覧できます。
路線図	路線情報を表示します。

アプリケーション

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 マップ画面→[≡]→[経路]

2 上のテキストボックスに出発地を入力し、下のテキストボックスに到着地を入力

テキストボックス右の「★」をタップして「現在地」「連絡先」「地図上の場所」から出発地、到着地を選択することもできます。

3 [車アイコン](車)/[バスアイコン](公共交通機関)/[歩行者アイコン](徒歩)

4 [実行]

到着地への道案内がリスト表示されます。

5 公共交通機関で検索した場合には、リストの中から好みの経路をタップ

車や徒歩で経路検索した場合は、経路が表示されています。「地図アイコン」をタップすると、経路が地図で表示されます。

memo

◎「ナビ」アプリケーションを利用すると、現在地を出発点にした経路検索が簡単にご利用になれます。

地図をクリアする

表示されたレイヤや経路検索結果などを消去します。

1 マップ画面→[≡]→[地図をクリア]

クリアする内容がない場合には「地図をクリア」はタップできません。

Google Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。Latitude上では、Cメールや PCメールを送ったり、電話をかけたり、また、友人の現在地までの移動経路を検索したりすることもできます。

位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 地図を表示中に[≡]→[Latitudeに参加]

初めてLatitudeに参加するときは、Googleのプライバシーポリシーに同意するか同意しないかを確認するメッセージが表示されます。

一度Latitudeに参加すると、メニュー項目は「Latitude」に変わります。

memo

◎Latitudeの設定およびログアウトは、マップ画面→[≡]→[Latitude]→[≡]→[設定]と操作して、設定画面から行います。

Googleトークを利用する

「Googleトーク」を利用して、メンバーに追加した相手とチャットをすることができます。

- Googleトークの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.31)をご参照ください。

Googleトークにサインインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、サインインなしでご利用になれます。

1 ホーム画面で[▦]→[トーク]

2 [次へ]→[ログイン]

3 ユーザー名とパスワードを入力→[ログイン]

◎ Googleトークの詳細については、Googleトークの画面→[≡]→[設定]→[利用規約とプライバシー]→[Help Center]と操作して確認してください（Talk Helpは英語で表示されます）。

YouTubeを利用する

オンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の再生や、キーワード入力による動画検索、カテゴリー別表示、撮影した動画のアップロードができます。

1 ホーム画面で[▦]→[YouTube]→利用規約を確認して[同意する]

YouTube画面が表示されます。

2 再生する動画を選択

◎ 動画コンテンツのダウンロード･アップロードの際に、パケット通信料がかかる場合があります。

◎ ムービーをアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめYouTubeアカウントを取得してください。

◎ アップロード中は、ステータスバーに通知アイコンが表示され、通知パネルでアップロードの進捗状況を確認できます。

◎ YouTubeの詳細については、YouTube画面→[≡]→[設定]→[ヘルプ]と操作して確認してください。

jibeを利用する

jibeを利用して、連絡先やmixiのマイミク、Gmailの連絡先など複数の友達リストを管理することができます。

複数のメディアの友達の投稿やメッセージを、まとめて参照したり、写真やメッセージを複数のメディアにまとめて投稿することができます。

- jibeを利用するには、au one-IDもしくはお使いのメールアドレスが必要になります。
  au one-IDの登録については、auホームページをご参照ください。
- お使いのメールアドレスでログインするには、jibeへの登録が必要になります。ホーム画面で[▦]→[jibe]→[新規登録はこちら]と操作して、お使いのメールアドレスを登録してください。

1 ホーム画面で[▦]→[jibe]

許可画面が表示されます。

2 [同意する]

「利用規約を見る」をタップすると利用規約が確認できます。

3 [同意する]

ログイン画面が表示されます。

■ au one-IDを利用する場合

4 [au one-IDでログイン]

5 au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

以降は画面の指示に従って操作してください。

■ au one-ID以外の登録済みのメールアドレスを利用する場合

4 メールアドレスとパスワードを入力→[ログイン]

jibe画面が表示されます。

Androidマーケットを利用する

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションやゲームに直接アクセスでき、IS11Sにダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションやIS11Sと互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

- Androidマーケットの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.31)をご参照ください。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと有料のものがあり、マーケットのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Androidマーケットヘルプ」(▶P.123)でご確認ください。

Androidマーケットをご利用になる前に

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で[≡]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]と操作して、「データ通信を有効にする」のチェックを外します。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

Androidマーケットを表示する

1 ホーム画面で[マーケット]

Androidマーケット画面が表示されます。

初めて起動したときは、利用規約が表示されますので「同意する」をタップしてください。

■ Androidマーケットヘルプ

Androidマーケットについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、[≡]を押し、「ヘルプ」をタップします。ブラウザよりAndroidマーケットヘルプウェブページに進みます。

Timescape™を利用する

Sony Ericsson Timescape™(以降は、Timescapeと略します)は、電話、Cメール、Facebook、Twitter、mixiの更新などの履歴が画面上に時系列で表示されます。1つの履歴を表示する前に、個別の履歴をタイル形式にして時系列で並べたプレビューを表示できます。また、∞(インフィニットボタン)を使用すると、登録した連絡先に関するすべてのコミュニケーション情報を表示できます。(▶P.126)

memo

◎ソーシャルネットワークサービス(SNS)を設定することでTimescapeの利点を最大限に活用できます。
◎Gmailやその他のメールアプリケーションに設定したPCメールアカウントのメールは、Timescapeには表示されませんのでご注意ください。
◎Facebook アカウントをまだお持ちでない場合は、**http://www.facebook.com**のウェブサイトでアカウントを新規作成することができます。
◎Twitterアカウントをまだお持ちでない場合は、**http://www.twitter.com**のウェブサイトでアカウントを新規作成することができます。
◎mixiアカウントをまだお持ちでない場合は、パソコンからmixi(**http://mixi.jp**)をご参照ください。
◎設定したFacebook、Twitter、mixiなどの更新内容は、Timescapeから確認することができます。

Timescapeの初期設定をする

• Timescapeを初めて起動すると、セットアップウィザードにより各アカウント登録に必要な手順が表示されます。

1 ホーム画面で[▦]→[Timescape™]

Timescape画面が表示されます。

2 タイルをタップ

3 必要に応じて、Facebook/Twitter/mixiのアカウント情報を入力

4 [完了]

memo

◎Timescapeは、Timescapeウィジェット右上の「 」をタップして起動することもできます。
◎セットアップウィザード完了後も、Timescape画面→[≡]→[設定]と操作して、いつでもTimescapeの設定を変更することができます。
◎Facebook/Twitter/mixiの自動更新を設定すると、より速く情報の更新を確認できますが、電池の消耗が早くなります。手動更新に設定することで電池を節約することができます。

Timescapeを起動する

■Timescapeのスタート画面

① **最新のコメント**
Facebook/Twitter/mixiに投稿した最新のコメントを表示します。フィルターを使用して、いずれかのサービスに絞り込むことができます。

② **タイル**
不在着信、受信Cメール、Facebook、Twitter、mixiの友人からの更新の各種情報を時系列に沿って表示します。

③ フィルター
フィルター項目をタップして、特定のタイプの情報に絞り込みます。フィルターの並び順は異なる場合があります。

■Timescapeでタイルをスクロール

1 **タイルを上下にスライド**

■Timescapeでタイルをプレビュー

タイルを選択して、タイル上で内容を確認できます。

1 **タイルをタップ**

コンテンツフィルターのアイコン

フィルターアイコン	表示するタイル
	すべてのタイル
	Twitterの更新情報タイル
	mixiの更新情報タイル
	不在着信のタイル
	受信したCメールのタイル
	Facebookの更新情報タイル

■表示されたタイルにフィルターを適用する

1 **Timescape画面→フィルターアイコンをタップ**

■Timescapeでスタート画面を更新する

スタート画面を更新すると、インターネットに接続してTimescapeでアカウント設定済みのFacebook、Twitter、mixiの情報を更新します。

1 **Timescape画面→[≡]→[更新]**

■TimescapeからFacebook、Twitter、mixiへ投稿する

1 **Timescape画面→[≡]→[ステータスを入力]**

2 **投稿するサービスにチェックを入れる→[続行]**

3 **テキストを入力→[投稿]**

タイルのアイコン

タイルの中に表示されるアイコンは、次の情報内容を示しています。

アイコン	情報内容
	不在着信。タイルをタップして着信相手に電話をかけることができます。
	Cメール。タイルをタップしてメールを表示できます。
	Twitter更新。タイルをタップして、Twitterの更新を表示できます。
	mixi更新。タイルをタップして、mixiの更新を表示できます。
	Facebook更新。タイルをタップして、Facebookの更新を表示できます。

■タイルの詳細情報を表示する

1 **Timescape画面→タイルをタップ**

■Timescapeで不在着信に電話をかける

1 **「 」タイルをタップ→もう一度タップ**

2 **[発信]**

■TimescapeでCメールに返信する

1 「 」タイルをタップ→もう一度タップ

2 メール本文を入力

3 [送信]

Timescapeのインフィニットボタン

タイルをタップすると、右上隅に （インフィニットボタン）が表示されます。「 」をタップすると、連絡先に登録された情報やタイルフィルターごとの履歴を表示できます。

■Timescapeから連絡先の登録情報を表示する

1 Timescape画面→タイルをタップ

2 [ ]

選択されているタイルの種別ごとの履歴を表示します。

3 画面下部のフィルターをフリックして情報フィルターをタップ

連絡先の情報を表示します。
通話履歴、Cメールのタイルの場合は、履歴を確認できます。

Timescapeの設定をする

■Timescapeの設定画面を表示する

1 Timescape画面→ →[設定]

項目	説明
更新モード	Timescapeを起動時に、アカウント設定済みのTwitter、Facebook、mixiの情報を手動／自動で更新するように設定します。
Timescape™コンテンツ	Timescapeに表示されるコンテンツ種別を変更します。
サービスを設定	Facebook ／Twitter ／mixi のアカウントを設定します。

ニュースと天気を利用する

位置情報を基にした天気予報、ニュース、スポーツ、エンタテイメントなどの各種情報がチェックできます。
ご利用になる前に現在地情報が取得できるように設定（▶P.119）する必要があります。
ニュースと天気の設定をすると、「時計」画面にニュースと天気予報が表示されます。

1 ホーム画面で[ ]→[ニュースと天気]

メディア探索を利用する

メディア探索は、Facebookで共有した動画や音楽の一覧を表示するアプリケーションです。Facebookで登録した友達が共有している動画や音楽も一覧表示することができます。また、動画や音楽を選択すると、コメントや「いいね！」の投稿や閲覧ができます。

- メディア探索をご利用になるには、あらかじめFacebookにログインする必要があります。（▶P.145）

1 ホーム画面で[ ]→[メディア探索]

便利な機能を利用する

おサイフケータイ®を利用する

おサイフケータイ®とは、FeliCa™と呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。IS11Sをリーダー／ライター（店舗のレジなどにあるFeliCa™チップ内のデータをやりとりする装置）にかざすだけで、電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。
おサイフケータイ®をご利用になるには、サービスプロバイダのおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。なお、サービスによりおサイフケータイ®対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

おサイフケータイ®ご利用にあたって

- IS11S本体の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、「おサイフケータイ ロック設定」をおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。「おサイフケータイ ロック設定」をされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- 充電ケーブル、もしくはUSBケーブルを挿入した場合は、おサイフケータイ®の機能が利用できない場合があります。
- FeliCa™チップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCa™チップ内のデータを消去していただくか、当社または当社代理店がFeliCa™チップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCa™チップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからのFeliCa™チップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされていない場合があります。
- 電池パックを取り外した場合は、おサイフケータイ®をご利用になれません。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用になれない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 機内モード設定中は、おサイフケータイ®をご利用になれません。
- 充電中などのケーブル類を接続した状態で、au ICカードが挿入されておらずWLANも使用できない場合、また一度も電波を受けていない場合は、おサイフケータイ®をご利用になれません。

おサイフケータイ®のメニューを利用する

1 ホーム画面で[▦]→[おサイフケータイ]→[≡]

2

おサイフケータイロック設定	▶P.129「おサイフケータイ®の機能をロックする」
表示形式切替	表示モードを切り替えます。
サービス一覧更新	サービス一覧画面を最新の状態に更新します。
メモリ使用状況	おサイフケータイ®のメモリ使用状況を確認します。
サポートメニュー	バージョン情報の確認や設定リセットが行えます。

リーダー／ライターとやりとりする

FeliCa™マークをリーダー／ライターにかざすだけでリーダー／ライターとやりとりできます。

- FeliCa™マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- FeliCa™マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- FeliCa™マークをリーダー／ライターにかざす際はゆっくりと近付けてください。
- FeliCa™マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、IS11Sを少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCa™マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、FeliCa™マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

memo

◎おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。

◎本体の電源を切っていても利用できますが、電池パックを取り付けていない場合は利用できません。電池パックを取り付けていても、IS11Sの電源を長期間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。

◎電池フタ裏のシールをはがさないでください。リーダー／ライターとのデータの読み書きができなくなる場合があります。

おサイフケータイ®の機能をロックする

「おサイフケータイ ロック設定」を利用すると、おサイフケータイ®対応サービス、FeliCa™データ受信の利用を制限できます。

- おサイフケータイ®のロックは、本体端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。
- おサイフケータイ®のロックパターンおよび秘密の質問を忘れた場合は「おサイフケータイ ロック設定」を解除できません。解除できなくなった場合、IS11Sをauショップもしくは PiPitにお持ちください。なお、解除処理は有償となり、IS11S内のデータ(FeliCa™のバリューを含む)は全て初期化されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で[▦]→[おサイフケータイ]→[≡]

2 [おサイフケータイ ロック設定]→[次へ]→[次へ]→ロックパターンを入力→[次へ]→再度ロックパターンを入力→[確認]→[OK]→[次へ]

3 秘密の質問および答えを設定

おサイフケータイ®の機能がロックされます。

memo

◎「おサイフケータイ ロック設定」ご利用中に電池が切れると、「おサイフケータイ ロック設定」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「おサイフケータイ ロック設定」を解除してください。
◎「おサイフケータイ ロック設定」ご利用中におサイフケータイ®のメニューをご利用になるには、ロックパターンの入力が必要になります。
◎「おサイフケータイ ロック設定」をご利用になると、ステータスバーに が表示されます。
◎おサイフケータイ®のロックパターンとFeliCa™のバリューは、IS11Sを初期化しても削除されません。

カレンダーを利用する

IS11Sには予定を管理するカレンダーが内蔵されています。Googleアカウントを持っている場合は、IS11Sのカレンダーとウェブカレンダーを同期することができます。「アカウントと同期の設定をする」(▶P.144)をご参照ください。

- カレンダーを起動する前に、Googleアカウントの登録(▶P.31)が必要です。Googleアカウントを登録した後、「アカウントと同期」内に表示されているGoogleアカウントをタップして、同期項目の「カレンダーを同期」をタップしてください。予定の作成などができるようになります。

カレンダーを表示する

カレンダーには、予定を登録できます。

1 ホーム画面で[ ]→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

2 →[日]/[週]

「日」の表示中にはメニュー内の「週」、「月」を選択でき、「週」の表示中には「日」、「月」を選択できます。

■カレンダーの内容について

《カレンダー画面(1ヶ月表示の場合)》

① **選択されている日付**
背景が青色になります。

② **今日の日付**
背景が水色になります。

③ **予定**
登録されている予定があるときに表示されます。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→≡

2

日	選択した日付を1日表示に切り替えます。	
週	選択した日付を1週間表示に切り替えます。	
月	選択した日付を1ヶ月表示に切り替えます。	
予定リスト	予定リストの一覧を表示します。	
今日	今日の日付にカーソルを移動します。	
その他	予定を作成	選択した日の予定を作成します。
	カレンダー	「マイカレンダー」として同期設定されているカレンダーを表示します。
	設定	カレンダーの表示設定や予定の通知設定などを行うことができます。

memo

◎カレンダー画面で画面の日付をロングタッチするとメニュー項目が表示され、選択した日付の予定の作成などが行えます。

カレンダーの予定を作成する

カレンダーの予定を作成するには、Googleアカウントの登録とGoogleとの同期を行っておきます。

1 カレンダー画面→≡→[その他]→[予定を作成]

カレンダー画面の日付をロングタッチし、「予定を作成」をタップしても予定を作成できます。

2 予定のタイトル、日時、場所、および内容を入力

3 複数のカレンダーアカウントを持っている場合は、目的のカレンダーを選択

4 必要に応じて、予定の繰り返し間隔を選択

5 予定の通知間隔を選択

予定に新しい通知を追加するには、「＋」をタップします。

6 [完了]

■カレンダーの予定を表示する

1 カレンダー画面→予定のある日付をタップ→表示する予定をタップ

1ヶ月表示では上下にフリックすると、前後の月を表示します。1日表示、1週間表示では左右にフリックすると前後の日、週を表示します。

memo

◎Facebookのカレンダーと同期している場合は、Facebookのイベントもカレンダーの予定に表示されます。

予定のリマインダーを解除またはスヌーズを設定する

1 ステータスバーに30（リマインダーアイコン）が表示されたら、ステータスバーを下にスライド

通知パネルが開きます。
リマインダーアイコンは通知を設定した時刻になると表示されます。

2 目的の予定をタップ

3 [全てスヌーズ]／[通知を消去]

該当の予定のほかにも保留中の予定がある場合、それらの予定も同じ画面に表示されます。
「全てスヌーズ」をタップすると、5分後にすべてのカレンダーをスヌーズします。（スヌーズとは、いったんアラームのスイッチを切ってもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。）

カレンダーの設定を変更する

カレンダーの表示、リマインダーの通知方法、着信音、バイブレーション、通知間隔などを設定します。

1 カレンダー画面→[≡]

2 [その他]→[設定]

3 変更する項目を選択→設定を変更

時計／アラームを利用する

「時計」アプリケーションは、アラームを設定できるほか、ディスプレイに時計や写真のスライドショーを表示させたり、ミュージックプレーヤーで音楽を流したりする設定ができます。

1 ホーム画面で[▦]→[時計]

時計画面が表示されます。

《時計画面》

① **アラーム表示**
設定したアラームがある場合に表示されます。

② ：バックライト消灯
点灯させるには画面をタップします。

③ **時計表示**
ディスプレイに触れず5分経過すると、日付･時刻のみの表示になります。

④ **ニュースと天気**
タップすると「ニュースと天気」アプリケーションを起動します。
※現在地の天気予報を表示するには、現在地情報が取得できるように設定（▶P.119）する必要があります。

⑤ ：アラームを設定

⑥ ：スライドショー表示に設定

⑦ ：ミュージックプレーヤー画面を表示

⑧ ：ホーム画面に戻る

アラームを設定する

1 時計画面→[⏰]

アラーム一覧画面が表示されます。
ホーム画面で[▦]→[アラーム]と操作しても、アラームの一覧画面が表示できます。

2 [アラームの追加]

新しいアラームの時刻設定画面が表示されます。

3 「＋」または「－」をタップして時刻を合わせる→[設定]

新しいアラームの編集画面が表示されます。

4 次の項目を設定

時刻	時刻を変更するときにタップして、手順3に戻ります。
繰り返し	アラームを使用する曜日を設定します。 設定しない場合は、繰り返しなしになります。
アラーム音	アラーム音を選択します。

便利な機能

バイブレーション	チェックを入れるとアラーム時刻に振動します。
ラベル	設定中のアラームに名称を付けることができます。

5 [完了]

アラーム一覧画面に戻り、設定がオンになっている の下に緑色のラインが点灯し、ステータスバーに が表示されます。

■アラームをオフにする

1 アラーム一覧画面→[ ]

オフになったアラームの の下の緑色のラインが消灯します。

■アラームの基本設定をする

アラーム音量の設定など、すべてのアラームに共通する設定を行います。

1 アラーム一覧画面→ →[設定]

アラームの共通設定画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

マナーモード中の鳴動	マナーモード設定中にアラーム音を鳴らさないように設定できます。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	アラーム音を止めてからもう一度アラーム音が鳴るまでの時間を設定します。
サイドキー動作	アラーム音が鳴動中にサイドキー(、)を押したときの効果を設定します。

■アラームを削除する

1 アラーム一覧画面→削除するアラームをタップ

2 [削除]→[OK]

■アラームを止める

1 アラームが鳴っているときのダイアログボックスで[スヌーズ]／[停止]

「スヌーズ」ではアラームを一定時間止めて、再度鳴らします。「停止」ではアラームが止まります。

ダイアログボックスが表示されていない場合は、ステータスバーを下にスライドし、アラームをタップしてもアラームを止めることができます。

電卓で計算する

加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行うことができます。

1 ホーム画面で[ ]→[電卓]

[0]～[9]：数字を入力　　[.]：小数点を入力
[+]：＋　　[÷]：÷
[×]：×　　[－]：－
[＝]：＝　　[C]：C（クリア）

memo

◎計算がエラーとなった場合は、「エラー」と表示されます。

便利な機能

端末設定

設定メニューを表示する

設定メニューからIS11Sの各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

設定メニューを起動する

1 ホーム画面で[≡]→[設定]

設定メニュー画面が表示されます。

■設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
Sony Ericsson	IS11SをUSB接続またはWi-Fiで、他の機器またはパソコンに接続します。	P.110
無線とネットワーク	機内モード、Wi-Fi、Bluetooth®、モバイルネットワーク設定など、通信に関する設定を行います。	P.137
通話設定	留守番電話、転送電話などネットワークサービスを設定します。	P.138
音設定	マナーモードの設定、音声着信音、メール受信音、操作音、バイブレータ（振動）、メディア再生音量などを変更できます。	P.139
画面設定	モバイルブラビアエンジン、アニメーション表示、画面の向き（縦横表示の切り替え）、画面消灯など、画面表示に関する設定を行います。	P.140
現在地情報とセキュリティ	GPS機能のオン／オフなどの位置情報に関する設定や、画面ロックの設定などのセキュリティに関する設定を行います。	P.140
アプリケーション	アプリケーションのインストールや起動に関する設定を行います。また、インストール済みのアプリケーションの管理をします。	P.142
アカウントと同期	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.144
プライバシー	データの初期化を行います。	P.146
ストレージ	microSDメモリカードやIS11S本体内のメモリ容量を確認したり、microSDメモリカードの初期化を設定します。	P.146
言語とキーボード	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	P.147
音声入出力	Google音声認識を設定したり、テキスト読み上げの設定をします。	P.147
ユーザー補助	通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスを設定します。	P.148
日付と時刻	日付と時刻の表示形式の設定などをします。	P.148
端末情報	電話番号や電波状態などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。	P.149

memo

◎ホーム画面で[▦]→[設定]と操作しても、設定メニュー画面を表示できます。

無線とネットワークの設定をする

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]

2

機内モード	▶P.137「機内モードを設定する」
Wi-Fi	▶P.152「Wi-Fiを起動する」
Wi-Fi設定	▶P.152「Wi-Fiネットワークに接続する」
Bluetooth Bluetooth設定	▶P.157「Bluetooth®を起動する」
VPN設定	▶P.137「VPNを設定する」
モバイルネットワーク	▶P.138「モバイルネットワークを設定する」

機内モードを設定する

電話、インターネット接続(メールの送受信含む)など、電波を発する機能をすべて無効にします。電話やメールの着信などを気にしないでIS11Sを操作できます。

■機内モードをオンにする

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]

2 「機内モード」にチェックを入れる

「機内モード」のチェックを外すと、機内モードはオフになります。
機内モードがオンの場合でもWi-Fiをオンにすることができます。航空機内や病院など電波の使用を禁止された区域ではWi-Fiを使用しないよう注意してください。

memo

◎ ⓞ(1秒以上長押し)→[機内モード]と操作してもオン／オフを切り替えることができます。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク(VPN: Virtual Private Network)は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
IS11SからVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。詳しくは、http://www.sonyericsson.co.jp/support/をご参照ください。

- IS11Sは以下の種類のVPNに対応しています。
  - ・PPTP VPN
  - ・L2TP VPN
  - ・L2TP/IPSec PSK VPN
  - ・L2TP/IPSec CRT VPN

■VPNを追加する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[VPN設定]

2 [VPNの追加]→ 追加するVPNの種類をタップ

3 画面が表示されたら、ネットワーク管理者の指示に従いVPN設定の各項目を設定

4 (≡)→[保存]

VPN設定画面のリストに、新たなVPNが追加されます。

◎追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNをロングタッチ→[ネットワークの編集]→必要に応じてVPNの設定を変更→(≡)→[保存]と操作します。
削除するには、削除するVPNをロングタッチ→[ネットワークを削除]→[OK]と操作します。

■VPNに接続する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[VPN設定]

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 ダイアログボックスが表示されたら、必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、接続中を示す通知がステータスバーに表示されます。切断すると、VPN設定画面に戻るための通知が表示され、再接続できます。詳しくは、「ステータスバーを利用する」(▶P.36)をご参照ください。

■VPNを切断する

1 通知パネル→VPN接続中を示す通知をタップ

接続中のVPNをタップすると切断されます。

モバイルネットワークを設定する

データ通信やローミングなどのネットワークを利用できるように設定します。

■データ通信を設定する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→「データ通信を有効にする」にチェックを入れる→[OK]

通信料に関するメッセージが表示されます。
お買い上げ時は「データ通信を有効にする」に設定されています。

memo

◎「データ通信を有効にする」のチェックを外すとデータ通信が無効になり、CDMA 1xWIN(国内でのEVDOマルチキャリアサービスを含む)でのパケット通信とCメールの送信ができなくなります。

◎ローミング設定については、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.178)をご参照ください。

通話関連機能の設定をする

1 設定メニュー画面→[通話設定]

2

項目	説明
留守番電話	▶P.162「お留守番サービスを利用する(標準サービス)」
転送電話	▶P.168「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」
割込通話	▶P.170「割込通話サービスを利用する(標準サービス)」
国番号表示(日本在圏時)	日本国内での電話発信時に国番号一覧を表示するかどうか設定します。
国番号表示(海外在圏時)	海外での電話発信時に国番号一覧を表示するかどうか設定します。
ノイズ抑制	通話中、通話相手が会話の内容を聞き取りやすくなります。
アカウント	インターネット通話(SIP)アカウントの設定をします。
通話方法	インターネット通話(SIP)の通話方法を設定します。

音の設定をする

1 設定メニュー画面→[音設定]

2

マナーモード	▶P.139「マナーモードを設定する」
バイブレーション	振動するタイミングを設定します。
音量	▶P.139「各種音量を調節する」
着信音	▶P.140「着信音を設定する」
通知音	メール着信などの通知音を設定します。
タッチ操作音	▶P.140「操作音を有効にする」
選択時の操作音	▶P.140「操作音を有効にする」
画面ロックの音	画面ロック時の通知音のオン／オフを設定します。
入力時バイブレーション	特定のソフトキー操作など一部の操作時に、バイブレータを振動させるかどうかを設定します。
緊急時の音	緊急通報時の動作を設定します。

マナーモードを設定する

1 設定メニュー画面→[音設定]→「マナーモード」にチェックを入れる

◎ ⓪（1秒以上長押し）→[マナーモード]と操作しても、マナーモードのオン／オフを切り替えることができます。
◎ IS11Sでは、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の音声（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。

バイブレータを設定する

1 設定メニュー画面→[音設定]→[バイブレーション]

2 [常に使用]／[なし]／[マナーモードがONの時のみ]／[マナーモードがOFFの時のみ]

各種音量を調節する

1 設定メニュー画面→[音設定]→[音量]

次の項目の音量を調節します。
- 着信音
- メディア（ミュージックプレーヤーやギャラリー、FMラジオの再生音）
- アラーム
- 通知音

2 スライダを左右にドラッグして、レベルを調節

音量を下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

3 [OK]

◎ お買い上げ時は、着信音量を調節すると通知音量も同じ音量に調節されます。着信音と通知音を個別に調節するには、設定メニュー画面→[音設定]→[音量]と操作して、「通知音にも着信音量を適用」のチェックを外します。着信音・通知音それぞれの音量調節のスライダが表示され、スライダを左右にドラッグして個別に音量を設定できます。
◎ マナーモード設定時には音量の調節はできません。

着信音を設定する

Media Go(▶P.111)から転送したり、インターネットからダウンロードした「.wav」、「.m4a」または他の形式の音声ファイルを着信音として設定できます。

1 設定メニュー画面→[音設定]→[着信音]

2 着信音を選択→[完了]

memo

◎お買い上げ時に登録されている着信音以外の着信音を設定する場合は、「ミュージックライブラリ」からも設定できます。
◎ホーム画面で のの上下を押すと、音量の調節バーが表示され、着信音量を調節することができます。
◎着信時に または を押すと、着信音を消音にすることができます。

操作音を有効にする

1 設定メニュー画面→[音設定]

2 「タッチ操作音」「選択時の操作音」にチェックを入れる

「タッチ操作音」はダイヤルパッドをタップしたときの操作音、「選択時の操作音」はメニュー項目をタップしたときの操作音です。チェックを外すと、タップしたときに操作音が鳴らないようになります。

memo

◎ソフトウェアキーボードのキー操作音の設定は、設定メニュー画面→「言語とキーボード」でソフトウェアキーボードの種類を選択してから設定します。

画面の設定をする

1 設定メニュー画面→[画面設定]

2

モバイルブラビアエンジン	ワンセグや写真、動画などを高画質で視聴することができます。
画面の明るさ	画面の明るさレベルを選択します。
画面の自動回転	画面の縦横自動回転を設定します。
アニメーション表示	ウィンドウアニメーションの表示を設定します。
画面消灯	画面バックライトが自動消灯するまでの時間を設定します。

現在地情報とセキュリティの設定をする

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]

2

無線ネットワークを使用	▶P.119「現在地検索を有効にする」
GPS機能を使用	▶P.119「GPS機能を有効にする」
画面ロックの設定	▶P.141「画面ロックを設定する」
SIMカードロック設定	IS11S使用時にPIN入力が必要になります。 ▶P.142「SIMカードロックを設定する」
パスワードを表示	パスワードの入力画面で、「･」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理者を選択	有効なデバイス管理者を追加したり、削除したりします。
安全な認証情報の使用	安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可します。※1
SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDメモリカードからインストールします。
パスワードの設定	認証情報ストレージ※2のパスワードを設定したり、変更したりします。

ストレージの消去	認証情報ストレージ※2からすべての証明書や認証情報を消去して、認証情報ストレージのパスワードをリセットします。

※1 あらかじめ認証情報ストレージのパスワードを設定しておいてください。
※2 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。

画面ロックを設定する

IS11Sの電源を入れたり、画面のバックライトが消灯している状態から復帰するたびに画面ロックがかかるように設定しデータを保護します。画面ロックの設定には、「パターン」、「PIN」、「パスワード」の3種類があります。

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[画面ロックの設定]

2 [パターン]／[PIN]／[パスワード]

「パターン」をタップした場合は、画面の指示に従って、ロック解除パターンを入力します。パターンを忘れた場合の秘密の質問および答えを設定してください。
「PIN」をタップした場合は、画面の指示に従って、4つ以上の数字を入力します。
「パスワード」をタップした場合は、画面の指示に従って、アルファベットを含む4つ以上の文字を入力します。

■画面ロックの解除方法を変更する

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[画面ロックの変更]

2 現在のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力

ロック解除パターンの入力を5回続けて失敗した場合は、30秒待ってから再試行してください。

3 新しく変更する項目を選択

設定方法は「画面ロックを設定する」(▶P.141)をご参照ください。

■画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定(▶P.141)した後に、Ⓞを押す、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、キーロックと画面ロックがかかります。

■画面ロックを解除する

1 Ⓞ／⌂を押して、バックライトを点灯

2 キーロックを解除

画面ロック解除画面が表示されます。

3 現在のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力

ロック解除パターンの入力を5回続けて失敗した場合は、30秒待ってから再試行してください。

memo

◎画面ロック解除画面→[緊急通報]と操作すると、緊急通報ができます。

■ロック解除パターンを忘れた場合

画面ロック解除パターンを5回続けて間違えると、「パターンが違います」と表示されます。「やり直す」をタップして30秒後に再試行できます。「パターン」を設定している場合は、「次へ」をタップし「質問に回答」／「Googleアカウント情報を入力」のどちらかを選択します。
「質問に回答」を選択した場合、画面ロック解除パターン作成時に設定した「秘密の質問」に答えると画面ロックを解除できます。また、「Googleアカウント情報を入力」を選択した場合、Googleアカウントのユーザー名、パスワードを入力して画面ロックを解除できます。
「やり直す」を選択した場合、画面ロック解除パターンの入力画面に戻ります。画面右下に表示される「パターンを忘れた場合」をタップすると、「次へ」をタップした後の設定画面が表示されます。

memo

◎Googleアカウントは複数のアカウントを設定できますので、Googleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除するには、そのいずれかのアカウントを入力して解除できます。
◎「PIN」／「パスワード」を設定している場合には、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■画面ロックがかからないようにする

一度設定した画面ロックをかからない設定に戻します。

1 **設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[画面ロックの変更]**

あらかじめ設定しておいたロック解除パターン、PIN、またはパスワードを入力します。

2 **[なし]**

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPIN（暗証番号）を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」（▶P.21）をご参照ください。

1 **設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[SIMカードロック設定]→[SIMカードをロック]**

2 **SIMカードのPINコードを入力→[OK]**

■電源を入れたときにPINコードを入力する

1 **PINコードの入力画面で、PINコードを入力→[OK]**

■PINコードを変更する

SIMカードのPINが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 **設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[SIMカードロック設定]→[SIM PINの変更]**

2 **PINコードを入力→[OK]**

3 **新しいPINコードを入力→[OK]**

4 **もう一度新しいPINコードを入力→[OK]**

アプリケーションの設定をする

1 **設定メニュー画面→[アプリケーション]**

2

提供元不明のアプリ	▶P.143「提供元不明のアプリケーションのダウンロード」
アプリケーションの管理	ダウンロードされたアプリケーションの管理や削除、メモリの使用状況などを表示します。
実行中のサービス	現在実行中のサービスを表示／管理します。
ストレージ使用状況	すべてのアプリケーションの容量や使用状況などを表示します。
電池使用量	電池を使用している操作を表示します。
開発	▶P.144「アプリケーション開発時の設定をする」

アプリケーションを管理する

インストールされたアプリケーションを表示したり、設定を調整したりできます。多くのアプリケーションにインストールを補助するウィザードが付属しています。

■ 提供元不明のアプリケーションのダウンロード

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。
ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いのIS11Sと個人データを保護するため、Androidマーケットなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 設定メニュー画面→[アプリケーション]→「提供元不明のアプリ」にチェックを入れる

2 表示される注意文を確認→[OK]

■ ダウンロードしたアプリケーションを表示する

1 ホーム画面で[ブラウザ]→ ≡ →[その他]→[ダウンロード履歴]

memo

◎ Androidマーケットからダウンロードしたアプリケーションは表示されません。

■ アプリケーションを強制停止する

1 アプリケーションが応答しないというポップアップウィンドウが表示されたとき→[強制停止]

memo

◎ アプリケーションを強制停止したくないときには、「キャンセル」をタップしてアプリケーションの応答を待ってください。

■ インストールされたアプリケーションを削除する

インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
アプリケーションによっては削除できないものもあります。

1 設定メニュー画面→[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]

2 削除するアプリケーションをタップ

3 [アンインストール]

4 [OK]

memo

◎ Androidマーケットからダウンロード、インストールしたアプリケーションはすべてアンインストールすることができます。
◎ アプリケーション内に保存されているデータを消去する場合は、設定メニュー画面→[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]→データを消去するアプリケーションをタップ→[データを消去]→[OK]と操作します。
◎ アプリケーションのキャッシュを消去する場合は、設定メニュー画面→[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]→キャッシュを消去するアプリケーションをタップ→[キャッシュを消去]と操作します。

アプリケーション開発時の設定をする

アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

■USBデバッグモードの設定をする

1 設定メニュー画面→[アプリケーション]→[開発]

2 「USBデバッグ」にチェックを入れる→[OK]

USB接続時に、デバッグモードになります。

memo

◎開発機能についてご不明な点がある場合は、下記のホームページをご参照ください。
http://developer.android.com/

アカウントと同期の設定をする

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]

2

バックグラウンドデータ	▶P.144「自動同期を設定する」
自動同期	▶P.144「自動同期を設定する」
アカウントを管理	アカウントを設定したオンラインサービスが表示されます。

自動同期を設定する

IS11SとGoogleサービスのGmail、カレンダー、連絡先など、オンラインサービス上の情報を同期することができます。IS11Sおよびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

- 同期するには、IS11SでGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、またはバックグラウンドデータを使用することで自動同期するように設定できます。

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]

2 「バックグラウンドデータ」にチェックを入れる

3 「自動同期」にチェックを入れる

4 同期するアカウントを選択

5 自動同期する項目にチェックを入れる

memo

◎「バックグラウンドデータ」にチェックを入れると、IS11Sにインストールされているすべてのアプリケーションおよびアカウントを設定したオンラインサービスとの間で自動的にデータ通信を行うことを許可します。また「自動同期」にチェックを入れると、GoogleアカウントでのGmail、カレンダー、連絡先などのデータ、およびオンラインサービスで設定した「友人」などが公開しているプロフィールの情報を自動的に同期することを許可します。これらの通信は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。

■手動で同期する

「自動同期」がオフのとき、登録されたアカウントを同期します。

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]

2 同期するアカウントを選択

3 同期する項目を選択

■同期を中止する

1 同期中(ステータスバーに が表示中)に ≡

2 [同期をキャンセル]

アカウントを追加／削除する

■Facebookアカウントを設定する

Facebookアカウントの登録･ログインを行うと、ソーシャルネットワークサービス（SNS）上の「友達」が公開しているプロフィール情報を連絡先に同期（登録･更新）させることができます。また、「友達」がFacebookにアップしている画像をギャラリーや連絡先の「写真」フィルターに表示したり、「いいね！」に登録した情報を連絡先の「趣味と関心」フィルターに表示したり、Timescapeにも「友達」の更新情報が表示できるようになります。

1 **設定メニュー画面→［アカウントと同期］→［アカウントを追加］**

2 **［Facebook］**
エンドユーザーライセンス契約画面が表示されます。

3 **［同意します］**
ログイン画面が表示されます。

4 **アカウント情報を入力→［ログイン］**
Facebookアカウントをお持ちでない場合は、画面の指示に従ってアカウント登録を行ってください。

5 **［すべて同期］／［既存の連絡先と同期］／［同期しない］**

6 **［次へ］→［完了］**
「自動同期」がオフの場合は、「手動で同期する」（▶P.144）をご参照ください。

memo

◎ Facebookアカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.facebook.comのウェブサイトからもアカウントを新規作成することができます。

◎ Twitter、mixiのクライアントアプリをダウンロード･インストールすると、Facebook同様にアカウントの設定や連絡先情報の同期ができます。

■Facebookのアカウントを設定している場合

Facebookのアカウントを設定している場合は、アカウントを管理の画面に2つのFacebookのアイコンと設定したメールアドレスが表示されます。Facebookアイコンの［f］（Sony Ericsson端末用Facebook）→各項目にチェックを入れると、それぞれのデータを同期／表示できます。

カレンダーを同期	Facebookに登録されている友達の誕生日などのイベントをIS11Sのカレンダーに同期します。
ギャラリー内のアルバムを同期	Facebookにアップしている画像をIS11Sの連絡先やギャラリーのアルバムに表示します。
連絡先を同期	Facebookに登録されている友達のプロフィールをIS11Sの電話帳に同期します。

■その他のアカウントを追加する

1 **設定メニュー画面→［アカウントと同期］→［アカウントを追加］**

2 **追加するアカウントを選択**

3 **画面の指示に従って操作**

■アカウントを削除する

1 **設定メニュー画面→［アカウントと同期］→削除するアカウントを選択→［アカウントを削除］**

2 **［アカウントを削除］**

memo

◎他のアプリケーションで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」が必要です。

プライバシーの設定をする

1 設定メニュー画面→[プライバシー]

2

データの初期化	▶P.146「IS11Sを初期化する」

IS11Sを初期化する

IS11Sをリセットすると、ダウンロードしたアプリケーションを含むすべてのデータ、およびGoogleアカウントが削除され、IS11Sは初期状態(お買い上げ時の状態)に戻ります。必ずIS11Sの重要なデータをバックアップしてから、リセットしてください。

1 設定メニュー画面→[プライバシー]→[データの初期化]→[携帯電話をリセット]

必要に応じて画面のロック解除パターンを入力します。
microSDメモリカードに保存したデータも削除する場合は、「SDカード内データを消去」にチェックを入れてください。

2 [すべて消去]

「すべて消去」をタップするとIS11Sは自動的に再起動します。
IS11Sの再起動またはリセット中は、そのままお待ちください。再起動またはリセット中に電池パックを取り外すと、IS11Sが故障するおそれがあります。

memo

◎データの初期化は、充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。

◎おサイフケータイ®のロックパターンとFeliCa™のバリューは、IS11Sを初期化しても削除されません。

ストレージに関する設定をする

1 設定メニュー画面→[ストレージ]

2

合計容量	microSDメモリカードの容量を確認します。
空き容量	microSDメモリカードの空き容量を確認します。
SDカードのマウント解除※1	microSDメモリカードの認識を解除して、microSDメモリカードの安全な取り外しを設定します。
SDカードをマウント※1	microSDメモリカードを認識します。
SDカード内データを消去	▶P.146「microSDメモリカードをフォーマットする」
空き容量	IS11Sのメモリ(内部ストレージ)の空き容量を確認します。

※1 microSDメモリカードの認識状態によって表示が変わります。

メモリを管理する

■microSDメモリカードをフォーマットする

フォーマットを行うと、microSDメモリカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 設定メニュー画面→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]

2 [SDカード内データを消去]

3 [SDカード内データを消去]→[すべて消去]

■microSDメモリカードまたは端末内部の空き容量を確認する

1 設定メニュー画面→[ストレージ]

画面上部にmicroSDメモリカードの合計容量と空き容量、画面下部に端末内部メモリの空き容量が表示されます。

■microSDメモリカードまたは端末内部の空き容量を増やす

端末内部メモリの空き容量が少ない場合、次の操作を行うことができます。

- ブラウザで、すべての一時インターネットファイルとブラウザ履歴情報をクリアします。詳細については、「履歴を削除する」(▶P.84)をご参照ください。
- Android マーケットからダウンロードしたアプリケーションをアンインストールします。詳細については、「インストールされたアプリケーションを削除する」(▶P.143)をご参照ください。

言語とキーボードに関する設定をする

1 設定メニュー画面→[言語とキーボード]

2

項目	説明
地域／言語を選択	▶P.147「言語の表示を切り替える」
単語リスト	単語を登録します。
スタンダードキーボード	▶P.53「文字入力の設定をする」
POBox Touch	▶P.54「POBox Touchを設定する」
Chinese keyboard	▶P.53「文字入力の設定をする」

言語の表示を切り替える

1 設定メニュー画面→[言語とキーボード]→[地域／言語を選択]

2 地域／言語を選択

memo

◎間違った地域／言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、http://www.sonyericsson.co.jp/is11s/faq.htmlのヘルプをご参照ください。

音声入出力に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[音声入出力]

2

区分	項目	説明
音声認識の設定	言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
	セーフサーチ	アダルトフィルタを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示するかどうかを設定します。
テキスト読み上げの設定	サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。
	常に自分の設定を使用	アプリケーションの設定を、「規定のエンジン」、「音声データをインストール」、「音声の速度」、「言語」、「Pico TTS」で設定した内容で上書きします。
	既定のエンジン	テキストを読み上げるための音声合成エンジンを設定します。お買い上げ時には「Pico TTS」が設定されています。

テキスト読み上げの設定	音声データをインストール	音声合成に必要な音声データをインストールします。音声データがインストールされていない場合はAndroidマーケットに接続し、音声データを検索します。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	言語	テキストの読み上げに使用する言語固有の音声を設定します。
	Pico TTS	インストールされている音声合成エンジンについて設定します。

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2

ユーザー補助	ユーザー補助サービスのオン/オフを設定します。
電源ボタンで通話を終了	ⓟを押すことで、通話の終了ができるように設定します。

memo

◎お買い上げ時はユーザー補助アプリケーションがインストールされておりません。初めて使用するときは、表示される画面に従ってAndroidマーケットからIS11Sのスクリーンリーダーをインストールしてください。

◎Androidマーケットの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.31)をご参照ください。

日付と時刻の設定をする

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]

2

自動	ネットワーク上の日付·時刻情報を使って、自動的に補正します。
日付設定	▶P.148「日付を設定する」
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選択します。
時刻設定	▶P.149「時刻を設定する」
24時間表示	チェックを入れると24時間表示、チェックを外すと12時間表示となります。
日付形式	日付の表示形式を選択します。

memo

◎「自動」にチェックが入っているとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「自動」に設定されています。

◎24時間表示を12時間表示にする場合は、設定メニュー画面→[日付と時刻]と操作して、「24時間表示」のチェックを外します。

◎日付、タイムゾーン、時刻の手動設定は、GSMローミング中のみ行うことができます。その場合、あらかじめ「自動」のチェックを外してネットワーク自動設定を解除する必要があります。

◎海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。GSMローミング中の場合は、設定メニュー画面→[日付と時刻]→[タイムゾーンの選択]→設定する項目をタップして、タイムゾーンを設定することができます。

日付を設定する

日付の手動設定は、GSMローミング中のみ行うことができます。

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]→[日付設定]

2 「＋」または「－」をタップして日付を合わせる

3 [設定]

時刻を設定する

時刻の手動設定は、GSMローミング中のみ行うことができます。

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]→[時刻設定]

2 「＋」または「－」をタップして時間と分を合わせる

「24時間表示」のチェックを外している場合は、午前･午後を切り替えることができます。「午前」をタップすると「午後」に変わります（その逆も同じ）。

3 [設定]

端末情報に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[端末情報]

2

ソフトウェア更新	今すぐ更新	▶P.189「ソフトウェアをダウンロードして更新する」
	自動検索	▶P.189「最新のソフトウェア更新を自動検索する」
	ネットワーク	▶P.189「ソフトウェアをダウンロードして更新する」
端末の状態		自分の電話番号や電波の状態、電池残量などを確認できます。
電池使用量		電池を使用している操作が表示されます。
法的情報		使用許諾条件や利用規約などを確認できます。
モデル番号		バージョンや各番号を確認できます。
Androidバージョン		
ベースバンドバージョン		
カーネルバージョン		
ビルド番号		

Wi-Fi／データ通信

Wi-Fiを利用する

家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

memo

◎ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機（Wi-Fiネットワーク）をご用意ください。
◎外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fiネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fiを起動する

Wi-Fiを使用するには、Wi-Fiをオンにしてから利用可能なWi-Fiネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面で≡→［設定］→［無線とネットワーク］→「Wi-Fi」にチェックを入れる

Wi-Fiが起動し利用可能なWi-Fiネットワークがスキャンされます。
※Wi-Fi接続がオンになるまで、数秒かかる場合があります。

memo

◎Wi-Fiがオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。
◎Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的に3Gネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
◎Wi-Fiを使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fiネットワークの電波強度は、お使いのIS11Sの位置によって異なります。Wi-Fiルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で≡→［設定］→［無線とネットワーク］→［Wi-Fi設定］

Wi-Fi設定画面が表示されます。
利用可能なWi-Fiネットワークが「Wi-Fiネットワーク」の下に表示されます。
利用可能なネットワークは、オープンネットワークまたはセキュリティで保護されたネットワークである場合があります。これは、Wi-Fiネットワーク名の横にあるまたはによって示されます。

2 接続するWi-Fiネットワークを選択→[接続]

セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続しようとすると、接続する前にそのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。
接続が完了すると、ステータスバーにが表示されます。

memo

◎Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fiネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
◎お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。
◎次回接続時には、本体にセキュリティキーが記憶されています。

■ステータスバーに表示されるWi-Fiネットワーク状態表示アイコン

Wi-Fiネットワークの接続状態によって、ステータスバーに次のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	Wi-Fiネットワークに接続すると表示されます。
	AutoIP機能を使ってWi-Fiネットワークに接続すると表示されます。
	オープンネットワークを検出すると表示されます。※1

※1 Wi-Fiネットワークに接続していない状態で、あらかじめWi-Fiネットワークの通知をオンにしておく必要があります。(▶P.152)

ネットワーク通知を設定する

Wi-Fiのネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。

1 Wi-Fi設定画面→「ネットワークの通知」にチェックを入れる

ネットワーク通知が設定されます。

Wi-Fiネットワークを手動でスキャンする

1 Wi-Fi設定画面→[≡]

2 [スキャン]

Wi-Fiネットワークのスキャンが開始され、Wi-Fiネットワークが「Wi-Fiネットワーク」の下に表示されるようになります。

3 一覧にあるWi-Fiネットワークをタップ

ネットワークに接続します。

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fiネットワークを追加]

2 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力

3 セキュリティタイプを選択

必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [保存]

memo

◎手動でWi-Fiネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。
◎Wi-Fi設定画面→Wi-Fiネットワークをロングタッチ→[ネットワークを変更]と操作すると、パスワードを編集できます。

Wi-Fiを切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fiネットワークを選択

2 [切断]

memo

◎Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fiネットワークをロングタッチ→[ネットワークから切断]と操作しても、Wi-Fi接続を切断できます。
◎切断すると、再接続のときにセキュリティキーの入力が必要になる場合があります。

Wi-Fiのスリープ設定をする

Wi-Fiのスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

1 Wi-Fi設定画面→[≡]→[詳細設定]→[Wi-Fiのスリープ設定]

2 Wi-Fiのスリープ設定を選択

「画面がOFFになったとき」/「電源接続時はスリープにしない」/「スリープにしない」のいずれかをタップします。

静的IPを使用して接続する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面→[≡]→[詳細設定]→「静的IPを使用する」にチェックを入れる

IP設定の項目が選択できるようになります。

2 項目を選択→必要な情報を入力

静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS1」の入力が必要です。

3 [≡]→[保存]

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。障害物のない10メートル以内の範囲での使用を推奨します。Bluetooth®デバイスと通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。IS11SとBluetooth®デバイスのペア設定を行う必要がある場合もあります。

Bluetooth®

※「Bluetooth」はBluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ソニー・エリクソンはライセンスに基づいて使用しています。

Bluetooth®機能でできること

■オーディオ出力

ワイヤレスで音楽などを聴くことができます。

■ハンズフリー通話

Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器とBluetooth®接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■データ送受信

連絡先、カメラで撮影したデータ、ギャラリーで表示中のデータなどをBluetooth®対応機器と送受信できます。

memo

◎IS11SはすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
◎Bluetooth® DUNには対応しておりません。IS11Sをモデムとしてパソコンからダイアルアップ接続することはできませんのでご注意ください。

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎ microUSBケーブルなどが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器の新規登録中(ペア設定中)」、「データ送受信中」、「登録機器一覧からの検索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。
オーディオ機器とIS11Sの間に障害物(身体、金属、壁など)があると電波が届きにくくなり、音楽などの再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器とIS11Sの間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合、を右方向にドラッグすると通話することができます。Bluetooth®で検索、データ通信中の場合はBluetooth®通信が終了します。
- アラームが設定した時刻と重なった場合は、アラーム画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®対応機器または無線LAN対応機器を10m以上離してください。10m以内で使用する場合は、Bluetooth®対応機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能の取り扱いについて

- IS11SのBluetooth®機能は日本国内およびFCC/IC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。
  海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

主な仕様

通信方式	Bluetooth®標準規格Ver.2.1＋EDR準拠
出力	Bluetooth®標準規格Power Class1
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内
対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) PBAP(Phone Book Access Profile)※3 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio／Video Remote Control Profile) Ver.1.0 SPP(Serial Port Profile) OPP(Object Push Profile)
使用周波数帯	2.4GHz帯(2,400MHz〜2,483.5MHz)

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3 連絡先データの内容によっては、相手の機器で正しく表示されない場合があります。

周波数帯について

au電話のBluetooth®機能は、2.4GHz帯の2,400MHz～2,483.5MHzまでの周波数を利用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

2.4FH1/DS4/OF4

2.4：2,400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■■：2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

Bluetooth®ご使用上の注意

IS11SのBluetooth®機能の使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS11Sを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS11Sと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS11Sの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

Bluetooth®機能の関連用語について

用語	説明
機器アドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス（12桁の英数字）です。 パスキー入力を行って接続した通信相手に機器情報として送信されます。機器アドレスは、変更することができません。
HSP （Headset Profile）	ヘッドセット機器を使用した通話のためのプロファイルです。
HFP （Hands-Free Profile）	カーナビ、ハンズフリー機器などを使用したハンズフリー通話のためのプロファイルです。
PBAP （Phone Book Access Profile）	連絡先データを転送するためのプロファイルです。
A2DP （Advanced Audio Distribution Profile）	オーディオ出力対応アプリの音を転送するためのプロファイルです。
AVRCP （Audio／Video Remote Control Profile）	オーディオ機器をリモート制御するためのプロファイルです。
SPP （Serial Port Profile）	仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続するためのプロファイルです。
OPP （Object Push Profile）	カーナビ、パソコンなどと連絡先データなどを送受信するためのプロファイルです。
認証パスワード	接続する機器からOBEX認証の要求があった場合に入力するパスワードです。 IS11Sでは、4桁の数字を入力できます。
パスキー	▶P.158「パスキーについて」

用語	説明
オーディオ出力対応アプリ	オーディオ機器に音を出力できるアプリです。IS11Sでは、ミュージックプレーヤーのことを指します。
オーディオ出力機器	A2DPに対応したBluetooth®機器です。IS11Sでは、SCMS-T方式で著作権保護されている機器のみ利用できます。

Bluetooth®を起動する

IS11SでBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 ホーム画面で［≡］→［設定］→［無線とネットワーク］→「Bluetooth」にチェックを入れる

Bluetooth®機能がオンになり、ステータスバーに（接続待機中のアイコン）が表示されます。

2 ［Bluetooth設定］→「検出可能」にチェックを入れる

IS11Sが、他のBluetooth®デバイスから120秒間検出可能になります。

memo

◎ 初期設定では、Bluetooth®機能はオフです。オンにしてIS11Sの電源を切ると、Bluetooth®機能もオフになります。電源を再度入れると、Bluetooth®機能は自動的にオンになります。
◎ Bluetooth®をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また飛行機の中や病院など、無線機器の使用が禁止されている場所では、Bluetooth®機能をオフにしてください。

◎ オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、ハンズフリー通話中はオーディオ出力の音声が自動的に流れなくなります。

■ Bluetooth®の起動状態を示すアイコンについて

アイコン	説明
	Bluetooth®オン（接続待機中）
	Bluetooth®接続中
	Bluetooth®接続要求通知あり

■ Bluetooth®機器からの接続要求に応答するには

Bluetooth®をオンにしているときに、Bluetooth®機器からの接続要求があると、ステータスバーに「Bluetoothペア設定リクエスト」のメッセージおよび通知アイコンが表示され、タップするとパスキーを入力する画面が表示されます。
パスキーを入力する画面ではなく、登録機器一覧など、ポップアップによる通知が表示される場合もあります。また、Bluetooth®機器によってはパスキー入力が不要な場合もあります。

■ ハンズフリー通話について

Bluetooth®をオンにした状態で、ハンズフリー機器（最後に接続した機器または優先接続先設定で設定した機器）やヘッドセット機器から接続要求があると自動的に接続します。

memo

◎ ハンズフリー通話で利用するプロファイルは「HSP」／「HFP」です。
◎ ハンズフリー対応機器によっては、ハンズフリー通話中に［◁ ▷］を押すと、ハンズフリー対応機器の受話音量（相手の声の大きさ）を調節できます。
◎ ハンズフリー通話中に、切断されたBluetooth®接続を復旧している状態になると、通話が終了してしまうことがあります。

Bluetooth®機器とペア設定する

IS11SからBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器をペアに設定します。

1 ホーム画面で［≡］→［設定］→［無線とネットワーク］→［Bluetooth設定］

Bluetooth設定画面が表示されます。

2 ［端末のスキャン］

検出されたBluetooth®デバイス名が、一覧表示されます。

3 ペア設定を行うBluetooth®デバイス名を選択

4 画面の指示に従って操作し、Bluetooth®機器を認証

パスキー入力画面が表示されたときは、IS11SとBluetooth®機器で同じパスキー(4～16桁の数字)を入力します。認証に成功すると、Bluetooth®デバイスを使用できます。
ペア設定と接続の状態は、Bluetooth®デバイスリストのBluetooth®デバイス名の下に表示されます。
Bluetooth®デバイスによっては、ペア設定完了後、続けて接続まで行うデバイスがあります。

◎Bluetooth®機器と接続中は、「端末のスキャン」を実行できません。
◎ペア設定を行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
◎セキュアシンプルペアリング(SSP)機能に対応したBluetooth®デバイスとペア設定を行う場合は、画面にパスキーが表示されます。表示されたパスキーが正しいことを確認した後、ペア設定します。
◎接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、「端末のスキャン」をタップして、機器を再検索します。
◎Bluetooth®デバイスリストでBluetooth®デバイスをロングタッチすると、メニューに「ペアに設定して接続」が表示されます。

■パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、IS11SおよびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。IS11Sでは、4～16桁の数字を入力できます。

◎パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
◎接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

■ペア設定について

一度IS11SとBluetooth®デバイスのペア設定を行うと、ペア設定情報は記憶されます。IS11Sと他のBluetooth®デバイスのペア設定を行うときに、パスコード(PIN)の入力を必要とする場合があります。IS11Sは、自動的にパスコード「0000」を試行します。この試行でうまくいかない場合は、Bluetooth®デバイスの取扱説明書をご参照ください。ペア設定を行ったBluetooth®デバイスに次回接続するときは、パスコードを再入力する必要はありません。
2つのBluetooth®ヘッドセットとペア設定するという使い方はできませんが、同じBluetooth®プロファイルを使用していない状態で、複数のBluetooth®デバイスとペア設定を行うことはできます。IS11Sでは、A2DP、AVRCP、HSP、HFP、OPP、PBAPおよびSPPのBluetooth®プロファイルがサポートされています。

他のBluetooth®デバイスと接続する

1 Bluetooth設定画面→Bluetooth®デバイスリストで、接続するBluetooth®デバイス名をロングタッチ

デバイス名の下に「この端末をペアに設定する」と表示されているデバイスをロングタッチします。

2 ［ペアに設定して接続］

ペア設定が完了すると、デバイスの種類によりデバイス名の下に「ペア設定、非接続」／「携帯電話の音声に接続」／「メディアの音声に接続」／「携帯電話とメディアの音声に接続」と表示されます。デバイスと接続中は、ステータスバーにが表示されます。

Bluetooth®デバイスの接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→Bluetooth®デバイスリストで、接続中のBluetooth®デバイス名をロングタッチ

デバイス名の下に「携帯電話の音声に接続」／「メディアの音声に接続」／「携帯電話とメディアの音声に接続」と表示されているデバイスが、IS11Sとペア設定され接続状態です。

2 ［接続を解除］

デバイス名をタップして接続解除の確認画面で［OK］と操作しても、接続を解除できます。いずれもペア設定された状態のままで、デバイス名の下の表示が「ペア設定、非接続」に変わります。再接続するときは、デバイス名をタップします。

Bluetooth®デバイスのペア設定を解除する

1 Bluetooth設定画面→Bluetooth®デバイスリストで、接続中のBluetooth®デバイス名をロングタッチ

2 ［切断してペアを解除］

接続が切断され、ペア設定も解除されます。
Bluetooth®デバイスとペア設定のみの状態（非接続）の場合は、「ペアを解除」と表示されます。

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	Cメール	P.68
	お留守番サービス(ボイスメール含む)	P.162
	着信転送サービス	P.168
	割込通話サービス	P.170
	発信番号表示サービス	P.172
	番号通知リクエストサービス	P.172
有料オプションサービス※	三者通話サービス	P.171

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要です。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

お留守番サービスを利用する(標準サービス)

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.137)を設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスをご利用になる前に

- IS11Sご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス(▶P.168)は同時に開始できません。
- お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.172)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.164)の合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定(録音/確認/変更)、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、伝言お知らせの選択/変更、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 **ホーム画面で[電話]→[1][4][1]→[発信]**

2 **ガイダンスに従って操作**

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する場合(留守番開始1)

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始1]→[発信]**

ホーム画面で[電話]→「1411」→[発信]と操作しても開始できます。

2 **[通話終了]**

■ 通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない場合(留守番開始2)

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始2]→[発信]**

ホーム画面で[電話]→「1413」→[発信]と操作しても開始できます。

2 **[通話終了]**

■お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、IS11Sの状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合
- 通話中にかかってきた場合(「留守番開始1」で開始した場合のみ)

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

お留守番サービスを停止する

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番停止]→[発信]**

ホーム画面で[電話]→「1410」→[発信]と操作しても停止できます。

2 **[通話終了]**

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。

◎お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音/確認/変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、IS11Sのお客様が設定された応答メッセージで応答します。(▶P.165「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)

電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに（スキップして）手順2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

「1」：録音した伝言を再生して、内容を確認する

「2」：録音した伝言を「至急扱い」にする

「9」：録音した伝言を消去して、取り消す

「＊」：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。

◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][6][1][2]＋相手の方のau電話番号を入力→[発信]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。

伝言お知らせは、Cメールで確認できます。

伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。

memo

◎「発番情報あり」に設定されていて、同じ電話番号から複数の伝言・ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言・ボイスメールのみについてお知らせします。

◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は次の通りです。

発番情報なし：1件

発番情報あり：20件

◎伝言・ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。

◎ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内(▶P.163)で伝言お知らせ（伝言蓄積通知）を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。

◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信お知らせについて

お留守番サービスセンターに着信があったことを通知音と文字でお知らせします。
着信お知らせは、Cメールで確認できます。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.163)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面で[電話]→「1」を1秒以上長押し

海外でお使いの場合は、ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→「国番号表示(海外在圏時)」にチェックを入れ、手順1の後に表示される国番号一覧で国名をタップしてください。

2 ガイダンスに従ってキー操作

「1」: 同じ伝言をもう一度聞く
「2」: 伝言を保存
「4」: 5秒間巻き戻して聞き直す
「5」: 伝言を一時停止(20秒間)※1
「6」: 5秒間早送りして聞く
「9」: 伝言を消去
「0」: 伝言再生中の操作方法を聞く
「#」: 次の伝言を聞く
「*」: 前の伝言を聞く

※1「通話終了」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [通話終了]

memo

◎ホーム画面で[電話]→「1417」→[発信]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.164)も同じものとして扱われます。
◎伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音/確認/変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認/変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[応答内容変更]→[発信]

ホーム画面で[電話]→「1414」→[発信]と操作しても変更できます。

■すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

2 [1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話終了]

■名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（名前指定メッセージ）

2 [2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[通話終了]

■設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 [3]→応答メッセージを確認→[通話終了]

■蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合（不在通知）

2 [7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話終了]

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージの設定に続いて、スキップができないように設定することができます。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「2」をタップすると録音したメッセージを取り消すことができます。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
詳しくは「応答メッセージの録音／確認／変更をする」（▶P.165）をご参照ください。

1 ホーム画面で[電話]→[1][6][1][0]→[発信]

2 ガイダンスを確認→[通話終了]

memo

◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積停止を解除する

1 ホーム画面で[電話]→[1][6][1][1]→[発信]

2 ガイダンスを確認→[通話終了]

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のIS11S以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言·ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言·ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のIS11Sの電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.21）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][9][1]→[発信]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。
ホーム画面で →[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[英語ガイダンス]→[発信]と操作しても切り替えることができます。

2 [通話終了]

memo

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][9][0]→[発信]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。
ホーム画面で →[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[日本語ガイダンス]→[発信]と操作しても切り替えることができます。

2 [通話終了]

memo

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送の3つから選択できます。

memo

◎緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎着信転送サービスとお留守番サービス（▶P.162）を同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.172）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎無応答転送、話中転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送　②無応答転送
◎無応答転送、話中転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からIS11Sまでの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
IS11Sから転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホーム画面で［≡］→［設定］→［通話設定］→［転送電話］→［無応答転送］→［発信］→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

ホーム画面で［電話］→「1422＋転送先電話番号」→［発信］と操作しても転送できます。

2 ［通話終了］

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で［電話］→「14212」→［発信］と操作して設定できます。
◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間（約20秒間）は、電話に出ることができます。
◎GSMローミング中は、電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときのみ転送されます。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 ホーム画面で［≡］→［設定］→［通話設定］→［転送電話］→［話中転送］→［発信］→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

ホーム画面で［電話］→「1423＋転送先電話番号」→［発信］と操作しても転送できます。

2 ［通話終了］

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[電話]→「14213」→[発信]と操作して設定できます。
◎話中転送と割込通話サービス(▶P.170)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
◎GSMローミング中は、話中転送はご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[フル転送]→[発信]→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

ホーム画面で[電話]→「1424＋転送先電話番号」→[発信]と操作しても転送できます。

2 [通話終了]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[電話]→「14214」→[発信]と操作して設定できます。
◎フル転送を設定している場合は、お客様のIS11Sは呼び出されません。

海外の電話へ転送する

001国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例:アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[無応答転送]/[話中転送]/[フル転送]→[発信]

ホーム画面で[電話]→「1422」/「1423」/「1424」→[発信]と操作しても転送できます。

2 音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

転送先電話番号を001国際アクセスコードから入力します。

3 [通話終了]

memo

◎001国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用になれますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する(転送停止)

着信転送サービスを停止します。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[転送停止]→[発信]

ホーム画面で[電話]→「1420」→[発信]と操作しても停止できます。

2 [通話終了]

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様のIS11S以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送)、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423

サービス内容	番号
フル転送開始	1424
転送停止	1420

2 ご利用のIS11Sの電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.21)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する(標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎GSMローミング中はご利用になれません。また、CDMAローミング中でも、ネットワーク事業者によっては、ご利用になれない場合があります。
◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用になれます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始／停止)に設定し直してください。
◎ブラウザをご利用の際(特に有料データをダウンロード中)などに、割込通話を受けたくない場合は、割込通話サービスを停止後にご利用ください。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][5][1]→[発信]

ホーム画面で ≡ →[設定]→[通話設定]→[割込通話]→[割込通話開始]→[発信]と操作しても開始できます。

2 [通話終了]

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.172)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][5][0]→[発信]

ホーム画面で ≡ →[設定]→[通話設定]→[割込通話]→[割込通話停止]→[発信]と操作しても停止できます。

2 [通話終了]

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 [応答]

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「切替」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
「すべて通話終了」をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎割込通話時の着信も通話履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][5][2]＋相手先電話番号を入力→[発信]

memo

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力

通話中に連絡先や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [通話]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、「切替」を2回タップするとAさんとの通話に戻ります。

4 [切替]

3人で通話できます。
「切替」をタップすると、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。
「すべて通話終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎GSMローミング中はご利用になれません。また、CDMAローミング中でも、ネットワーク事業者によっては、ご利用になれない場合があります。
◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。

◎ 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様のIS11Sのディスプレイに表示されるサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎ 発信者番号（IS11Sの電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号がIS11Sのディスプレイ（メインエリア）に表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイ（メインエリア）に表示されます。

表示	説明
「番号非通知」（Number withheld）	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」（Payphone）	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」（Not Support）	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎ お留守番サービス（▶P.162）、着信転送サービス（▶P.168）、割込通話サービス（▶P.170）、三者通話サービス（▶P.171）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 **ホーム画面で[電話]→[1][4][8][1]→[発信]**

2 **[通話終了]**

memo

◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。

◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。

- 公衆電話、国際電話
- Cメール
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 **ホーム画面で[電話]→[1][4][8][0]→[発信]**

2 **[通話終了]**

海外利用

グローバルパスポート

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用のIS11Sをそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。IS11Sは渡航先に合わせてGSMネットワークとCDMAネットワークのどちらでもご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、世界のGSMネットワークとCDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートGSM／グローバルパスポートCDMAのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

◎GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略です。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。

◎国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ご利用イメージ

1 国内では、auのネットワークでご利用になれます。

2 IS11Sの「エリア設定」(▶P.178)を行います。

3 世界のGSM／CDMAネットワークでいつもの番号で話せます。

4 帰国したら「エリア設定」(▶P.178)を「日本」へ戻します。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSM／グローバルパスポートCDMAをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.178)、「エリアを設定する」(▶P.178)に従い、各種設定を行ってください。
新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■IS11Sを盗難・紛失したら

- 海外旅行の際はauホームページに記載されている「海外からのお問い合わせ番号」をご確認いただき、渡航前にお控えください。IS11Sもしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、速やかにお問い合わせ先までご連絡いただき、通話停止の手続きをお取りください。
- au ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては「SIMカードロックを設定する」(▶P.142)をご参照ください。

■海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料・パケット通信料は、国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外でご利用できるサービス

IS11Sは、「グローバルパスポートGSM」「グローバルパスポートCDMA」に対応していますので、特別な手続きなしで海外の対応エリアでそのままご利用になれます。ただし、一部の機能についてはご利用になれません。また、海外でのご利用は国内パケット通信料定額サービスの対象外となるため、通信料が高額となる可能性があります。海外で利用できる通信サービスは次の通りです。

通信サービス	説明
音声通話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や滞在国外への国際電話発信が可能です。GSMローミング中は、三者通話サービスおよび割込通話サービスはご利用になれません。
インターネット	CDMAローミング中は海外でもインターネット接続が可能です。GSMローミング中はご利用になれません。
Cメール	海外では受信のみ可能です。
PCメール／Gmail／au one メール	CDMAローミング中は海外でもご利用になれます。GSMローミング中はご利用になれません。
GPSの現在地確認※1	海外でもGPS機能を利用して現在地確認ができます。

※1 あらかじめ日付・時刻を正しく設定しておいてください。

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は、日本国内とは異なります。詳しくは「パケットサービスの通信料」(▶P.182)をご参照ください。

memo

◎Cメールのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、Cメールの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がCメールを蓄積されても、渡航先では受信されません。

海外利用に関する設定を行う

海外でIS11Sを利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。

PRL（ローミングエリア情報）を取得する

PRL（ローミングエリア情報）とは、KDDI（au）と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。「PRL更新」は渡航前に行っておいてください。

1 ホーム画面で ≡ →［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］→［グローバル機能］→［OK］→［PRL更新］

PRLを取得します。画面の指示に従って、PRLデータをダウンロードしてください。
PRLデータをダウンロードする場合には、別途パケット通信料がかかります。

memo

◎渡航前には、必ず日本国内で最新のPRLを設定してください。

現在地時刻を設定する

1 ホーム画面で ≡ →［設定］→［日付と時刻］→［自動］

「日付と時刻」を「自動」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでIS11Sの時計の時刻や時差が補正されます。
GSMローミング中は、「自動」のチェックを外して「日付設定」「タイムゾーンの選択」「時刻設定」を手動で設定することができます。（▶P.148）

memo

◎海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。
◎補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
◎サマータイムがある国は、現地時間とIS11Sの表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
◎CDMAローミング中は、手動での設定を行うことはできません。
◎日付と時刻の設定については、「日付と時刻の設定をする」（▶P.148）をご参照ください。

エリアを設定する

IS11Sを使用するエリアを設定します。

1 ホーム画面で ≡ →［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］→［グローバル機能］→［OK］→［エリア設定］

2

日本	日本国内でご利用になる場合
海外CDMA	海外でCDMAネットワークをご利用になる場合
海外GSM	海外でGSMネットワークをご利用になる場合

ネットワークを手動で切り替える

1 ホーム画面で［≡］→［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］→［グローバル機能］→［OK］→［エリア設定］→［海外GSM］→［OK］

2 ［携帯電話事業者］→［検索モード］→［手動選択］→使用するネットワークを選択

「ネットワークを検索」をタップすると、利用可能なネットワークが表示されます。

memo

◎ネットワークを手動で設定した場合、圏外に移動しても、別のネットワークに自動的に接続されません。
◎CDMAローミング中は、手動での設定を行うことはできません。

ネットワーク接続の自動選択を有効にする

1 ホーム画面で［≡］→［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］→［グローバル機能］→［OK］→［エリア設定］→［海外GSM］→［OK］

2 ［携帯電話事業者］→［検索モード］→［自動選択］

現在接続しているネットワークの種類を確認

1 ホーム画面で［≡］→［設定］→［端末情報］→［端末の状態］

2 「モバイルネットワークの種類」でネットワークの種類を確認

データローミングを有効にする

1 ホーム画面で［≡］→［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］

2 ［データローミング］→［OK］

ディスプレイの表示について

ステータスバーにはご利用中のネットワークの種類が表示されます。

アイコン	説明
	GSMローミング中
	CDMAローミング中

接続している通信事業者名は、ステータスバーの表示で確認できます。

渡航先で電話をかける

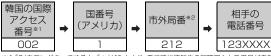
渡航先から国外（日本含む）に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

1 ホーム画面で［電話］

2 ＋（「0」をロングタッチ）→国番号・地域番号（市外局番）・相手先電話番号の順に入力

3 ［発信］

例：韓国からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

※1 「0」をロングタッチすると、「＋」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください（イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

memo

◎ホーム画面で［≡］→［通話設定］と操作して「国番号表示（海外在圏時）」にチェックを入れます。その後、電話番号入力画面→地域番号（市外局番）＋相手の電話番号を入力→［発信］と操作し、表示された国番号一覧から相手の国をタップしても、国際電話を利用することができます。
◎IS11Sを海外でご使用する場合は、あらかじめ設定が必要です。「エリア設定」を「日本」以外に設定し、通話可能なエリアにいる場合のみ使用できます。詳細については「エリアを設定する」（▶P.178）をご参照ください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で［電話］

2 地域番号（市外局番）・相手先電話番号の順に入力

3 ［発信］

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

1 着信中に「 」を右方向にドラッグ

2 通話→［通話終了］

■渡航先に電話がかかってきた場合

いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

例：アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力→発信

国際アクセス番号（アメリカ）	➡	日本の国番号	➡	au電話の電話番号（最初の0は省略する）
011		81		901234XXXX

■帰国後の設定

日本に帰国後は、ホーム画面で［≡］→［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］→［グローバル機能］→［エリア設定］と操作して、「日本」にチェックを入れて接続してください。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■IS11Sからのお問い合わせ方法(通話料無料)

渡航先の国際アクセス番号 + 81 + 3 + 6670 + 6944

受付時間:24時間

■一般電話からのお問い合わせ方法1(渡航先別電話番号)

アジア	韓国	002-800-00777113
	中国/マカオ/台湾	00-800-00777113
	香港/タイ	001-800-00777113
	インドネシア	001-803-81-0235
	ベトナム	120-81-003
	インド	000800-810-1134
北米・中南米	アメリカ(本土)	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
	バミューダ諸島	1-800-623-2011
	ブラジル	0021-800-00777113
オセアニア	ハワイ	1-877-532-6223
	サイパン	1-866-333-7129
	ニュージーランド	00-800-00777113

受付時間:24時間(通話料無料)

memo

◎ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
◎地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
◎携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金課金のケースがありますのでご了承ください。

■一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」に記載のない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

渡航先の国際アクセス番号 + 81 + 3 + 6670 + 6944

受付時間:24時間(国際通話料がかかります)

日本国内からのお問い合わせ

au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から フリーコール 0077-7-111(通話料無料)
受付時間 9:00~20:00(年中無休)

サービスエリアと海外での通話料

渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円/分。

国・地域名		音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア・中東	韓国	○	○	50	125	265	70
	中国	○	○	70	175	265	145
	香港	○	○	70	175	265	145
	マカオ	○	−	70	175	265	145
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	バングラデシュ	○	−	70	180	280	180
	インド	○	○	70	180	280	180
	イスラエル	○	○	70	260	280	140

国・地域名		音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
北米・中南米	アメリカ(本土)	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	バミューダ諸島	○	−	120	140	210	165
	ジャマイカ	○	−	120	140	210	165
	バハマ	○	−	120	140	210	165
	ベネズエラ	○	−	130	330	330	140
	ペルー	○	−	70	230	280	140
	ブラジル	○	−	80	280	280	140
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	ニュージーランド	○	−	80	180	280	80

memo

◎各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎海外で着信した場合でも通話料がかかります。
◎発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎渡航先でコレクトコール・フリーダイヤルなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかります。
◎アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国・地域内通話料金（120円／分または80円／分）となります。
◎ニュージーランドで情報提供ダイヤルをご利用になると一律600円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
◎韓国で情報提供ダイヤルをご利用になると一律500円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
◎中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「日本以外への国際通話」料金（265円／分）となります。
◎国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
◎2011年4月現在の情報です。
◎最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービスの通信料

海外でご利用できるサービスについては「海外でご利用できるサービス」(▶P.177)をご参照ください。

■パケットサービスの通信料（免税）

パケット通信料	Cメール受信料
0.2円／パケット	無料

memo

◎海外でご利用になった場合の料金です。海外で受信したパケット量に応じて課金されます（1パケット=128バイト）。
◎渡航先でのパケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。

国際アクセス番号＆国番号一覧

■国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ本土、ハワイ、プエルトリコ、米領バージン諸島、ジャマイカ、グアム、サイパン、カナダ、バミューダ諸島、バハマ	011
ニュージーランド、中国、マカオ、ベトナム、メキシコ、ペルー、イスラエル、インド、バングラデシュ、ベネズエラ	00
韓国	00700(002)
台湾	005(002)
香港、タイ、インドネシア	001
ブラジル	0021

■ 国番号(カントリーコード)

国·地域名	番号	国·地域名	番号
アイルランド(IRL)	353	ドイツ(DEU)	49
アメリカ合衆国(USA)	1	日本(JPN)	81
アラブ首長国連邦(ARE)	971	ニュージーランド(NZL)	64
イギリス(GBR)	44	ノルウェー(NOR)	47
イスラエル(ISR)	972	バミューダ諸島(BMU)	1
イタリア(ITA)	39	ハンガリー(HUN)	36
インド(IND)	91	バングラデシュ(BGD)	880
インドネシア(IDN)	62	フィリピン(PHL)	63
オーストリア(AUT)	43	フィンランド(FIN)	358
オランダ(NLD)	31	ブラジル(BRA)	55
カナダ(CAN)	1	フランス(FRA)	33
韓国(KOR)	82	ベトナム(VIE)	84
ギリシャ(GRC)	30	ペルー(PER)	51
ジャマイカ(JAM)	1	ベルギー(BEL)	32
シンガポール(SGP)	65	ポルトガル(PRT)	351
スイス(CHE)	41	香港(HKG)	852
スウェーデン(SWE)	46	マカオ(MAC)	853
スペイン(ESP)	34	マレーシア(MYS)	60
タイ(THA)	66	メキシコ(MEX)	52
台湾(TWN)	886	ルクセンブルグ(LUX)	352
中国(CHN)	86	ロシア(RUS)	7
デンマーク(DNK)	45		

※ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国(USA)「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■ 渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、フリーダイヤル、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国·地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■ 通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■ 渡航先でのパケット通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、国内でのご利用分に合算して翌月に(渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります)請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、CDMAローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話(およびご利用の地域によってはCメール受信)のみご利用になれます。
- Cメールのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、Cメールの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がCメールを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- Cメールを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりCメールを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのCメールを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたCメールはCメールセンターで72時間保存されます。

■その他ご利用上の注意

- 渡航先での通話料・パケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、日本以外の国から着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オンすることでご利用可能となる場合があります。

付録・索引

付録

周辺機器やソフトウェア更新、主な仕様、アフターサービスについてなど、お役に立つ情報をご案内しています。

周辺機器のご紹介

■ **電池パック（BA750）**

■ **ACアダプタ（EP800）**

＜ACアダプタ＞　＜microUSBケーブル（試供品）＞

memo

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎ 本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com

電池パックを交換する

電池パックは、IS11S専用のものを使用して正しく取り付けてください。

memo

◎ 電池パックの注意事項については、「電池パックについて」（▶P.14）をご参照ください。

電池パックを取り外す

電池パックを取り外すときは、IS11S本体の電源を切ってください。

1. **電池フタ側面のミゾに親指の指先（爪）をかけ、電池フタを矢印の方向へ持ち上げて取り外す**
2. **IS11Sのくぼみに指先（爪）をかけ、電池パックを矢印の方向に持ち上げて取り外す**

1

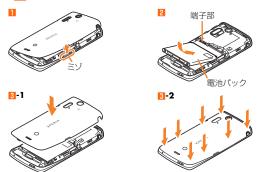
2

電池パックを取り付ける

au ICカードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。

1 電池フタ側面のミゾに親指の指先（爪）をかけ、電池フタを矢印の方向へ持ち上げて取り外す

2 IS11Sと電池パックの端子部を合わせ、電池パックを矢印の方向へ差し込む

3 電池フタの向きを確認して、本体に合わせるように装着し（3-1）、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる（3-2）

memo

◎取り付け時に間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび電池フタ破損の原因となります。

◎電池フタの取り付け時には、電池フタが浮き出たままにならないよう、位置を合わせ、周囲をしっかり押し込んでください。

マイク付ステレオヘッドセットを使用する

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続して使用します。

1 マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグをIS11Sのヘッドセット接続端子に接続

接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

memo

◎マイク付ステレオヘッドセットを接続してミュージックプレーヤー／FMラジオを聴く場合、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押して、オン／オフを切り替えることができます。ただし、操作時の条件により異なる動作をする場合があります。

◎マイク付ステレオヘッドセットを使用中に着信すると、音楽は一時停止し、通話を終了すると再開します。

電話をかける

1 マイク付ステレオヘッドセットを接続した状態で電話をかける

電話をかける操作は、「電話をかける」(▶P.56)をご参照ください。

2 通話を終了するには、スイッチを押す

電話を受ける

1 着信時にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押す

電話がつながり、通話できます。
着信時にスイッチを1秒以上長押しすると、着信を拒否することができます。

2 通話を終了するには、再度スイッチを押す

◎マイク付ステレオヘッドセットを接続して音楽を聴いている場合に着信したときも、スイッチを押して電話に出ることができます。音楽は通話状態では一時停止して、通話が終了すると再開します。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。
更新は、次の方法があります。

- ソフトウェアをダウンロードして更新する
- パソコンに接続して更新する

■ご利用上の注意

- パケット通信を利用してIS11Sからインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、IS11Sをより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なIS11Sをご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、IS11Sに登録された各種データ(連絡先、メール、フォト、楽曲データなど)や設定情報は変更されません。ただし、お客様の携帯電話の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新後に初めて起動したときは、データ更新処理のため、数分から数十分間、動作が遅くなる場合があります。所要時間は本端末内のデータ量により異なります。通常の動作速度に戻るまでは電源を切らないでください。
- 海外でローミングサービスをご利用の際は、モバイルネットワーク(海外CDMA/海外GSM接続)でのソフトウェア更新の検索やダウンロードはできません。

ソフトウェア更新中は、以下のことは行わないでください。

- ソフトウェア更新中に電池パックを取り外さないでください。電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェア更新が実行できない場合などについて

- ソフトウェア更新に失敗すると、IS11Sが使用できなくなる場合があります。IS11Sが使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

パケット通信またはWi-Fiネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、IS11Sから直接ワイヤレスで更新をダウンロードできます。

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]**

2 **[端末情報]→[ソフトウェア更新]**

3 **[今すぐ更新]→[OK]→[OK]**

ソフトウェア更新を検索します。

■ソフトウェア更新をWi-Fiのみでダウンロードする場合

ホーム画面で[≡]→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]→[ネットワーク]→[Wi-Fiのみ]と操作します。「Wi-Fiとモバイルネットワーク」を設定して更新する場合、Wi-Fi通信が不安定になると自動的にパケット通信に切り替わり、通信料が発生することがありますのでご注意ください。

最新のソフトウェア更新を自動検索する

最新のソフトウェア更新を定期的に自動検索します。更新がある場合、ステータスバーに[アイコン]が表示されます。

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]**

2 **[端末情報]→[ソフトウェア更新]**

3 **「自動検索」にチェックを入れる**

memo

◎自動検索するために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

IS11SからパソコンにインストールできるPC Companionを使用して、ソフトウェアを更新できます。

- PC Companionをインストールするパソコンは、インターネットに接続されている必要があります。

■PC Companionがパソコンにインストールされていない場合

1 **microUSBケーブルでIS11Sとパソコンを接続**

2 **IS11Sの画面で[インストール]**

パソコン上でPC Companionのインストーラが起動します。

3 **パソコンの画面の指示に従ってインストール**

インストール完了後、パソコン上でPC Companionが起動します。さらにソフトウェアの更新がある場合は自動的に通知されますので、パソコンの画面の指示に従って操作を行ってください。

■PC Companionがパソコンにインストールされている場合

1 **パソコンのスタートメニューからPC Companionを起動**

2 **microUSBケーブルでIS11Sとパソコンを接続**

3 **パソコンの画面の指示に従って操作**

ソフトウェア更新がある場合は、自動的に通知されます。

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください	参照
◎を押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.28
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.187
	電池パックの端子が汚れていませんか？	P.17
	◎を1秒以上長押ししていますか？	P.29
	通知LEDが赤色で点滅していませんか？	P.28
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	P.28
	電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	P.17
電源起動時の画面表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？	P.28
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.29
	au ICカードが挿入されていますか？	P.31
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	P.56
	電話番号入力後、「発信」をタップしていますか？	P.56
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.137
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.178
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.37
	サービスエリア外にいませんか？	P.37
	電源は入っていますか？	P.29
	au ICカードが挿入されていますか？	P.31
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.137
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.178
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.168
（圏外）が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.37
	内蔵アンテナ部付近を指などでおおっていませんか？	P.26
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.178
Wi-Fiがつながらない	Wi-Fiの電波は十分に届いていますか？	P.37
	Wi-Fiの設定をしましたか？	P.152
充電ができない（通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない）	ACアダプタのプラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	P.28
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.187
	microUSBケーブルのmicroUSBプラグが携帯電話に確実に差し込まれていますか？	P.28
キー／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.29
	キーロックがかかっていませんか？	P.30
	「画面ロック」が設定されていませんか？	P.141
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	—
	◎／[⌂]を押してバックライトを点灯させてください。	—
おサイフケータイ®が使えない	電池が切れていませんか？	P.28
	「おサイフケータイ ロック設定」が設定されていませんか？	P.129
	IS11SのFeliCa™マークがある位置を読み取り機にかざしていますか？	P.129
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.34
	手袋などをしたままで操作していませんか？	
	爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？	
au ICカード（UIM）エラーと表示される	au ICカードが挿入されていますか？	P.31
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.28
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ※通知LEDが緑色に点灯するまで、充電してください。	P.28
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.14
	（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.37
電話が勝手に応答する	マナーモードが設定されていませんか？	P.139

こんなときは	ご確認ください	参照
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.37
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	―
ディスプレイのバックライトがすぐに消える	「画面消灯」が短く設定されていませんか？	P.140
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	P.140
相手の方の声が聞こえない	受話音量が最小に設定されていませんか？	P.56
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.27
テレビ（ワンセグ）が映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？	P.102
	ホイップアンテナを伸ばしていますか？	P.102
	視聴している場所が「地域選択」で設定した地域と合っていますか？	P.105
画像の編集ができない	編集できない画像を選択していませんか？	P.95
ギャラリーで再生できない	ギャラリーで対応可能なデータ形式ですか？	P.195
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	IS11Sに大量のデータが保存されているときや、IS11SとmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	―
連絡先の登録ができない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 非通知で電話を受けた場合は、連絡先に登録することができません。	―
ホーム画面にショートカットが表示されない	壁紙のみ表示された画面を表示していませんか？	P.38
ウェブページに画像が表示されない	ウェブページの画像を表示しないように設定していませんか？	P.84
PCメールを作成できない	PCメールのアカウントは設定しましたか？	P.71
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P.113
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.146

こんなときは	ご確認ください	参照
Bluetooth®対応機器と接続できない／検索しても見つからない	接続するBluetooth®対応機器を「検出可能」の設定にしてからペア設定をしてください。	P.158

さらに詳しい内容については、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。

http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのIS11S本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています（月額315円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難・故障・操作方法について）

一般電話からは　フリーコール **0077-7-113**（通話料無料）
au電話からは　局番なしの**113**（通話料無料）

■ auアフターサービスの内容について

<table>
<tr><th>サービス内容抜粋</th><th>安心ケータイサポート会員</th><th>無料会員</th></tr>
<tr><td>① 保証サービス
注：保証内の場合、無償修理</td><td>5年保証サービス</td><td>3年保証サービス</td></tr>
<tr><td>② 修理代金割引サービス
注：水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引</td><td>全額割引
（無料）</td><td>お客様負担額
5,250円（税込）</td></tr>
<tr><td>③ 水濡れ・全損時リニューアルサービス
注：水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引</td><td>お客様負担額
5,250円（税込）</td><td>お客様負担額
10,500円（税込）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">④ 紛失時あんしんサービス
注：盗難・紛失の場合、解除料の減額もしくは購入代金の割引</td><td colspan="2">フルサポートコースでご契約のau電話を盗難・紛失した場合</td></tr>
<tr><td>フルサポート解除料
全額免除</td><td>フルサポート解除料
お客様負担額
最大10,500円（税込）まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">新しいau電話をシンプルコースでご購入される場合</td></tr>
<tr><td>新しいau電話購入代金
最大18,900円（税込）
OFF</td><td>新しいau電話購入代金
最大6,300円（税込）OFF</td></tr>
<tr><td>⑤ 電池パック無料サービス</td><td>同一au電話を1年以上（または3年以上）継続利用することで電池パックを1個プレゼント</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>⑥ 無事故ポイントバック</td><td>同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1,000ポイントプレゼント</td><td>なし</td></tr>
</table>

memo

修理代金割引サービス

◎水濡れ・全損はこの対象とはなりません。

◎お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ・全損時リニューアルサービス

◎お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

◎「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失・盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。

◎お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

◎ご購入から同一のau電話を1年以上継続利用経過時に1個、3年以上継続利用経過時に1個の電池パックを無料で提供いたします。（合計2回まで）

◎電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後1年〜2年までの間、3年〜4年までの間の計2回（各1個の提供）となります。

無事故ポイントバック

◎「修理代金割引サービス」「水濡れ・全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1,000ポイント進呈します。

※ 1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

主な仕様

ディスプレイ		約4.2インチ、TFT16,777,216色
		480×854ドット(FWVGA)
質量		約135g(電池パック含む)
メモリ		ROM　1,024MB RAM　512MB
外部メモリ		microSD　2GBまで対応 microSDHC　32GBまで対応 (2011年4月現在)
撮像素子	種類	CMOSセンサー(Exmor R for mobile)
	サイズ	1/3.2 inch
カメラ画素数		カメラ:有効画素数　約810万画素
連続通話時間	国内	約480分
	海外(GSM)	約420分
	海外(CDMA)	約590分:アメリカ本土/メキシコ/サイパン/中国本土/ハワイ/韓国/台湾/インドネシア/イスラエル/インド/ベトナム/ニュージーランド/タイ/マカオ/ペルー/バングラデシュ/バミューダ諸島/バハマ/ベネズエラ/香港 ※対象国は2011年4月時点
連続待受時間	国内	約290時間
	海外(GSM)	約380時間
	海外(CDMA)	約310時間:アメリカ本土/メキシコ/サイパン/中国本土 約420時間:ハワイ/韓国/台湾/インドネシア/イスラエル/インド/ベトナム/バングラデシュ/バハマ/香港 約520時間:ニュージーランド/タイ/マカオ/ペルー/バミューダ諸島/ベネズエラ ※対象国は2011年4月時点
無線LAN		IEEE802.11b/g/n準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯:2.4GHz)
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約63mm×127mm×11.8mm

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種IS11Sの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。

この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.600W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。

KDDI推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com
○ ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ:
http://www.sonyericsson.co.jp/support/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。(2011年3月現在)

ファイル形式

IS11Sは、次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種類	ファイル形式
音	MP3、3GPP、MP4、AMR、AMRWB、SMF、XMF、WAV、iMelody、RTTTL/RTX、OTA、Ogg vorbis
静止画	JPEG、GIF、PNG、BMP
動画	3GPP、MP4

静止画は次に示すファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式
静止画	JPEG

静止画の撮影枚数(目安)は次の通りです。

解像度	microSDメモリカード(2GB)に保存できる撮影枚数
2MP	約3,231枚

動画の撮影時間(目安)は次の通りです。

解像度	microSDメモリカード(2GB)に保存できる撮影時間
320×240(QVGA)	最大約507分(1件あたり、合計とも)

名前から引く索引

数字／アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

目的から引く索引

Wi-Fiを利用する

インターネットにアクセスする

海外で利用する

確認する

カメラで撮影する

基本操作を覚える

困ったときは

ご利用の準備をする

情報を調べる

設定をする

データや情報を保護する

データを交換する

データを表示／再生する

電話を受ける

電話をかける

登録する

非常時に備える

メールを受け取る

メールを送る

- 本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本製品を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません(米国輸出規制により、以下の国々に本製品を持ち込むことはできません(2011年4月現在)。キューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリア)。
  U.S law and international agreements currently prohibit export of this device's browser and security technology to the following countries - Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria. (Other restrictions regarding this device may apply.)

- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ソニー・エリクソンはライセンスに基づいて使用しています。
- 「Wi-Fi®」は、Wi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。
- 「Liquid Identity」ロゴ、「Xperia」「PlayNow」「Timescape」および「TrackID」は、Sony Ericsson Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- 「TrackID」では、Gracenote Mobile MusicIDの技術を使用しています。
  「Gracenote」および「Gracenote Mobile MusicID」は、Gracenote, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Media Go」は、Sony Electronics Inc.の商標または登録商標です。
- 「BRAVIA」「ブラビア」「POBox」「Sony」「Exmor R for mobile」および「Exmor R for mobile」ロゴは、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- 「acro」はソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- 「POBox」は株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「3GPP」はETSIの商標または登録商標です。
- Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Androidマーケット、Androidマーケットロゴ、Gmail、Googleマップ、Googleトーク、YouTubeおよびYouTubeロゴ、Picasaは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Ericsson」は、Telefonaktiebolaget LMEricssonの商標または登録商標です。
- mixi, mixiロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。
- DLNA is a trademark or registered trademark of the Digital Living Network Alliance.
- HDMI, the HDMI Logo and High-Definition Multimedia Interface, are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC.
- 「Microsoft」「Windows」「Outlook」「Windows Vista」「Windows Server」「Explorer」「Windows Media」と「Exchange」および「ActiveSync」は、米国またはその他の国(あるいはその両方)におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- 本製品は、Microsoftの知的所有権によって保護されています。本製品の技術を、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または配布することは禁止されています。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerテクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011
  Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Flash、およびFlashロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ®」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- (マーク)は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社が提供するソーシャルアプリです。
- 「jibe mobile」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。

- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i)MPEG-4ビジュアル標準(以下「MPEG-4ビデオ」)またはAVC規格(以下「AVCビデオ」)に準拠したビデオのエンコード、および/または(ii)商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および/または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, L.L.Cより入手できます("http://www.mpegla.com"を参照)。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

★Mobile Phone GSM 850/900/1800/1900

United States & Canada

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

The IS11S mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the safe and efficient use chapter in the User Guide.

The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 0.74 W/kg*, and when worn on the body is 0.81 W/kg* for speech and 0.92 W/kg* for data calls. Body worn measurements are made while the phone is in use and worn on the body with a Sony Ericsson accessory supplied with or designated for use with this phone. It is therefore recommended that only Ericsson and Sony Ericsson original accessories be used in conjunction with Sony Ericsson phones.

** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea after searching on FCC ID PY7A5880013. Additional information on SAR can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.ctia.org.

* In the United States and Canada, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Europe

This mobile phone model IS11S has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.

While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the safety chapter in the User's Guide.

SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):

The highest SAR value for this model phone tested by Sony Ericsson for use at the ear is 0.92 W/kg (10g).

Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)

When your phone or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the phone is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when the phone is placed at the ear and when worn on the body. For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate Sony Ericsson accessory and worn on the body. Use of the phone other than as tested may impact SAR and result in non-compliance with such RF exposure limits. For devices which include "WiFi hotspot" functionality, body-worn SAR measurements for operation of the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10mm. Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.
For more information about SAR and radio frequency exposure go to: www.sonyericsson.com/health.

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.

Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not expose to liquid or moisture or excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5°C (+41°F) or above +35°C (+95°F). Do not expose the battery to temperatures above +35°C (+95°F).
- Do not expose to flames or lit tobacco products.
- Do not drop, throw or try to bend the product.

- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product.
- Consult with authorized medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipment.
- Discontinue use of electronic devices or disable the radio transmitting functionality of the device where required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place your product or install wireless equipment in the area above an air bag in a car.
- **Caution**:Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.
- Do not use the Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.

Children

Warning! Keep out of the reach of children. Do not allow children to play with mobile phones or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that could become detached and create a choking hazard.

Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony Ericsson branded may pose increased safety risks.

Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C (+41°F) and +35°C (+95°F). Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery. Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

Personal medical devices

Mobile phones may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 22cm (8.7 inches) between the phone and the device. Use the phone at your right ear. Do not carry the phone in your breast pocket. Turn off the phone if you suspect interference. For all medical devices, consult a physician and the manufacturer.

Driving

Some vehicle manufactures forbid the use of phones in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that the mobile phone or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". KDDI/ Sony Ericsson does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information.

Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings.

Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

Emergency calls

Calls cannot be guaranteed under all conditions. Never rely solely upon mobile phones for essential communication. Calls may not be possible in all areas, on all networks, or when certain network services and/or phone features are used.

Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorisation before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, KDDI/ Sony Ericsson does not warrant or represent that the device will be impervious to introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

Accessories

Use only Sony Ericsson branded original accessories and certified service partners. Sony Ericsson does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

Disposal of old electrical and electronic equipment

Electronic equipment and batteries should not be included as household waste but should be left at an appropriate collection point for recycling. This helps prevent potential negative consequences for the environment and human health. Check local regulations by contacting your local city office, your household waste disposal service, the shop where you purchased the product or calling a Sony Ericsson call centre. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional.

Disposing of the battery

Check local regulations or call a Sony Ericsson call centre for information. Never use municipal waste.

Memory Card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the phone memory does not ensure that it cannot be recovered. KDDI/Sony Ericsson does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony Ericsson may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme á la norme NMB-003 du Canada.

This device complies with RSS-210 of Industry Canada. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Declaration of Conformity for CDMA SOI11

We,
Sony Ericsson Mobile Communications AB of
Nya Vattentornet
SE-221 88 Lund, Sweden
declare under our sole responsibility that our product

Sony Ericsson type AAH-5880013-BV

and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards
EN 301 511:V9.0.2, EN 301 489-7:V1.3.1, EN 300 440-2:V1.4.1,
EN 301 489-3:V1.4.1, EN 300 328:V1.7.1, EN 301 489-17:V2.1.1,
EN 302 291-2:V1.1.1 and EN 60950-1:2006 +A11:2009,
following the provisions of Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment Directive **1999/5/EC**

Lund, March 2011

CE0682 ⓘ

Signature

Dan Redin
Corporate Vice President and Head of Development

われわれはR&TTE指令の要求事項を満たしています(1999/5/EC)
We fulfill the requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC)

End User Licence Agreement／エンドユーザーライセンス契約

End User Licence Agreement

Software delivered with this device and its media is owned by Sony Ericsson Mobile Communications AB, and/or its affiliated companies and its suppliers and icensors.

Sony Ericsson grants you a non-exclusive limited licence to use the Software solely in conjunction with the Device on which it is installed or delivered. Ownership of the Software is not sold, transferred or otherwise conveyed.

Do not use any means to discover the source code or any component of the Software, reproduce and distribute the Software, or modify the Software. You are entitled to transfer rights and obligations to the Software to a third party, solely together with the Device with which you received the Software, provided the third party agrees in writing to be bound by the terms of this Licence.

This licence exists throughout the useful life of this Device. It can be terminated by transferring your rights to the Device to a third party in writing.

Failure to comply with any of these terms and conditions will terminate the licence immediately.

Sony Ericsson and its third party suppliers and licensors retain all rights, title and interest in and to the Software. To the extent that the Software contains material or code of a third party, such third parties shall be beneficiaries of these terms.

This licence is governed by the laws of Sweden. When applicable, the foregoing applies to statutory consumer rights.

In the event Software accompanying or provided in conjunction with your device is provided with additional terms and conditions, such provisions shall also govern your possession and usage of the Software.

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア(以下「本ソフトウェア」という)は、Sony Ericsson Mobile Communications AB(以下「ソニー･エリクソン」という)及び/又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。
ソニー･エリクソンは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス(以下「本ライセンス」という)を許諾します。
本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。
お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。
お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。
本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。
お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取り消されます。
本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニー･エリクソン、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。
本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。
本契約の準拠法は、スウェーデン法とします。
上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。
本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

About Open Source Software/オープンソースソフトウェアについて

About Open Source Software

This product includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License (GPL), GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) and different and/or additional copyright licenses, disclaimers and notices. The exact terms of GPL, LGPL and some other licenses, disclaimers and notices are reproduced in the about box in this product and are also available at http://opensource.sonyericsson.com.

Sony Ericsson offers to provide source code of software licensed under the GPL or LGPL or some other open source licenses allowing source code distribution to you on a CD-ROM for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling, upon written request to Sony Ericsson Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden. This offer is valid for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Sony Ericsson.

オープンソースソフトウェアについて

本製品は、オープンソースソフトウェアまたはその他のGNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけるほか、**http://opensource.sonyericsson.com**でも参照いただけます。

ソニー・エリクソンは、Sony Ericsson Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund,Sweden宛の書面による要求があった場合、GPL、LGPL又はその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアのソースコードにつき、配布のために必要な費用(メディア費用、物流費用、取扱い費用等)を負担いただくことを条件に、CD-ROMにて配布をいたします。
上記のソースコードの提供の申し出は、本製品がソニー・エリクソンにより販売されてから3年間有効なものとします。

お客様各位

このたびは、IS11Sをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
取扱説明書におきまして、以下のとおりお詫びと訂正をさせていただきます。

該当ページ：73ページ
誤：「総合受信トレイ」
正：「統合受信トレイ」

該当ページ：76ページ
誤：更新されない場合は、Gmail受信トレイ画面→≡→[アカウントの設定]と操作して、「自動同期」にチェックが入っているか確認してください。
正：自動更新したい場合は、Gmail受信トレイ画面→≡→[アカウント]→≡→[アカウントの設定]と操作して、「自動同期」にチェックを入れてください。

該当ページ：155ページ
誤：AVRCP（Audio ／ Video Remote Control Profile）Ver.1.4
正：AVRCP（Audio ／ Video Remote Control Profile）Ver.1.0

該当ページ：196ページ
誤：総合受信トレイ
正：統合受信トレイ

取扱説明書におきまして、以下の文章を追加させていただきます。
該当ページ：110ページ
追加：◎ 初回は、手順10の後でパソコン側にドライバをインストールする必要があります。ドライバをインストールするには、パソコンのスタートメニューから「コンピューター」→「ネットワーク」をクリック→表示されているIS11Sのアイコンを右クリックし、「インストール」をクリックします。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、
一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。

ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号　お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-111	局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について
（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合
下記の番号にお電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）
0120-977-699（沖縄）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIではこのマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し国内リサイクル活動を行っています。
本冊子は、その一環として製作されております。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

1253-3711.1.3
2011年4月第1版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社